

か と う だ
方 保 田 遺 跡

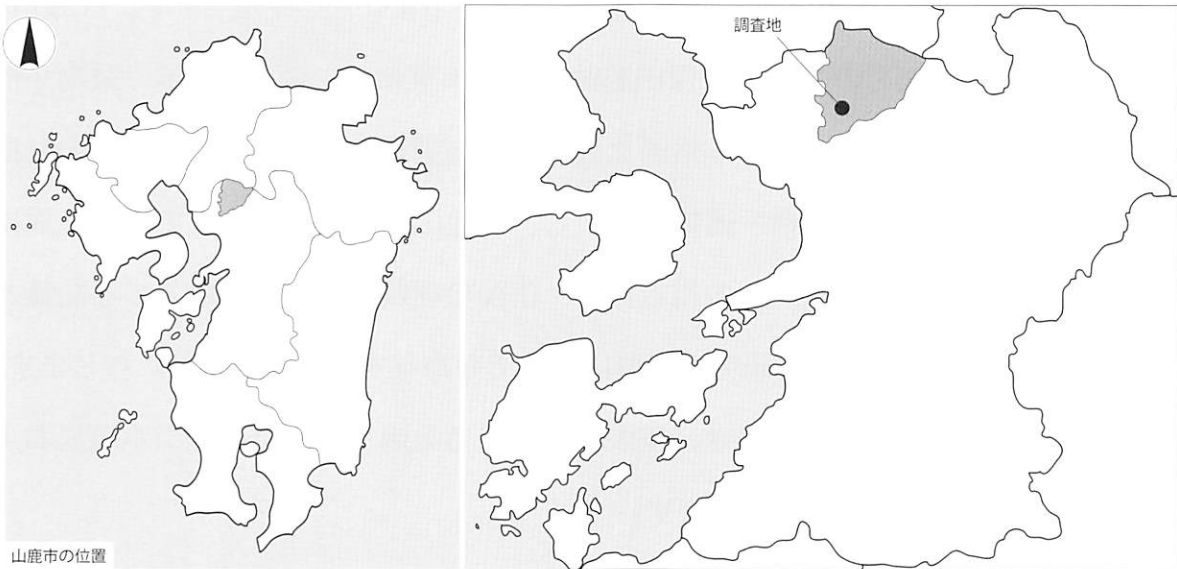
水道事業による方保田配水池整備事業に伴う
方保田遺跡発掘調査(第1次調査)報告書

2014年

熊本県山鹿市教育委員会

か と う だ 方 保 田 遺 跡

水道事業による方保田配水池整備事業に伴う
方保田遺跡発掘調査(第1次調査)報告書



2014年

熊本県山鹿市教育委員会

序 文

山鹿市は旧石器・縄文時代から活発な人類活動が展開され、市内各所に多様な文化財が残されています。本格的な発展は弥生時代の中九州を代表する大集落遺跡の方保田東原遺跡にはじまり、チブサン古墳に代表される日本有数の装飾古墳群、朝廷が築造した古代山城の鞠智城跡、近世幕開けの契機となった肥後国衆一揆の舞台である中世山城群、近世から近代にかけて物資集積地として発達した豊前街道の町並みや芝居小屋八千代座などがあげられます。山鹿市ではこれらの文化遺産とあわせて、大地に埋もれた歴史の証拠である埋蔵文化財についても保護と活用に取り組んでいます。

ここに報告する方保田遺跡の発掘調査は、水道事業に伴い平成 24 年から 25 年にかけて実施したものです。方保田遺跡は開田事業に伴い昭和 43 年に遺物が採集されておりますが、今回が本格的な最初の発掘調査です。限られた面積の発掘調査でしたが、多くの遺構・遺物が出土し、当地区の歴史を知る上で貴重な成果を得ることができました。この報告書が、市民の埋蔵文化財保護に対する認識と理解を深め、さらには学術研究の進展に少しでも寄与するならば幸甚に存じます。

埋蔵文化財保護に理解を頂き、多大なるご協力を賜りました山鹿市水道局および関係各位に深く感謝申し上げます。

平成 26 年 3 月 31 日

山鹿市教育委員会

教育長 堀田 浩一郎

例 言

1. 本書は、下記についての埋蔵文化財発掘調査報告書である。
 - (1) 遺跡名 方保田（かとうだ）遺跡（熊本県遺跡番号 43-208-167）
 - (2) 調査地 熊本県山鹿市方保田 2839 番、2390 番 1
 - (3) 調査原因 水道事業による方保田配水池整備事業
 - (4) 調査期間 平成 24 年 5 月 21 日～平成 24 年 8 月 17 日整理調査 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月、出土文化財管理センターにて
- 2 本書で用いた標高は T.P.（東京湾平均海面高度）である。方位は日本測地系に基づく。
- 3 本書の土層や胎土の色調については、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本式再研究所色票監修）2002 年版による。
- 4 本書に掲載した地図は「山鹿市都市計画図 1：2,500」平成 14 年の一部を調整したものである。
- 5 本書に掲載した遺構実測図は 1/50、遺物実測図は 1/4 を基本としているが、これ以外の縮尺もある。各実測図にはスケールを付した。
- 6 出土した赤色顔料付着遺物の顔料種類については、肉眼判断による。今後の理化学的な測定で結果が変更される可能性がある。
- 7 本書の執筆編集は宮崎が行なった。
- 8 調査で出土した遺物および作成した図面・写真等は、すべて山鹿市教育委員会が所管する山鹿市出土文化財管理センターにおいて保管している（〒 861-0382 熊本県山鹿市方保田 128 番地・電話 0968-46-5512）。

本文目次

序文 例言 目次

第1章 調査の経過

| | |
|-------------------|---|
| 第1節 調査の経緯 | 1 |
| 第2節 位置と環境 | 2 |
| 第3節 調査の方法 | 4 |
| ①調査の体制 | 4 |
| (1) 平成24年度 | |
| (2) 平成25年度 | |
| (3) 作業員 | |
| ②調査の方法 | 4 |
| 第4節 法令等の手続き | 5 |
| 第5節 調査の経過（調査日誌抄録） | 5 |

第2章 調査の成果

| | |
|---------------------|----|
| 第1節 調査区の位置 | 6 |
| 第2節 層序 | 6 |
| 第3節 遺構と遺物 | 7 |
| ①1トレンチ | 7 |
| (1) 住居 SH-18 | 7 |
| (2) 住居 SH-73 | 7 |
| (3) 住居 SH-100 | 10 |
| (4) 建物 SB-128 | 10 |
| (5) 溝 SD | 10 |
| (6) 溝 SD-70 | 10 |
| (7) 土堀 SK-3 | 13 |
| (8) 土堀 SK-4 | 13 |
| (9) 土堀 SK-12 | 13 |
| (10) 土堀 SK-16 | 13 |
| (11) 土堀 SK-17 | 14 |
| (12) 土堀 SK-19 | 14 |
| (13) 土堀 SK-21 | 14 |
| (14) 土堀 SK-23 | 14 |
| (15) 土堀 SK-39 | 17 |
| (16) 土堀 SK-61 | 17 |
| (17) 土堀 SK-62 | 20 |
| (18) 土堀 SK-65 | 20 |
| (19) 土堀 SK-82 | 20 |
| (20) 土堀 SK-93 | 20 |
| (21) 土堀 SK-107 | 22 |
| (22) 土堀 SK-113 | 22 |
| (23) 柱穴 PIT-5 | 22 |
| (24) 柱穴 PIT-66/67 | 22 |
| (25) 柱穴 PIT-87 | 22 |
| (26) 柱穴 PIT-88 | 22 |
| (27) 柱穴 PIT-102/103 | 22 |
| ②2トレンチ | 23 |
| (1) 住居 SH-10 | 24 |
| (2) 住居 SH-17 | 24 |
| (3) 建物 SB-104 | 25 |
| (4) 溝 SD-7 | 25 |
| (5) 土堀 SK-4 | 29 |
| (6) 土堀 SK-18 | 29 |
| (7) 土堀 SK-70 | 31 |
| (8) 柱穴 PIT-34/35 | 31 |
| (9) 柱穴 PIT-62 | 31 |

| | |
|---------------|----|
| (10) その他の出土遺物 | 31 |
| 第4節 まとめ | 31 |

挿図目次

| | |
|------------------------------|----|
| 第1図 周辺の遺跡 | 1 |
| 第2図 調査区の配置 | 2 |
| 第3図 遺構配置図 | 3 |
| 第4図 1トレンチ平面図 | 6 |
| 第5図 1トレンチ遺構番号 | 7 |
| 第6図 1トレンチ SH-18・出土遺物 | 8 |
| 第7図 1トレンチ SH-18 出土遺物 | 9 |
| 第8図 1トレンチ SH-73 ほか | 11 |
| 第9図 1トレンチ SH-73 出土遺物 | 12 |
| 第10図 1トレンチ SH-73・SH-100 出土遺物 | 13 |
| 第11図 1トレンチ SB-128・出土遺物 | 14 |
| 第12図 1トレンチ SD-1 ほか | 15 |
| 第13図 1トレンチ SD-1 出土遺物 | 16 |
| 第14図 1トレンチ SK-21 ほか | 17 |
| 第15図 1トレンチ SK-21 出土遺物 | 18 |
| 第16図 1トレンチ SK-21 ほか出土遺物 | 19 |
| 第17図 1トレンチ SK-107・出土遺物 | 20 |
| 第18図 1トレンチ PIT・検出中出土遺物 | 21 |
| 第19図 2トレンチ平面図 | 23 |
| 第20図 2トレンチ遺構番号 | 24 |
| 第21図 2トレンチ SH-10・出土遺物 | 24 |
| 第22図 2トレンチ SH-17・出土遺物 | 25 |
| 第23図 2トレンチ SB-104・土堀出土遺物 | 26 |
| 第24図 2トレンチ SD-7 | 27 |
| 第25図 2トレンチ SD-7 出土遺物 | 28 |
| 第26図 2トレンチ PIT 出土遺物 | 29 |
| 第27図 2トレンチ検出中出土遺物 | 30 |
| 第28図 方保田遺跡出土遺物（昭和43年） | 32 |

表目次

| | |
|---------------------|----|
| 1 試掘調査の調査区 | 2 |
| 2 出土遺物の重量 | 4 |
| 3 1トレンチ 土器観察表 | 51 |
| 4 2トレンチ 土器観察表 | 61 |
| 5 1トレンチ石器・鉄器・土製品観察表 | 67 |
| 6 2トレンチ石器・鉄器・土製品観察表 | 67 |

写真目次

| | |
|----------------|----|
| 1 既存の配水タンク | 3 |
| 2 靱跡か | 7 |
| 3 体験発掘 | 22 |
| 4 埋め戻し後（北から撮影） | 22 |
| 5 2トレンチ作業中 | 24 |

図 版 目 次

図版 1 調査区遠景

- 1 南から
- 2 北西から

図版 2 1 トレンチ完掘状況

- 1 1 トレンチ全景 南西から
- 2 SH-73 南から

図版 3 1 トレンチ SD-1・SK-107

- 1 SD-1 南東から
- 2 SK-107 南西から

図版 4 2 トレンチ完掘状況

- 1 全景 南から
- 2 SD-7 北東から

図版 5 1 トレンチ SH-18・SH-73

- 1 SH-18 東から
- 2 SH-18 北西から
- 3 SH-73 北西から

図版 6 1 トレンチ SH-73・SK-107

- 1 SH-73 ベッド状遺構 南西から
- 2 PIT-123 (SH-73 内) 南東から
- 3 土抔 SK-124 (SH-73 内) 北西から
- 4 PIT-102/103 切り合い (SH-73 内) 南西から
- 5 SK-107 北西から
- 6 SK-107 南東から
- 7 SK-107 白砂層 (ベンガラ混) 南東から
- 8 調査区西壁断面 北東から

図版 7 1 トレンチ SB-128

- 1 柱穴配置状況 南東から
- 2 PIT-37 断面 北から
- 3 PIT-37 北から
- 4 PIT-110 東から
- 5 PIT-112 南西から

図版 8 1 トレンチ SD-1

- 1 北西から
- 2 北壁断面 南から
- 3 南壁断面 北から
- 4 中央 / 南区間断面南壁 南から
- 5 SD-70 断面 南西から

図版 9 1 トレンチ土抔

- 1 SK-16 南東から
- 2 SK-21 土器出土状況 南から
- 3 SK-23 南東から
- 4 SK-23・SD-1 断面 北西から
- 5 SK-61 南東から
- 6 SK-61 完掘 南東
- 7 SK-65 (焼土) 南東から
- 8 SK-93 南から

図版 10 2 トレンチ SH-10

- 1 西から
- 2 南西から
- 3 焼土断面 北西から
- 4 焼土上面の土製勾玉出土状況 南西から

図版 11 2 トレンチ SH-17

- 1 北から
- 2 東から
- 3 焼土 西から
- 4 焼土 南東から

図版 12 2 トレンチ SD-7

- 1 南から
- 2 南西から
- 3 断面北壁 北東から
- 4 調査区北壁 西から
- 5 調査区西壁 南東から

図版 13 2 トレンチ SD-7・SK・PIT

- 1 SD-7 掘削状況 北東から
- 2 SD-7 遺物出土状況 南西から
- 3 SK-4 西から
- 4 SK-18 東から
- 5 SK-70 南から
- 6 SK-70 南東から
- 7 PIT-34/35 南西から
- 8 PIT-72 北東から

図版 14 1 トレンチ出土遺物

- 1 SH-18(第6図7)
- 2 SH-18(第6図)
- 3 SH-18(第6図)
- 4 SH-73(第8図)
- 5 SH-73(第8図3)
- 6 SH-73(第9図)
- 7 SH-73(第9図)

図版 15 1・2 トレンチ出土遺物

- 1 SK-21(第14図)
- 2 SK-21(第14図)
- 3 SK-21(第14図6)
- 4 SK-21(第14図7)
- 5 SK-107(第16図)
- 6 SD-1(第12図)
- 7 SD-7(第23図5)
- 8 SH-10(第19図4)
- 9 SD-7(第23図14)

図版 16 1・2 トレンチ出土遺物

- 1 土製勾玉
- 2 滑石製模造品
- 3 縄文土器
- 4 鉄製品
- 5 石斧・石錘

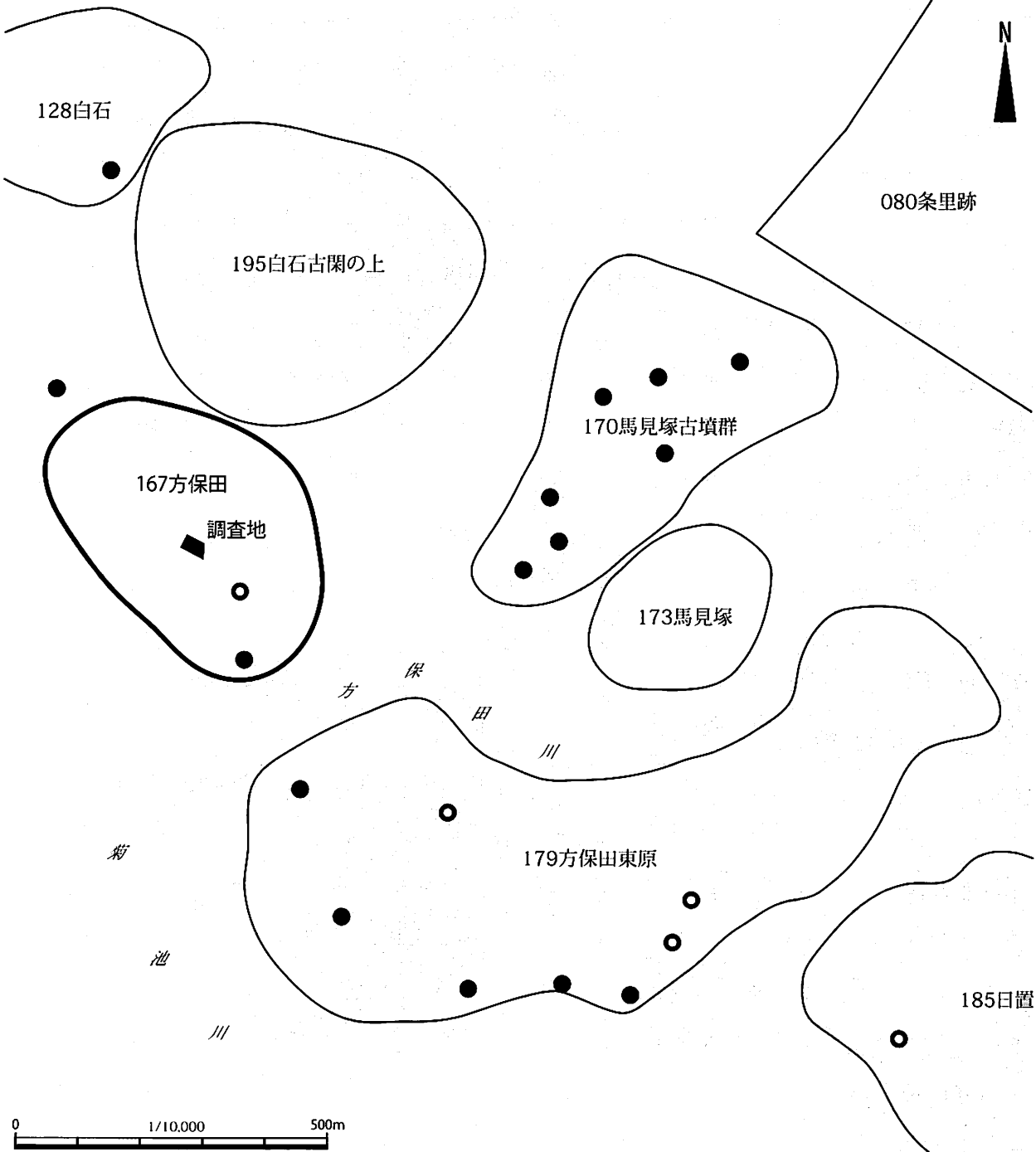
第1章 調査の経過

第1節 調査の経緯

山鹿市水道事業では、方保田（かとうだ）水源・配水施設において配水エリアの見直し及び未普及地域の解消を行うため、施設の耐震化と更新を図り安心安全な上水道事業を推進することを目的として、

平成 25 年度に配水池の増設並びに管理棟（ポンプ室）を建設することとなった。

事業に先立ち、担当課である山鹿市水道局水道課から、平成 22 年 11 月 18 日付けで計画地における埋蔵文化財についての照会があった（22 年度申請第 180 号）。地図と照合した結果、埋蔵文化財包蔵地（方保田遺跡）の範囲内であった。計画地周辺では調査歴がなく地下遺構の状況が不明であったため、水道課からの発掘通知提出によって平成 23 年 12 月 13 日に試掘調査を実施した。



第1図 周辺の遺跡

●古墳 ○箱式石棺(現存しないものも含む)数字は遺跡番号

試掘調査は計画地のうち、配水タンク予定地と管理棟予定地に3箇所調査区を設定し、重機で掘削した。(第2図)その結果、いずれの調査区でも溝や柱穴などの遺構を検出し、弥生時代後期から古墳時代初頭及び古代の土器3袋(1.6kg)、鉄器1点(刀子片、第18図35)が出土した(表1)。

試掘調査によって当該地区に遺構・遺物が分布することが明らかとなった。このため、事業計画の変更によって埋蔵文化財が保護できないか事業者と協議したが実現できず、事業範囲について記録保存の措置を取るため発掘調査を実施することとなった。

調査にあたっては山鹿市を甲、山鹿市教育委員会を乙として調査期間を平成24年度(発掘調査)から25年度(報告書作成)とする実施協定を平成24年5月10日付けで締結した。また、発掘調査ならびに報告書作成業務の委託契約を各年度(24年5月10日付け・25年4月1日付け)で締結した。

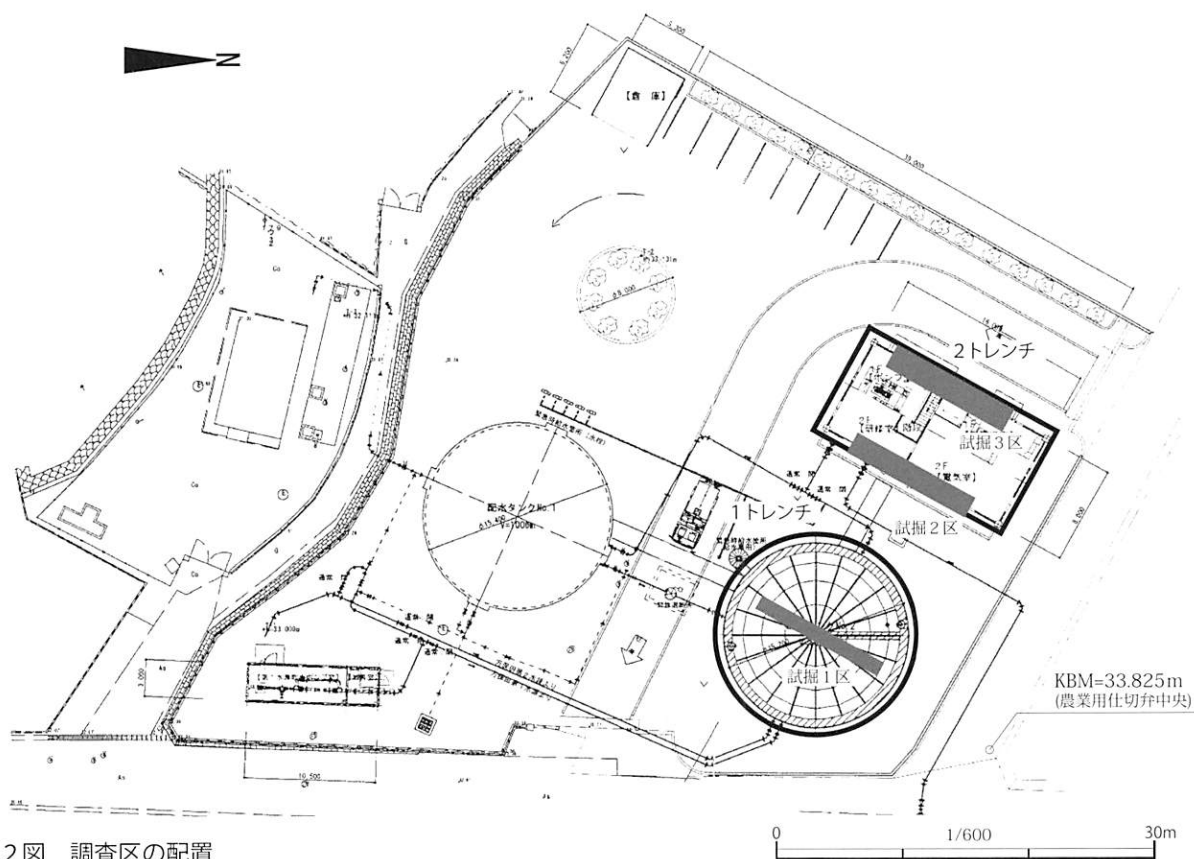
| 調査区 | 幅 | 長さ | 遺構面までの深さ |
|-----|-----|------|----------|
| 1区 | 1.2 | 11.0 | 0.4 |
| 2区 | 1.8 | 10.7 | 0.35 |
| 3区 | 2.0 | 10.6 | 0.25 |

表1 試掘調査の調査区 (単位:m)

第2節 位置と環境

方保田遺跡は山鹿市南部、菊池川中流域右岸の台地中央部の南端に立地する(第1図・図版1)。遺跡範囲は東西500m、南北350mの範囲と推定されている。この台地は後期更新世の低位段丘で標高30～40m程度、中央を東西に国道325号が通る。台地西端に山鹿市街地があり、東部には鹿本町の市街地(近世における山鹿新町)がある。台地南端では菊池川が西流し、崖面が形成されている部分もある。台地中央付近は主に水田や畑として利用されており、家屋も散在している。調査地の周辺は北から南の菊池川と沖積平野に向けて低くなり、台地上面と沖積平野との比高差は10～15m程度である。

調査地の旧状は畑地でほぼ平坦、地表面の標高は33.0～33.3m付近。北と東は道路、西は畑、南は段丘崖が造成され、宅地(日の出団地)となっている。周辺では昭和43年3月に圃場整備(山鹿市東部方保田地区開田圃場整備事業)に際して、遺物が多量に採集された記録がある(注1)。当時は行政による埋蔵文化財保護体制が整備される前であったため、高校の考古学部生徒らによって遺物採集が行われた。5基の箱式石棺のほか、竪穴住居址らしき遺構も確認されたが記録できずに破壊されてしまっ



第2図 調査区の配置



第3図 遺構配置図

たという。報文では「ブルドーザーとの競争みたいな調査」にも関わらず「ほぼ全域から多量の遺物を検出」して「土器片の数は千点を越すと思われる」ことが記されている。出土品は弥生時代から古墳時代や古代の土器、鉄器などがあった（第28図）。

方保田遺跡の周辺には同時期の集落遺跡や古墳、箱式石棺が分布する。方保田遺跡の南東、方保田川が開析した小規模な谷をはさみ隣接した位置に方保田東原遺跡があり、60回以上の発掘調査によって弥生時代後期から古墳時代前期にかけてを中心とした多種多様な遺構と遺物が出土している（注2）。方保田遺跡の北に隣接して白石古閑の上遺跡と白石遺跡があり、これまで小規模な試掘調査等によって弥生後期から古墳前期及び古代などの遺構・遺物が出土しているが、詳細は判然としない。方保田遺跡東方の丘陵上には7基の円墳からなる馬見塚古墳群があり、盟主墳とされる辻古墳は昭和40年と平成22年に発掘調査が実施された（注3）。昭和40年の調査では家形石棺、舟形石棺、箱式石棺など4基の石棺が出土した。このほか遺跡周辺に分布する箱式石棺は昭和40年代に不時発見されたため、内容について判然としないものが多い（注4）。しかし、同時期に存在したこれらの遺跡や古墳はそれぞれ密

接な関係があるものと思われる。

注1：隈 昭志、杉村彰一「方保田調査概報」『チブサン』第13号、熊本市立鹿本高等学校考古学部、1968年

隈 昭志「山鹿市方保田の石棺群と遺物包含層の調査」『菊池川流域の古代文化』熊日出版、2012年に再掲

注2：宮崎 歩『方保田東原遺跡14』山鹿市文化財調査報告書第12集、山鹿市教育委員会、2011年ほか

注3：『山鹿市史』上巻、215-221頁、1985年

佐治健一『馬見塚古墳群 辻古墳』山鹿市文化財調査報告書第14集、山鹿市教育委員会、2012年

注4：中村幸史郎『方保田神社裏古墳』山鹿市文化財調査報告書第5集、山鹿市教育委員会、2007年



写真1 既存の配水タンク

第3節 調査の方法

①調査の体制

(1) 平成 24 年度

山鹿市教育委員会

教育長 杉本作徳（平成 25 年 3 月 1 日まで）

教育次長 寺崎泰和

文化課長 早田弘隆

審議員 丸山信敏

課長補佐兼文化財係長 園田正尚

文化財係（調査担当）宮崎 歩

山鹿市水道局

水道局長 宮本 稔

水道課長 宮田裕二

課長補佐 阿蘇品 健

(2) 平成 25 年度

教育長 堀田浩一郎

教育部長 木村厚男

文化課長 丸山信敏

課長補佐 園田正尚

文化係長 鮑本勝徳

文化係 宮崎 歩

山鹿市水道局

水道局長 宮本 稔

水道課長 宮田裕二

課長補佐 中原欣也

業務係長 功能宇治

(3) 作業員

原口洋一、森本正晴、江良敏彦、隈部匡徳、塚本良助、古閑孝昭（現地作業・山鹿市シルバー人材センター）

前川真由美、石橋洋子、高木由起子、松田上司（整理作業・山鹿市出土文化財管理センター）

②調査の方法

対象地の表土掘削は、調査員が包含層の状態を確認しながら重機で掘り下げた。その後作業員によって遺構面を清掃し、遺構を検出して検出状況写真を撮影した。東側の配水タンク予定地を 1 トレンチ、西側の管理棟（機械室）予定地を 2 トレンチとした。（第 2・3 図）

遺構は平板等によって配置図を作成し、種類ごとではなく検出順に番号をつけた。遺構写真は調査員

がカラーリバーサル・モノクロフィルムを使用して撮影した。撮影は 35 mm フィルムカメラを基本に、補助用としてデジタルカメラ、全体写真用として中型カメラを使用した。専門的な業務は以下のように委託した。

- ・発掘作業（山鹿市シルバー人材センター）
- ・遺構平面実測、遺構実測図デジタルトレース（㈱埋蔵文化財サポートシステム熊本支店）
- ・航空写真撮影（九州航空㈱熊本営業所）

調査期間中、調査地近くの大道小学校 6 年生を対象とした発掘調査体験（6 月 7 日開催、50 人参加）および市民を対象とした現地説明会（7 月 28 日開催、20 人参加）を実施して普及啓発に努めた。

現地調査期間は平成 24 年 5 月 21 日から 8 月 17 日であった。

今回の調査で出土した遺物量は内法 54×34×15 cm のコンテナで 76 箱、重量 332.6 kg。遺物量が多いのは両トレンチとも溝であった（表 2）。

整理調査は遺物をすべて水洗・乾燥して、取り上げ単位（主にビニール袋）及び出土遺構ごとに番号をつけ、台帳を作成した。遺物は調査員が選別し、遺構の時期を示すものや特徴的なものを中心に注記した後、接合・復元した。注記は遺跡の略記号と調査年を組み合わせた「KTD2012」とし、遺物内面など目立たない部分に記入した。実測は作業員が中心に行い、担当者が確認した。実測図は印刷仕上がりの二倍サイズに縮小し、ロットリングペンでトレースした。一部の図面は担当者がデジタルトレースした。遺物写真は担当者が撮影した。整理作業終了後の出土遺物や実測図・写真類は、山鹿市出土文化財管理センターで保管している。

| 1 トレンチ | | 2 トレンチ | |
|-----------|--------|----------|--------|
| 溝 SD-1 | 62.32 | 溝 SD-7 | 37.95 |
| 土堀 SK-21 | 12.27 | 住居 SH-10 | 0.82 |
| 土堀 SK-107 | 18.71 | 住居 SH-17 | 1.4 |
| 住居 SH-18 | 31.22 | その他 | 37.62 |
| 住居 SH-73 | 32.22 | 合計 | 77.79 |
| その他 | 73.9 | | |
| 合計 | 230.64 | 検出中 | 24.18 |
| | | 総合計 | 332.61 |

表 2 出土遺物の重量（単位；kg）

第4節 法令等の手続き

今回の発掘調査における文化財保護法（以下「法」という。）等の法令に基づく手続きは以下のとおり。

- ①調査の通知（法 94 条）平成 23 年 11 月 16 日付け山下 P1-104 号。試掘調査の結果を添付して 23 年 1 月 4 日付け山教文 M6-188 号で熊本県教育委員会へ進達。24 年 1 月 16 日付け教文第 2431 号で県から通知、発掘調査実施の指示。
- ②発掘調査の通知（法 99 条 1）24 年 5 月 1 日付け山教文 M6-25 号で県教委に通知、24 年 5 月 11 日付け教文第 323 号で県教委から通知。
- ③発見届（遺失物法 13 条）・保管証（法 100 条）24 年 10 月 3 日付け山教文 M 6-136 号で山鹿警察署および県教委に提出。
- ④埋蔵物監査（法 102 条 2）；24 年 10 月 22 日付け教文第 152 号で県教委から通知。

第5節 調査の経過（調査日誌抄録）

5/21（月）曇一時雨／機材搬入、小屋トイレ。9時から16時30分まで重機掘削、0.45級一台。検出開始。1トレで包含層（暗灰粘質土（床土）植物細根多くしまる）より土器集中。床土の直下が遺構面（暗茶～茶褐色粘質土、しまる）。
5/22（火）快晴やや風あり／調査区周辺に角杭とロープ設置。1トレ検出。南北方向に溝、住居少なくとも2棟。弥生後、古墳、古代の土器が混ざる。遺構面乾燥で見にくい。シートをかける。
5/23（水）曇／1トレ検出。シート効果で作業が楽。検出写真撮影。
5/24（木）曇／遺構掘削。中央溝は古代から中世。不定形の上拡はおおむね浅い。柱穴は深いものがある。
5/25（金）雨／降雨のため作業中止。シートを外し水分補給。
5/28（月）曇→快晴／2トレ検出ほぼ終了。2トレ全体に黒い。SDか落ち込みか。1トレ平板。
5/29（火）晴れ／2トレ検出、撮影、掘削。溝北端にサブトレ。
5/30（水）曇／2トレ掘削。SD-7北サブトレ完掘。SH-10焼土上面より土製勾玉。
5/31（木）曇時々雨／2トレ掘削、南半ピット群。北東SK-10焼土周辺より鉄1片。埋管（塩ビパイプ）w 60、d 76以上。南東SH-17焼土中心に方形プラン。
6/1（金）曇／2トレ掘削、南半ピット群深い。SD-7掘削。
6/4（月）曇、強風／2トレ、SD-7断面写真撮影。断面実測。
6/5（火）雨のち曇／雨のため休み。
6/6（水）晴れのち曇／2トレ、体験発掘用意（サイン、道具、資料等）。柱穴、土坑の掘削。SD-7東側。SH-10完掘。
6/7（木）曇／体験発掘、SD-7上層の黒褐土を掘削。①9：30～6年1組22人＋引率教諭。②10：30～6年2組23人＋引率教諭。報道（新聞2社、テレビ2社）、秘書課。2トレ柱穴掘削。SD-7中央中層よりほぼ完形の大型壺1点。
6/8（金）雨のち曇／雨天のため休み。

6/11（月）曇のち雨／2トレSD-7内にSK-70。
6/12（火）曇のち雨／雨天のため中止。
6/13（水）快晴／2トレPIT-72中央の焼粘土、断面実測。SK-70（SD-7内）断面実測。
6/14（木）快晴／2トレほぼ完掘。塩ビパイプは排水管。
6/15（金）曇のち雨／1トレ検出。降雨のため、午前中終了。
6/20（水）曇／2トレ完掘状況撮影。SD断面実測。
6/22（金）快晴／1トレ東半検出、SD-1掘削。5m毎に三分割。
6/26（火）曇のち晴れ／2トレ排水。1トレ掘削。
6/28（木）曇一時小雨／1トレSD-1、N区とC区ほぼ完掘。白磁子、ベンガラ付き凝灰岩片。SH-17出土状況撮影。
6/29（金）曇／1トレSH-21周辺にサブトレ①～⑤掘削。
7/2（月）曇のち雨／2トレ排水、土器洗浄。午後、1トレ掘削・SH-18・21、SD-1南東のピット群。
7/3（火）曇のち雨、7/4（水）雨一時曇／降雨のため土器洗浄。
7/5（木）曇／2トレ排水。1トレ掘削SH-18、一段下げで柱穴。SH-21周辺。SD-1完掘。
7/6（金）曇のち雨／1トレ掘削。雨のため土器洗浄。SK-39、遺構群の上のたまりか。一部掘削。
7/9（月）快晴／1トレ掘削、SH-18遺物取り上げ。下に遺構なし。
7/10（火）晴れのち曇／1トレ掘削、検出。
7/11（水）曇／1トレSK-37、PITか。PIT-5切り合いあり。
7/19（木）曇、午後快晴／2トレ排水、泥出し。1トレ掘削。
7/24（火）快晴／2トレ実測。1トレ掘削、PIT-5、SK-23。
7/25（水）晴れ／1トレ掘削。1、2トレ実測。
7/26（木）快晴／1トレ掘削、断面図。PIT-87、SD-1ベルト。
7/27（金）快晴（一時雨）／1トレSH-73掘削。SK-19ベルト撮影。
7/28（土）快晴／現地説明会、20人参加、広報宣伝不足。
7/30（月）晴れ一時雨／1トレ掘削。SK-93断面実測、完掘。SD-70、SH-62ベルト実測。
7/31（火）快晴／2トレ掘削。東風強い。
8/1（水）快晴のち曇／1トレSH-73掘削。E区内のPIT切り合う。S区、うっすらと白粘土。N・W区掘削始める。
8/2（木）曇のち晴れ／1トレSH-73・SK-21遺物取り上げ。PIT実測。SK-21、浅い。断面実測。
8/3（金）晴れ一時曇／1トレSH-73・SK-21・SD-1等掘削。
8/6（月）晴れのち曇／1トレPIT-37・110・112、SK-107白粘土、ベンガラ。SD-1ベルトより滑石製垂飾。層位不明。
8/7（火）晴れのち曇／1トレ掘削。撮影前掃除、SK-107から鉄器、刀子か。柄らしき木質も。SK-18・19下層掘削。
8/8（水）晴れのち曇／1トレ掘削、掃除。
8/9（木）曇一時雨／清掃。全景写真撮影後、雨が降り始める。メッシュ設置。SH-73ベルト実測。SD-1南北両端写真。
8/10（金）快晴／SH-73ベルト掘削、写真。SD-1南北端実測。2トレ図面確認。SD西端実測。トイレ汲み取り、ハウスと共に撤収。機材は文化財管理センターへ搬出。SH-73中央に灰溜まり。
8/15（水）晴れ／実測（3名）
8/16（木）晴れ／実測（4名）図面チェック。
8/17（金）晴れ／機材洗浄、10～17時埋め戻し、撤収。

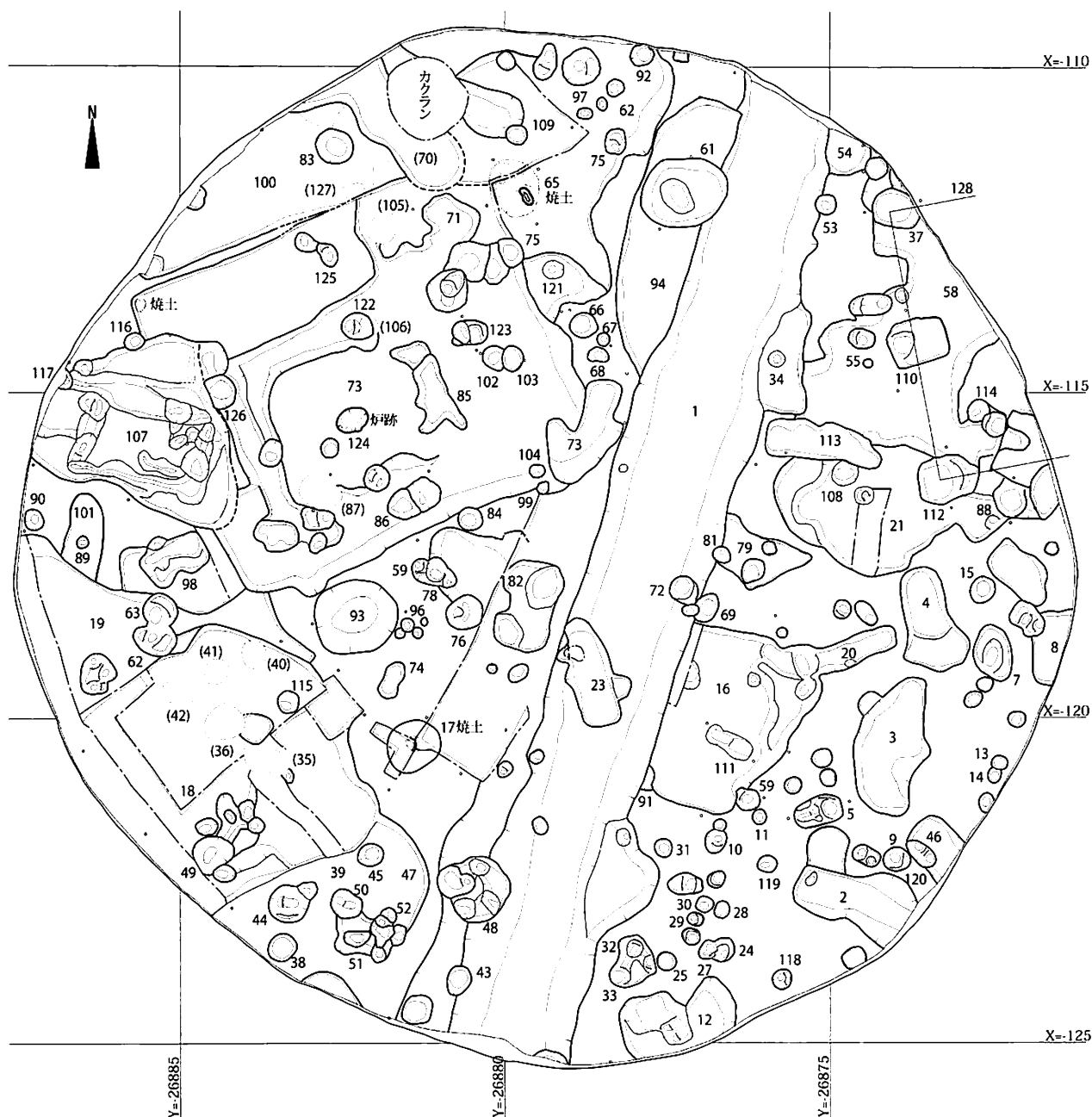
第2章 調査の成果

第1節 調査区の位置

今回の調査地点は遺跡推定範囲の中央付近、台地の南縁辺近くに位置する（第1図）。周辺は昭和43年の圃場整備事業以降、水田や畑として利用されている。調査面積は1トレンチ200㎡、2トレンチ150㎡（合計350㎡）である。

第2節 層序

調査区はかつて畑として利用されていたため、ほぼ平坦であった。地表面の標高は33.0～33.3m付近。層序はどちらの調査区も大差なく、上層から順に耕作土（厚さ0.2m程度）・床土（厚さ0.1～0.2m程度）の下層が遺構検出面であった。かつて圃場整備によって大きく削平されたとのことで、床土に土器が多く含まれる部分があった他に明確な包含層は残存していなかった。遺構検出面は標高32.8～32.9m付近の褐色土（10YR4/4）で、これ以下は



第4図 1トレンチ平面図 数字は遺構番号・()は上からの掘り込み

32.4～32.7 m付近で締まりのある黄褐色粘質土(10YR5/6)となる。表土の堆積状況は1トレンチ溝SD-1の南北壁(第12図①⑤)、2トレンチ溝SD-7北壁(第23図①)などを参照のこと。

第3節 遺構と遺物

①1トレンチ(第4・5図、図版4)

調査地の東側、配水タンク建設予定地に設定した円形の調査区である。中央部では南北に走る溝SD-1、その東側に竪穴住居SH-18・73と墓坑SK-107、北東部に掘立柱建物SB-128の一部、南東部で不整形の土坑や直径0.3 m程度の小規模な柱穴などが分布する。遺構面の南北2箇所焼土を確認したが、これに伴う遺構は検出できなかった。

(1)住居 SH-18(第6・7図、図版5・14)

調査区南西に位置する竪穴住居。平面形状は東がふくらんだ楕円形で、南西は調査区外。南東で土坑SK-18を切る。東西3.7×南北3.7 m以上、深さ0.4 m。北壁の掘り込みはなだらかで、南壁はおおむね垂直に立ち上がる。柱穴やカマド・炉・貼床などは検出しなかった。竪穴住居としたが、不整形な平面や掘り込み形状などから、大規模な土坑である可能性もある。

遺物は埋土全体から土器片などが31.22kg出土したが、接合状況は悪い。甕は頸部付近までタタキ調整を残すものが大半である。内面をよく削り器壁を薄くしているものもある(第7図1・2)。壺口縁(7図3～11)に文様は見られないが、外面の一部にベンガラが付着したものがある(7図10)。大型の鉢(7図21・22、図版14-2)は直径の異なる別固体の口縁部だが、いずれも頸部の突帯に刻目を施す。台付鉢(7図23、図版

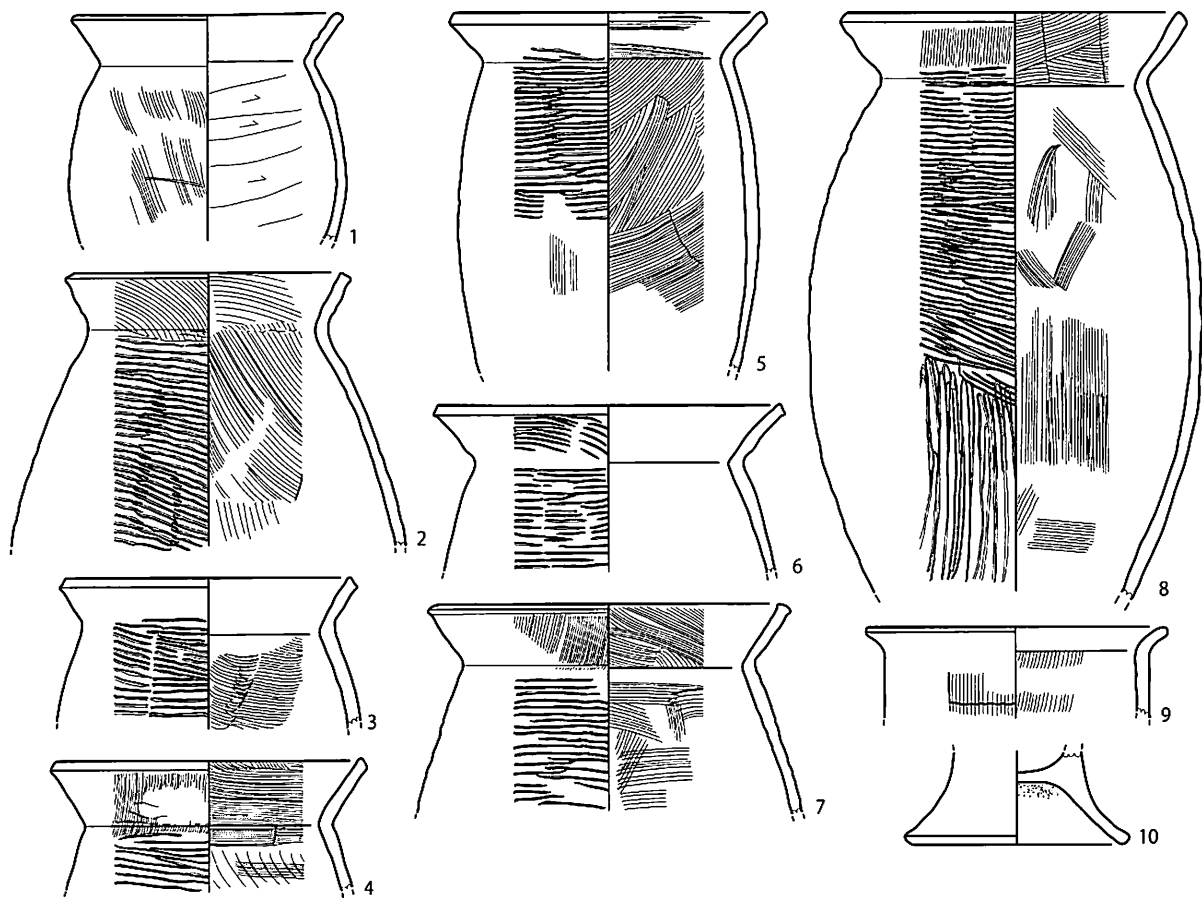
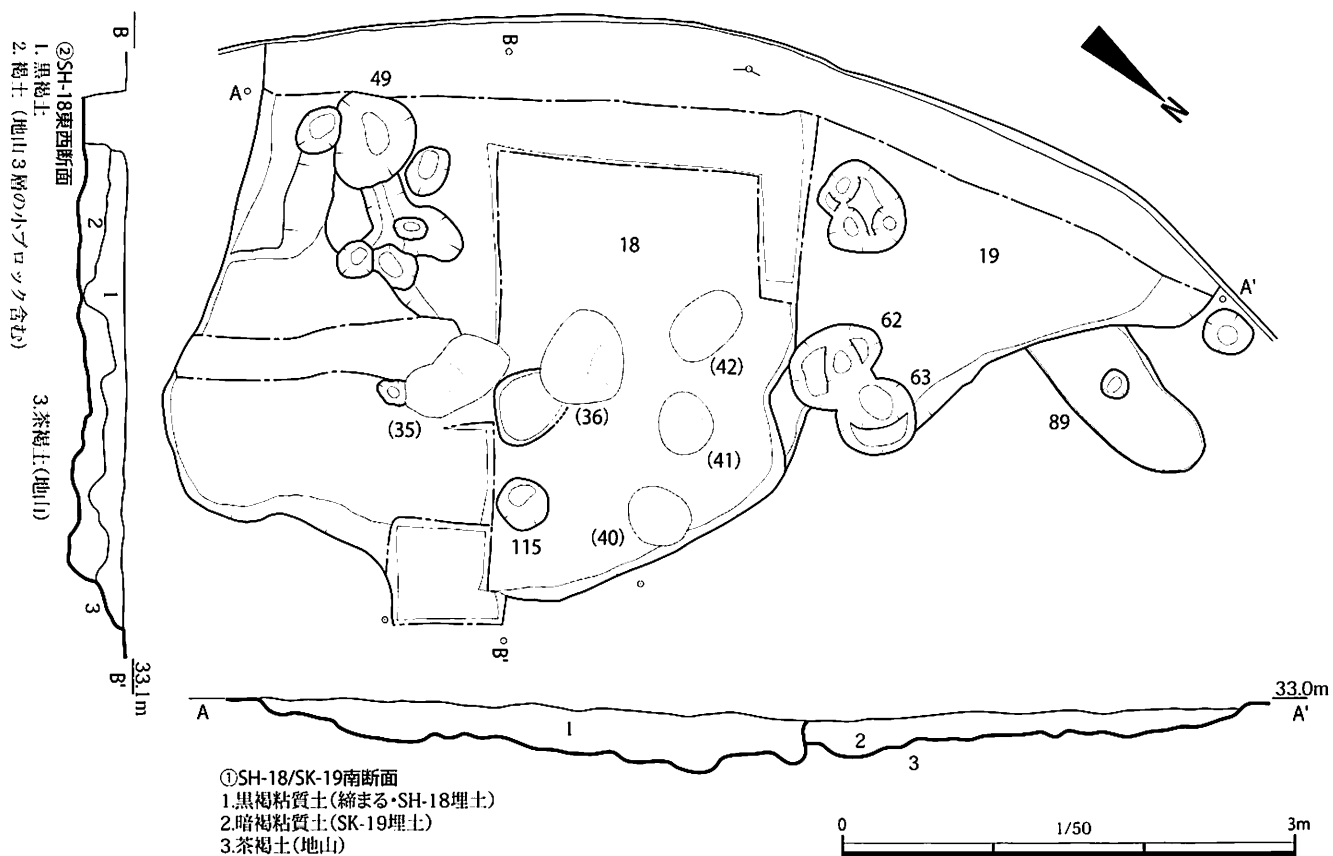
14-3)は脚台に二孔一組で三方向のゆがんだ円形透かし孔があるが、貫通しているのは一箇所のみである。土坑SK-21でも同様に、透かし孔が貫通していない高杯脚部(16図4)が出土している。器台(7図32、図版14-3)の脚部外面中央には長さ6 mm程度の粉状の植物種子圧痕がある(下写真)。この器台は外面にほとんどナデ調整を施さず、口縁も水平に整えないなど粗雑な作りである。小型のコシキ(7図33)は底部に単孔がある。

(2)住居 SH-73(第8～10図、図版2・3・14)

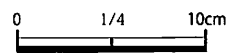
調査区中央北西に位置する竪穴住居。西壁の大半を土坑SK-107に、西隅を不整形の土坑SK-73に、北隅を溝SD-70に切られ、北東で竪穴住居SH-100

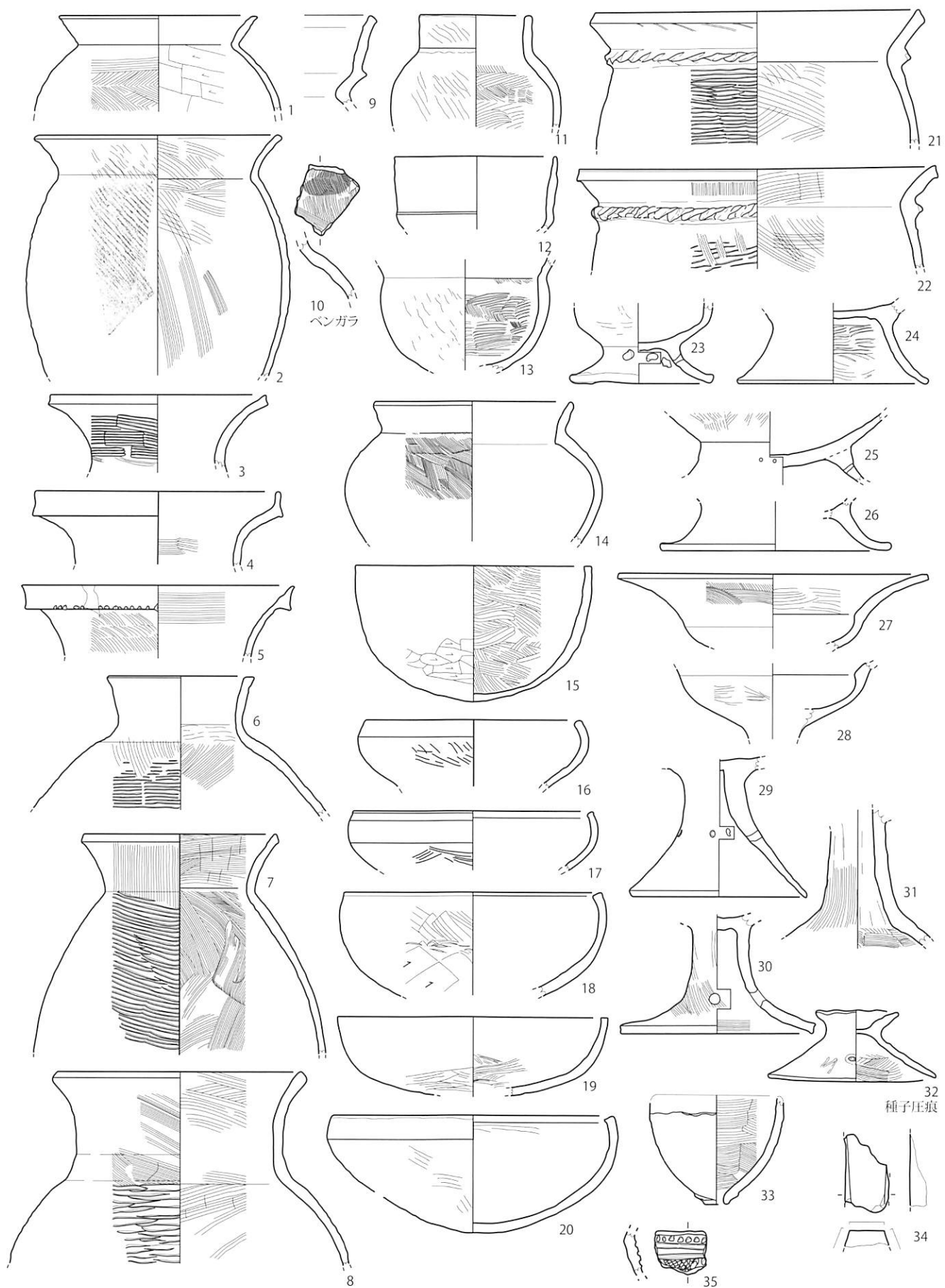


第5図 1トレンチ遺構番号



第6図 1トレンチSH-18・出土遺物





第7図 1トレンチSH-18出土遺物

0 1/4 10cm

を切る。平面形状は東西に長い長方形で、規模は北辺 5.8 m、南辺 6.1 m、東辺 5.2 m、西辺 5.0 m、深さ 0.12～0.41 m。北西にベッド状遺構(3.7×1.5 m・図版 6-1)。主柱穴は柱穴 PIT-126 ほか 3 基で、西隅には所在しない。中央やや南で炉 (SK-124、0.5×0.4×深さ 0.03 m・8 図 6・図版 6-3) があり、ごく浅いくぼみに焼土が集まっていた。東半中央付近の柱穴 PIT-123 (0.38×0.55×深さ 0.4 m・図版 6-2) の底面近くから、ほぼ完型の小型丸底壺 (10 図 13、図版 14-4) が出土した。

遺物は埋土全体から土器片などが出土した (32.22kg)。甕は体部外面に刷毛調整を施し、タタキは見られない。杵型器台 (9 図 13) は今回の調査で唯一の出土。大型の広口壺 (9 図 18) は口縁端部と頸部突帯に同一の刷毛状工具による刺突文を施す。ガラス状の小型土器 (10 図 3・4、図版 14-6) は精製され砂粒を含まない胎土で、杯部外面全体を磨いてから鋭利な工具による細線刻を施す。杯部の文様は口縁下に平行した二本の直線文と、そこから下に向けて緩やかに湾曲して先端の尖る鈎状文からなる。土器を上から見て口縁の周囲に文様を展開させると、巴形銅器を思わせるような文様構成である。杯部と脚部は接点がないが、胎土や調整から同一固体と判断して図化した。脚部には単孔三方向の透かし孔がある。ミニチュア土器は杯などがあり、高杯の脚部らしき小片 (10 図 9、図版 14-6) は内面に放射線状の線刻があり、外面にも一部線刻が残る。鉢口縁部 (10 図 12) は住居内中央部の柱穴 PIT-122 から、口縁の一部が欠損するのみでほぼ完形の小型丸底壺 (10 図 13、図版 14-4) は住居内東部の柱穴 PIT-123 から出土した。鉄器は鎌の一部 (10 図 15)、針状製品 (10 図 14) がある (図版 16-4)。砥石とした石材 (10 図 16) は上下両端を欠損している。使用面が見られないことから自然石の可能性もある。埋土からはこのほかに縄文土器 (鉢、深鉢) 口縁部 (10 図 17～26、図版 14-7) や石錘 (10 図 27、図版 16-5) も出土した。

(3) 住居 SH-100 (第 8 図)

調査区北西端に位置する竪穴住居。大部分が調査区外に位置し、南東を竪穴住居 SH-73 に切られ、東を溝 SD-70 に切られる。深さ 0.12～0.2 m と浅い。規模は東西 4.5 m 以上。調査区端で南西隅らしきカーブがあるので、東壁が溝 SD-70 付近とすれば

東西辺 5.0 m 程度か。床面はほぼ平坦で、柱穴 PIT-83 (規模 0.6×0.54m、深さ 0.24m) はこの住居に伴うものか。カマドや炉、貼床などは検出しなかった。高杯口縁部 (第 10 図 28) などが出土した。

(4) 建物 SB-128 (第 11 図、図版 7)

調査区東部に位置する掘立柱建物。大部分が調査区外にある。建物を構成する柱穴は 3 基を検出し、北から順に PIT-37 (0.6×0.75×深さ 0.54 m・図版 7-2)・PIT-110 (0.7×0.8×深さ 0.48 m・図版 7-4)・PIT-112 (0.7×0.95×0.43 m・図版 7-5)。いずれも平面は隅丸方形で深く、底面は平坦、柱穴 PIT-110 のみ一部が深い。柱痕は検出しなかった。柱穴間距離は芯々で 2.1 m の等間隔。

南の柱穴 PIT-110・112 は土抔 SK-21 の下層で検出した。PIT-37 や PIT-110 から甕脚部 (第 11 図 1) などが出土したが、遺構時期を示すものではないだろう。柱穴規模などからみて、古代に属する建物か。

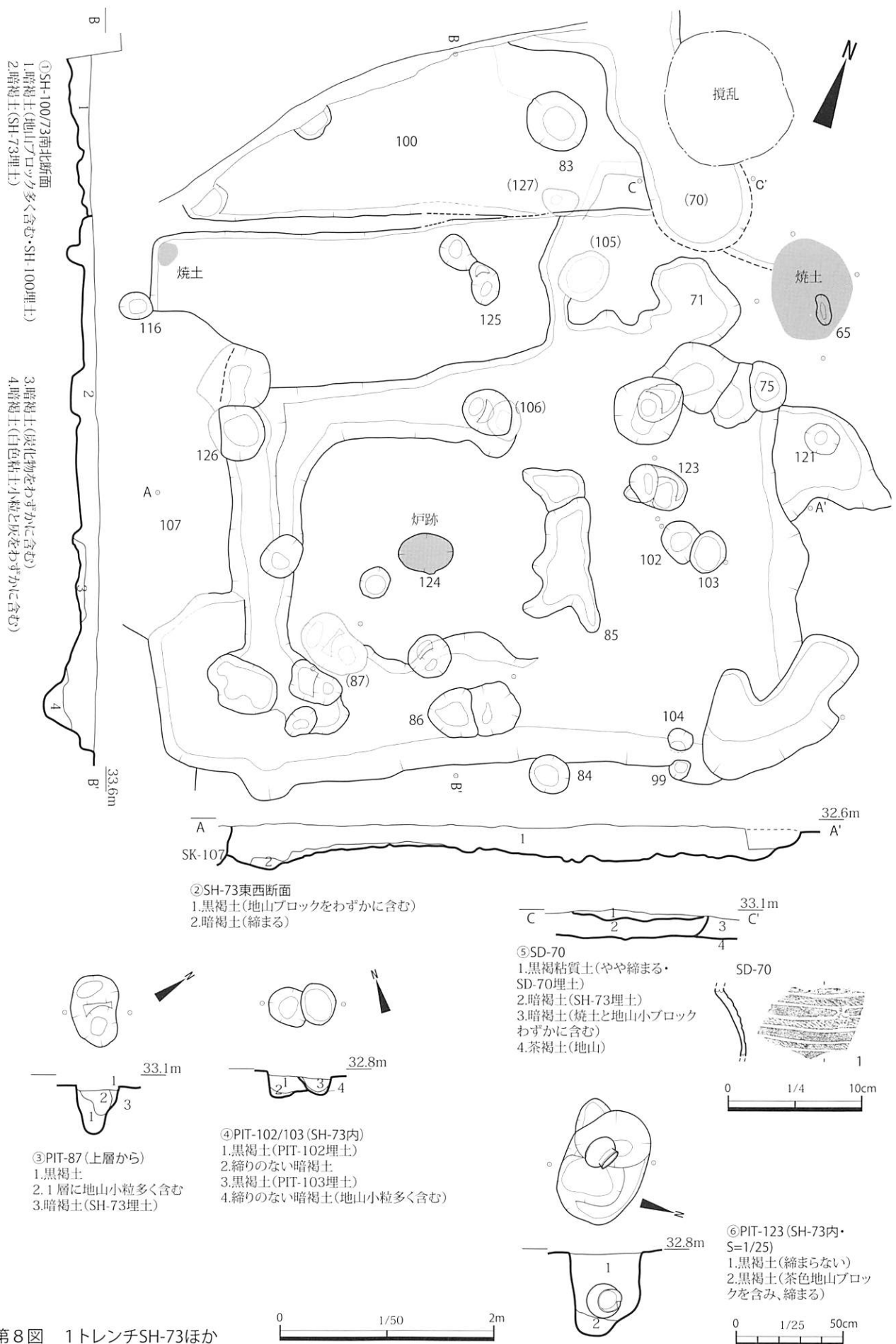
(5) 溝 SD-1 (第 12・13 図、図版 3・8・16-3)

調査区中央を北から南に流れる溝。長さ 15.4 m を検出し、両端は調査区外へ続く。幅は調査区北端で 1.85 m、南端で 2.8 m。標高は北端で 32.73 m、南端で 32.46 m。底部はほぼ平坦。土抔 SK-16・23・61、柱穴 PIT-48 など他の全ての遺構を切る。全体を 3 分割 (北区・中央区・南区) して掘削した。

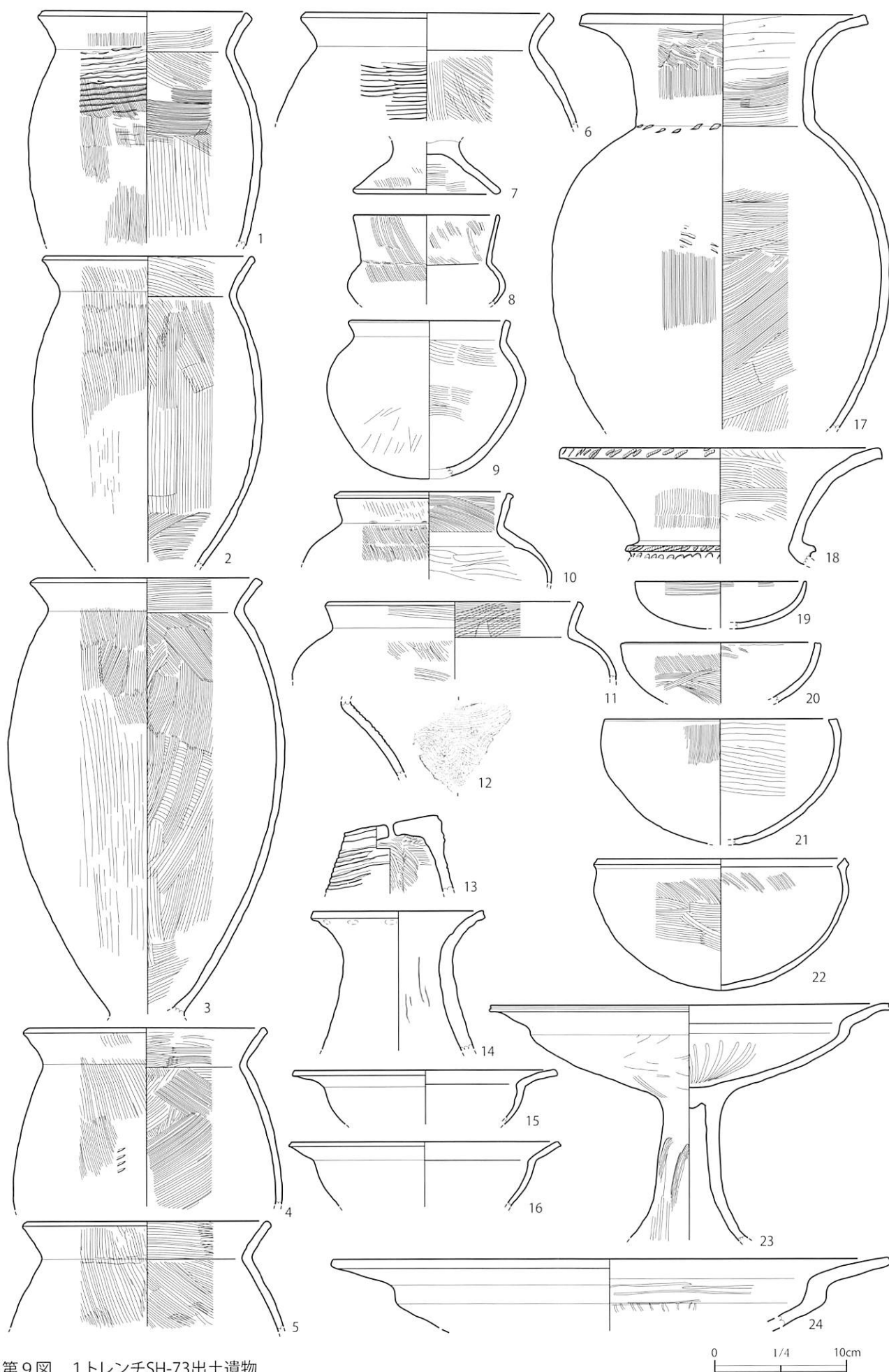
遺物は中世を中心に縄文土器と弥生時代末から古墳時代初頭の土器などを含み、62.32kg が出土した。黒色土器 (13 図 4～7) はいずれも内外面にヘラミガキを施す。滑石製石鍋 (13 図 8～11) のうち、8 は口縁端部に縦方向の把手がある。11 は底部の再利用品か。石製品のうち、磨製石斧 (13 図 37・38) はいずれもごく小片。子持勾玉模造品 (13 図 41、図版 16-2) は扁平で未貫通の孔が 1 個見られる。やや大きな石材 (13 図 42、図版 15-6) は残存する二面の全体にベンガラが付着し、破断面の一部にかけて薄く煤が付着する。

(6) 溝 SD-70 (第 8 図⑤、図版 8-5)

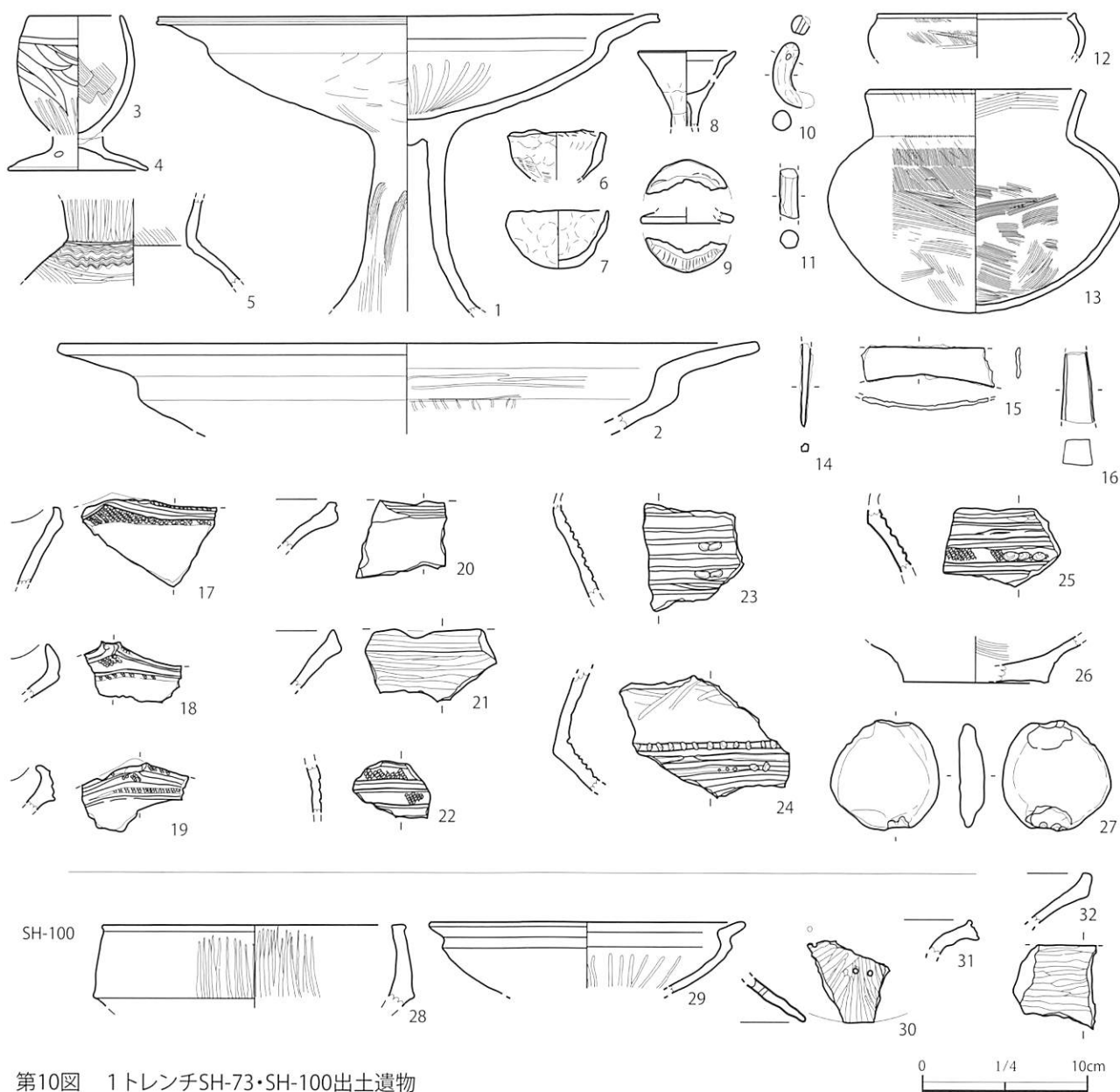
調査区北西に位置する浅い溝。長さ 2.3 m を検出し、北は調査区外へ続く。南端は明確に検出できなかった。竪穴住居 SH-73・100 を切る。幅 1.1 m、深さ 0.09 m。



第8図 1トレンチSH-73ほか



第9図 1トレンチSH-73出土遺物



第10図 1トレンチSH-73・SH-100出土遺物

(7) 土坑 SK- 3 (第4図)

調査区南東、土坑 SK-16 の東に位置する。南北に長く規模は $2.15 \times 1.15 \times 0.3$ m。縄文土器片、石鍬などが出土した (第16図9・10、図版16-5)。

(8) 土坑 SK- 4 (第4図)

調査区南東、土坑 SK- 3 の北に位置する。南北に長く規模は $1.6 \times 1.05 \times 0.06$ m と浅い。縄文土器片が出土した (第16図11)。

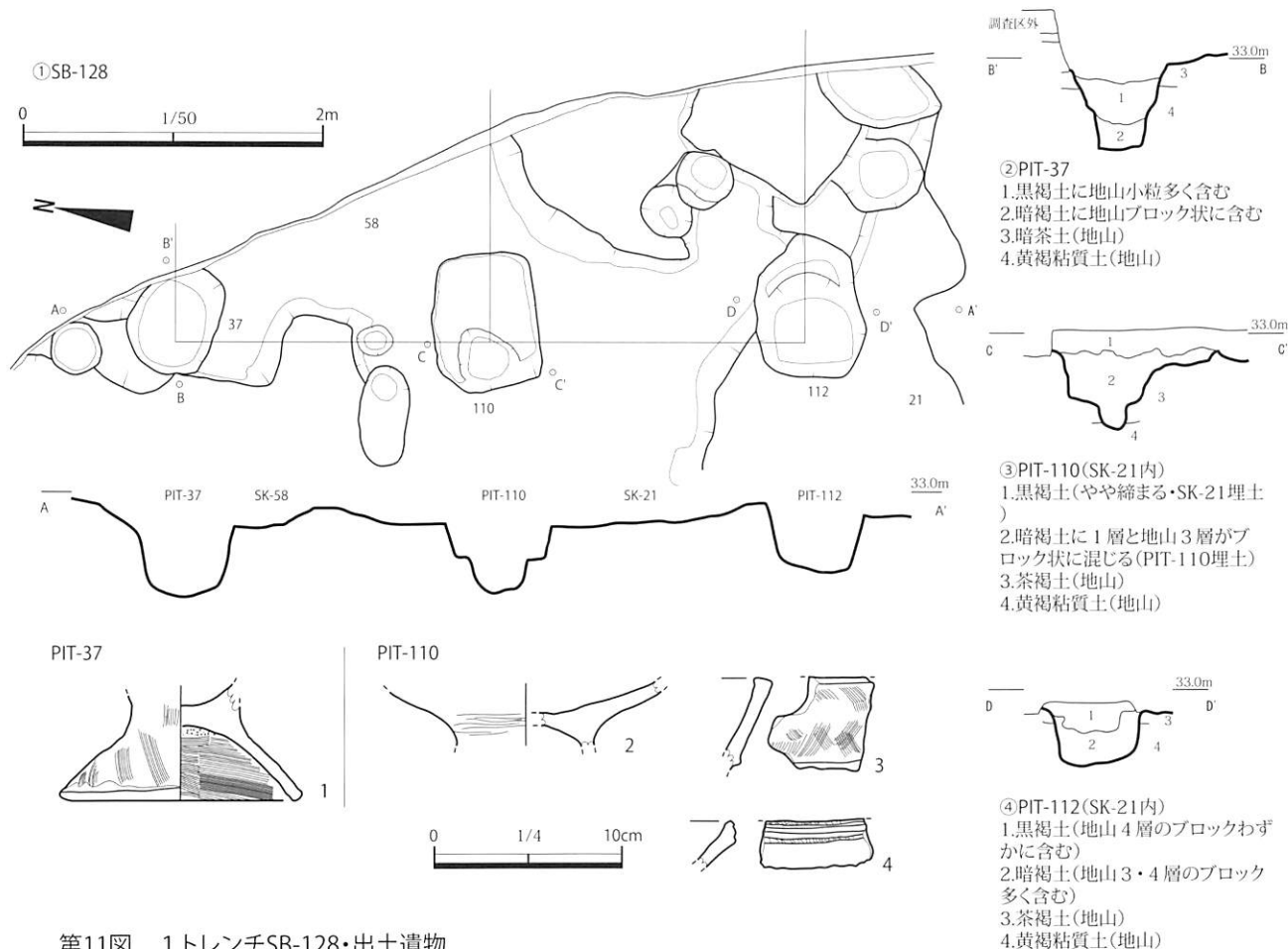
(9) 土坑 SK-12 (第4図)

調査区南端、溝 SD- 1 の東に位置する。平面は不

整形で調査区外へ続き、規模は 1.0 以上 $\times 1.9 \times 0.46$ m。縄文土器片が出土した (第16図12)。

(10) 土坑 SK-16 (第12図、図版9-1)

調査区中央のやや東に位置する土坑。溝 SD-1 に西半を切られる。東隅は溝状に伸びる。この部分は別遺構 (溝 SD-20・長 $1.3 \times$ 幅 $0.4 \times$ 深 0.2 m) としたが、切り合い関係は確認できていない。規模は東西 $1.5 \sim 2.2$ m 以上、南北 2.8 m、底面はほぼ平坦。高杯脚部 (第12図1) が出土した。中央やや南東よりで柱穴 PIT-111 ($0.34 \times 0.75 \times$ 深さ 0.3 、第12図・断面③5層) を検出した。



第11図 1トレンチSB-128・出土遺物

(11) 土坑 SK-17 (第4図)

調査区中央のやや南西に位置する焼土。小さく焼土が集まる範囲(0.16×0.26×深さ0.06m)の周囲に焼土をごくわずかに含む褐色土が楕円形状(2.0×2.06×深さ0.1m)に広がる。遺構検出面では掘り込みのラインを検出できず、断ち割りで確認した。遺物は出土していない。

(12) 土坑 SK-19 (第6図)

調査区南西端、住居SH-18に切られる。規模は2.8以上×3.0以上×0.1mと浅い。縄文土器の深鉢口縁(16図13～16)、弥生後期の甕脚台(13図17)などが出土。

(13) 土坑 SK-21 (第14～16図、図版9-2)

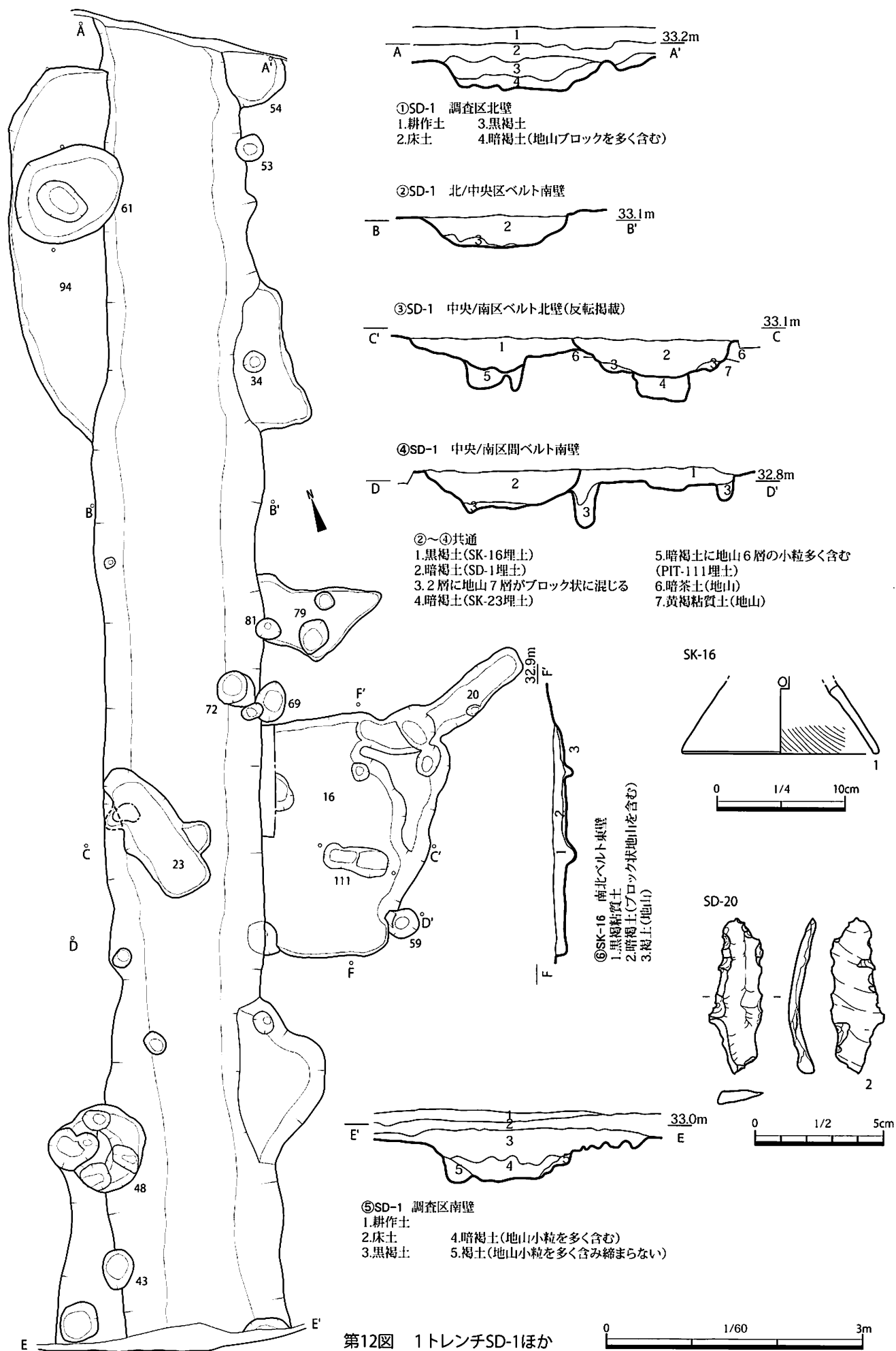
調査区北東部に位置する土坑。重機掘削段階から土器が集中した状態で検出した。平面はゆがんだ円形で規模は東西2.5m程度、北端は溝状の落ち込み(溝SD-58)に連続して明確に検出できなかった。南北4.0m程度の大きさか。下層から掘立柱建物

SB-128の柱穴PIT-110・112を検出した。土坑は深さ0.14mと浅く、上面1m四方の範囲で土器片を多量に検出した(12.27kg)が、接合状況は悪い。本来の遺構上部はかなり削平されているようだ。遺構面を掘削して構築した土坑ではなく、くぼみに土器片を投棄したものか。

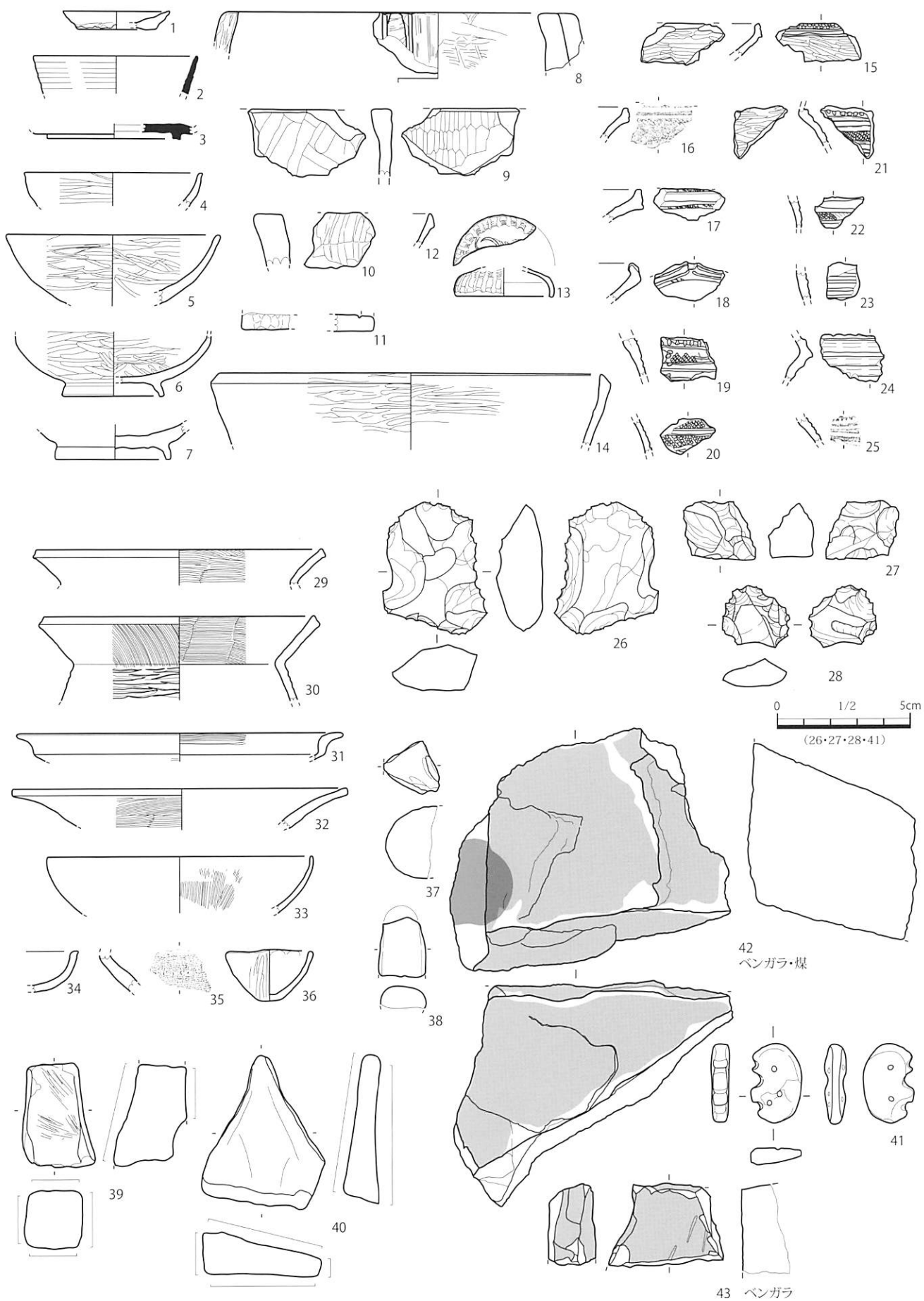
遺物のうち、甕は脚台がつかない長胴で、頸部までタタキを施す。壺口縁のうち、下端に刻み目を施すものがある(15図13)。ガラス状土器(16図5、図版15-2)は脚部外面の三箇所に「ハ」字状線刻があり、その間に二個一組の透かし孔がある。住居SH-73から出土した線刻のある精製品(10図3・4)と同様の器形だがやや大きく、調整や胎土は普通程度である。円礫には一部が赤く変色したもの(16図6)や黒く変色したもの(16図7)がある。

(14) 土坑 SK-23 (第12図、図版9-3・10-4)

調査区中央、溝SD-1の下層で検出した土坑。平面は隅丸長方形で規模は1.2×0.6×深さ0.32m(12図③断面4層)。この部分でSD-1の深さが0.45

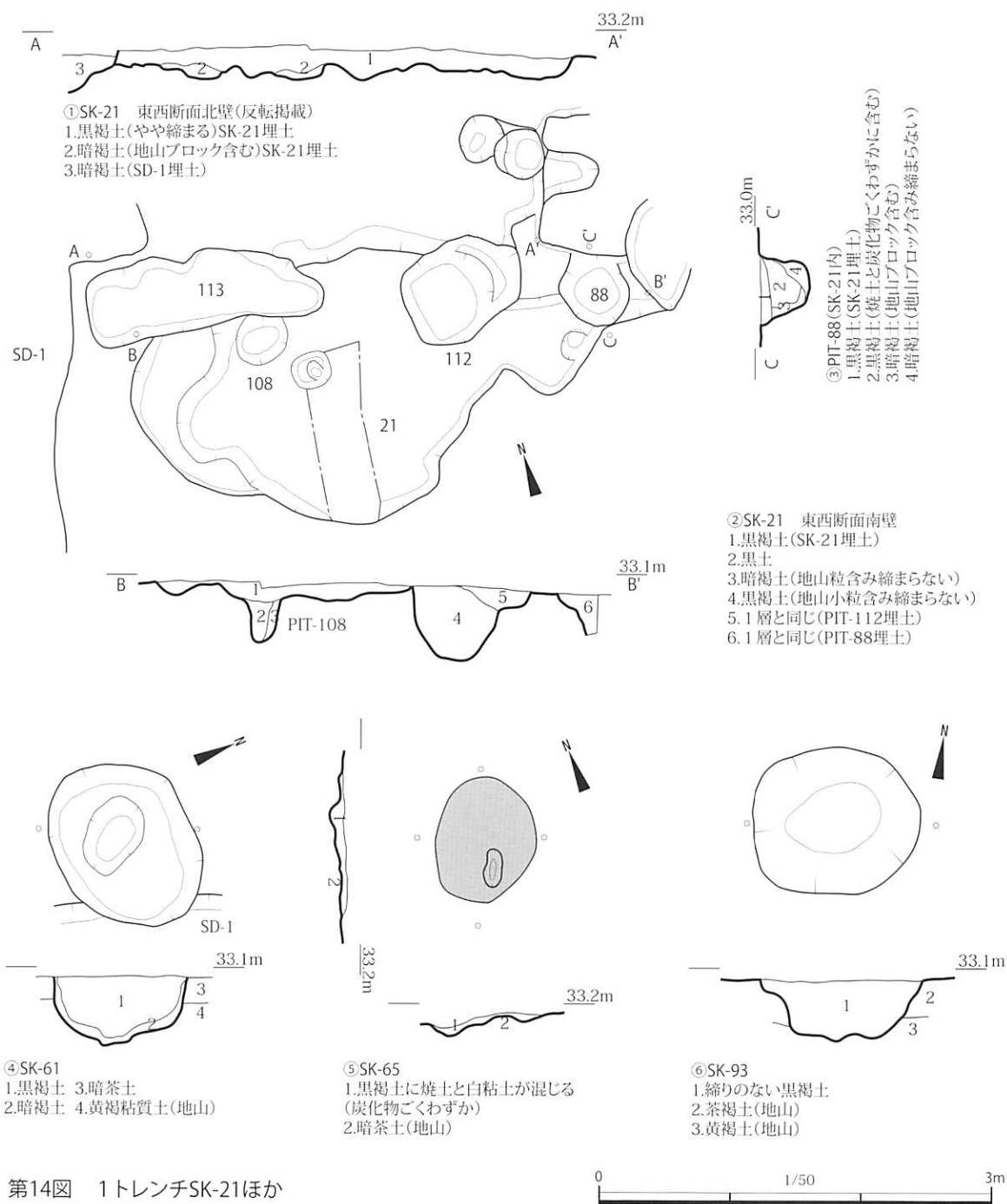


第12図 1トレンチSD-1ほか



第13図 1トレンチSD-1出土遺物





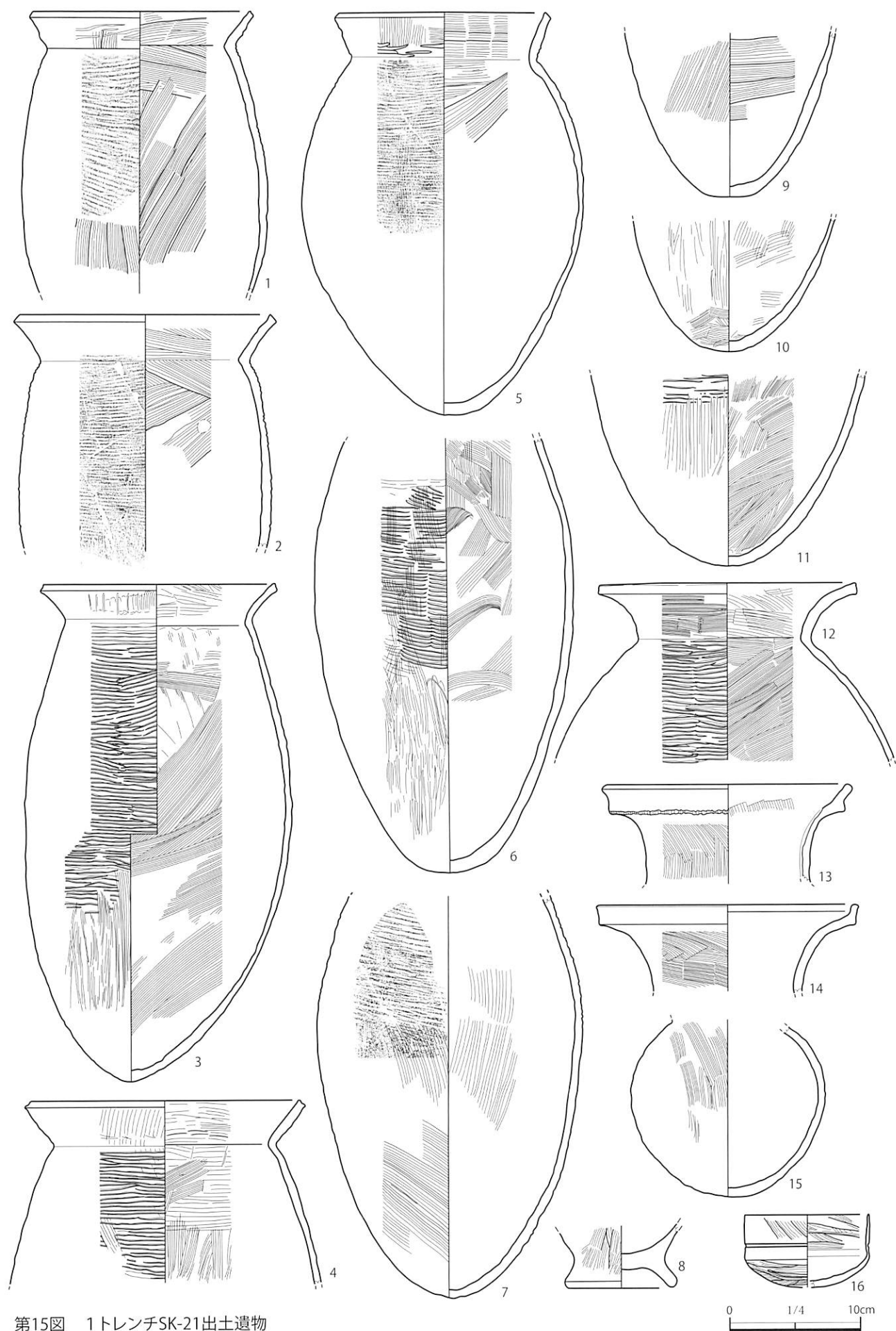
mあるため、本来は0.77 m以上の深さである。北西の一部が工事のためのボーリングによって破壊されていた。遺物は出土しなかった。

(15) 土坑 SK-39 (第4図)

調査区南端、溝SD-1と住居SH-18の間に位置し、SH-18に切られるようだが埋土が浅いため判然としない。規模は1.5×1.5×0.06 m。波状文を施す壺体部や甕口縁などが出土(16図18～20)。

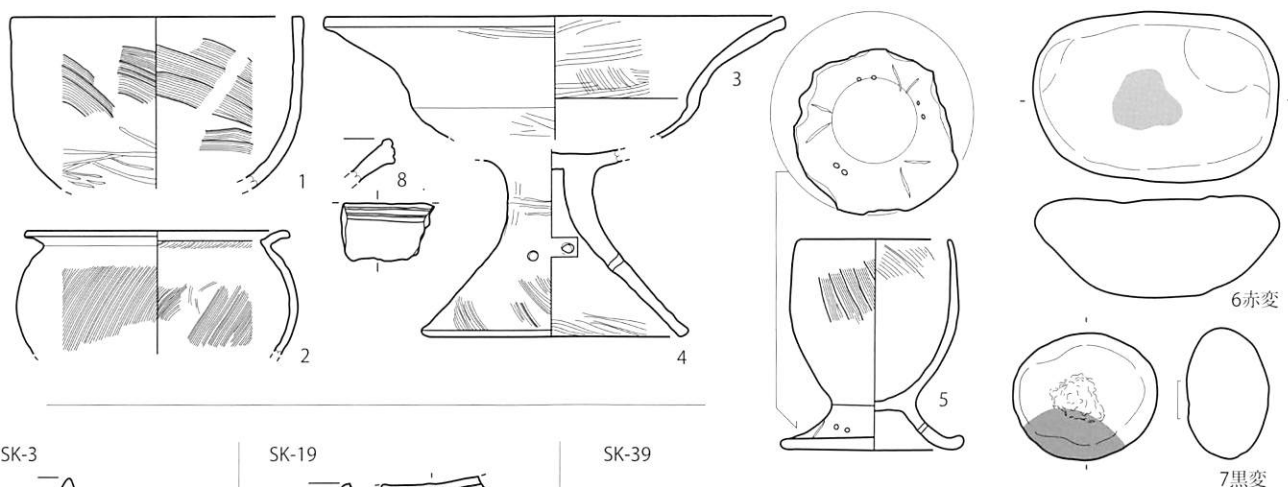
(16) 土坑 SK-61 (第14図④、図版9-5・10-6)

調査区北部の中央に位置する土坑。東を溝SD-1に切られる。平面楕円形で規模は1.05×1.4×深さ0.52 m。中央部がわずかに深くなる。埋土は壁から床面にかけて粘土を貼り付けたような状態であった。壺口縁や土師器の杯蓋などが出土(16図21・22)。

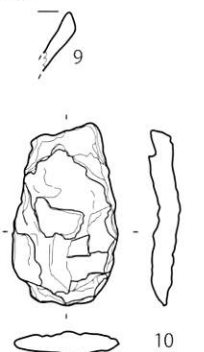


第15図 1トレンチSK-21出土遺物

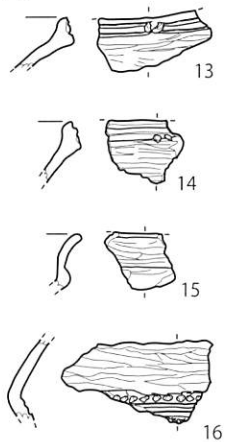
SK-21



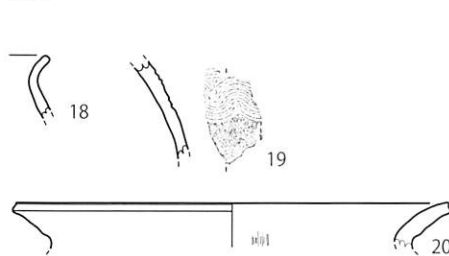
SK-3



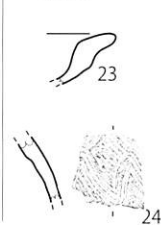
SK-19



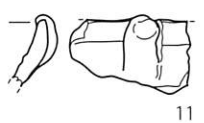
SK-39



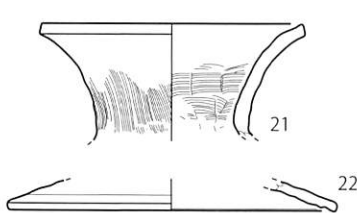
SK-65



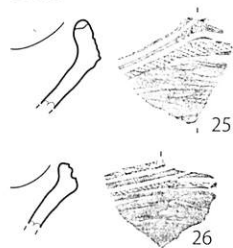
SK-4



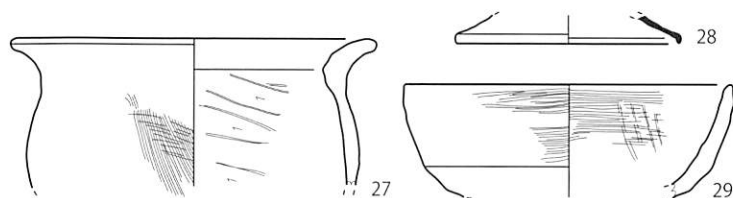
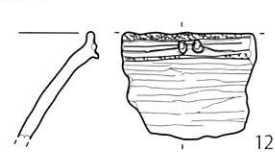
SK-61



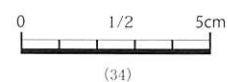
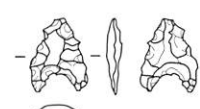
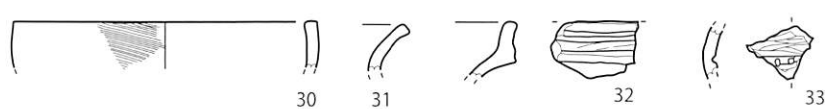
SK-62



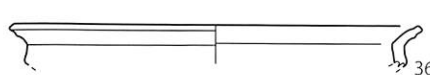
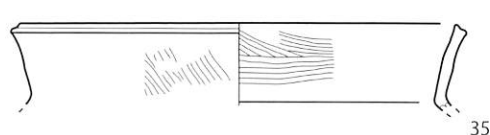
SK-12



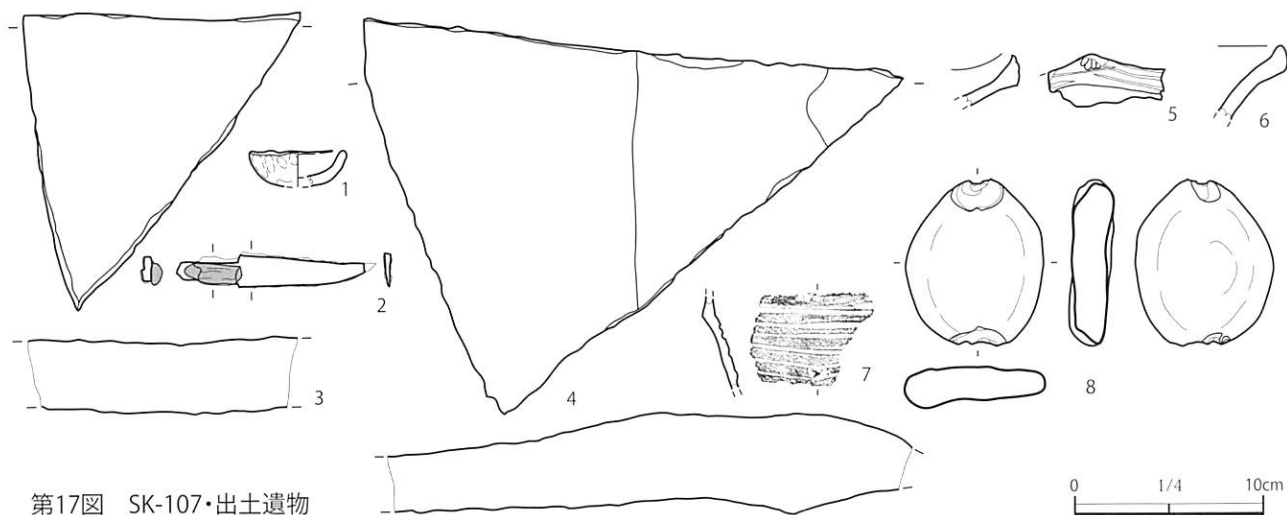
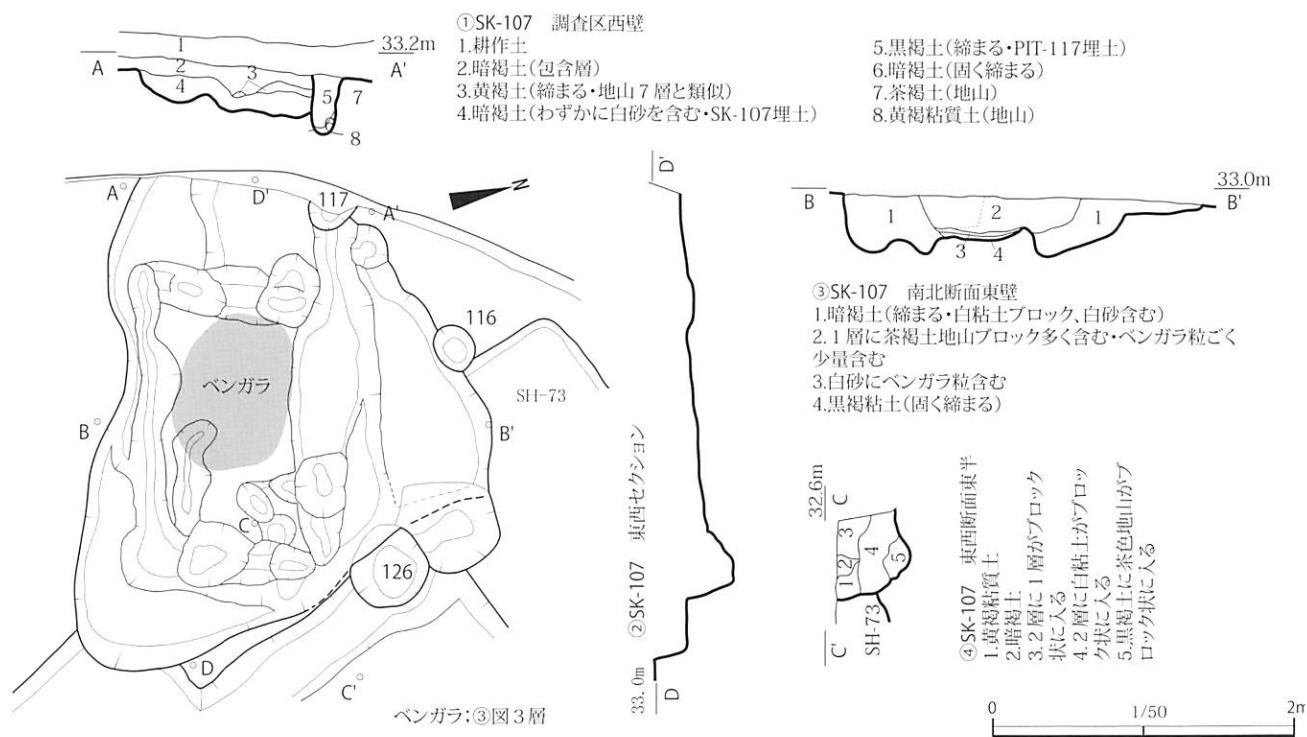
SK-82



SK-113



第16図 1トレンチSK-21ほか出土遺物



第17図 SK-107・出土遺物

(17) 土坑 SK-62 (第4図)

調査区西部、住居SH-18と土坑SK-19の間に位置する。平面は楕円形で0.7×0.55×深さ0.16mと浅い。縄文土器の波状口縁鉢(16図25・26)や土師器の蓋、甕、杯(16図27～29)などが出土。

(18) 土坑 SK-65 (第14図⑤、図版9-7)

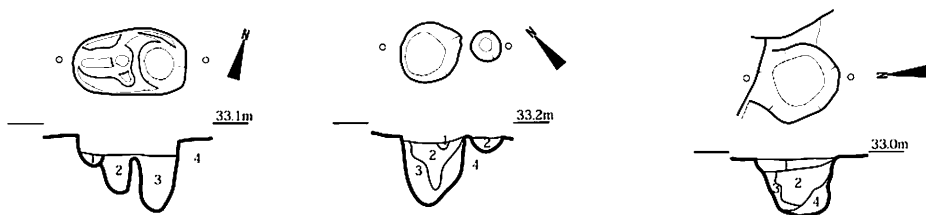
竪穴住居SH-73の北東に位置する土坑。ごく浅い掘り込みに焼土と白粘土が混じる埋土。高杯小片、波状文を施す壺体部が周辺から出土した(16図23・24)。

(19) 土坑 SK-82 (第4図)

調査区中央、溝SD-1の西に位置する土坑。平面は不整形で規模は0.95×1.4×0.18m。弥生鉢、甕口縁や縄文土器、サヌカイト製石鏃などが出土した(16図30～34)。

(20) 土坑 SK-93 (第14図⑥、図版9-8)

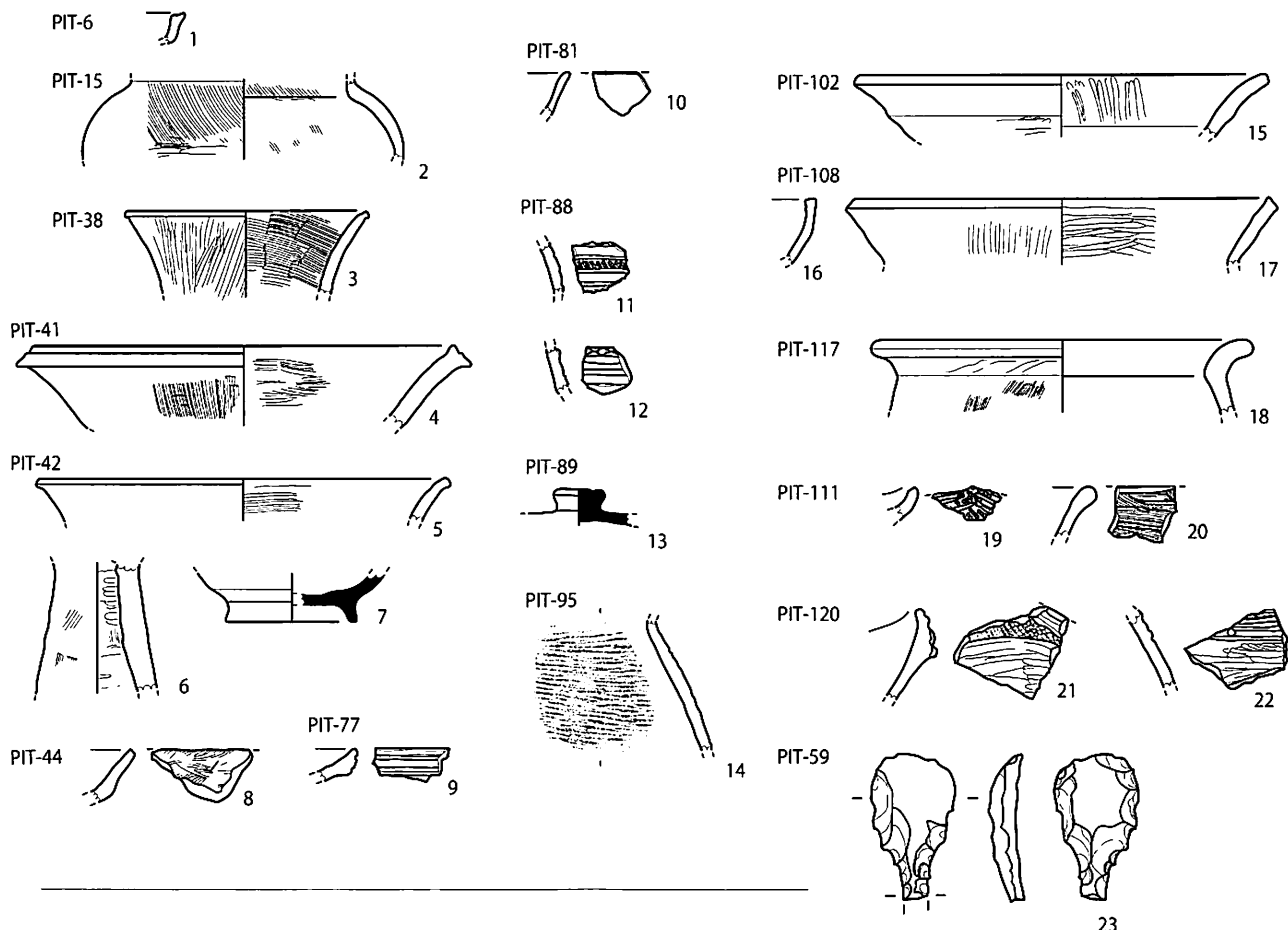
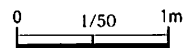
調査区中央のやや南西、竪穴住居SH-18の北西、竪穴住居SH-73の南に位置する土坑。平面は楕円形で規模は1.1×1.3×深さ0.45m。遺物は出土しなかった。



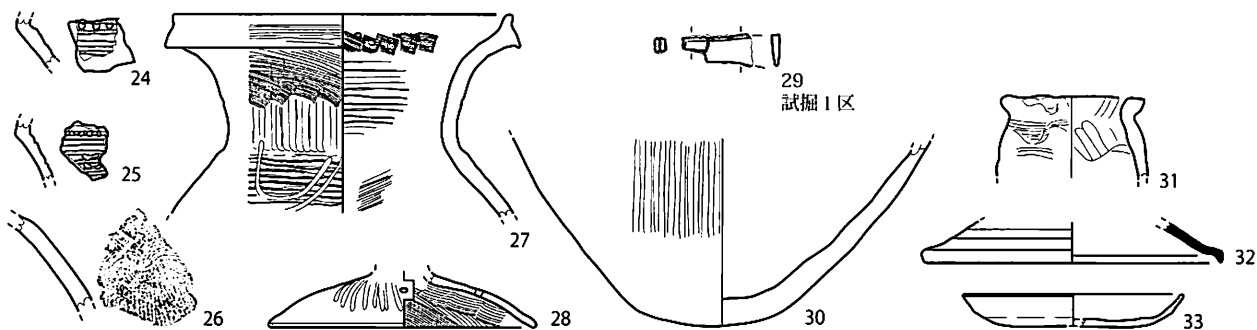
- ①PIT-5
1.黒褐土
2.暗茶土
3.暗褐土
4.黄褐粘質土(地山)

- ②PIT-66/67
1.灰黄褐土に炭化物ごくわずかに含む
2.黒褐土に焼土小粒わずかに含む
3.2層に地山小粒多く含む
4.黄褐粘質土(地山)

- ③PIT-88
1.黒褐土(SK-21埋土)
2.黒褐土(焼土と炭化物ごくわずかに含む)
3.暗褐土(地山ブロック含む)
4.暗褐土(地山ブロック含み締まらない)



1トレンチ検出中



第18図 1トレンチPIT・検出中出土遺物

(21) 土坑 SK-107 (第 17 図、図版 3・6・15-5)

調査区西端に位置する埋葬施設。西で竪穴住居 SH-73 を切り、東は調査区外へ続く。南北 2.7 m × 東西 3.3 m 以上の中央部に東西 2.2 m × 南北 1.7 m の掘り込みがあり、この部分にベンガラと白砂を含む締まった粘質土が 0.75 × 1.0 m の範囲で楕円形に敷かれていた (17 図断面③ 3 層、図版 6-7)。ベンガラの量はそれほど多くなく、やや赤色が濃い部分がある程度であった。この層の周囲は幅 0.3 ～ 0.5 m の溝状に掘り込まれていた。断面からは棺材の抜き取り痕や腐朽痕は確認できなかった。埋土中や周辺から 3 ～ 10 cm 程度の軟質凝灰岩の破片 (図版 15-5 右側) が出土したが少量 (8.39kg) なため、石棺であったとは考えにくい。

遺物のうち、刀子 (17 図 2、図版 16-4) は埋土 (第 17 図断面③ 2 層) から出土した。先端を欠損し、柄部にわずかな木質が残存する。鉄のごく小片 (一辺 1.5 cm) も出土したが、図示していない。三角形の板状凝灰岩破片 (17 図 3・4、図版 15-5) は 2 点とも同様の厚さで同質の石材だが、接合しない。図示した上面全体に白粘土状の顔料が塗布してあるようだ。軟質凝灰岩破片の中にはベンガラが付着するものもある (実測図なし、写真のみ掲載・図版 15-5)。埋土から縄文土器の破片や両端を打ち欠いた石錘 (17 図 5 ～ 8・図版 16-5) も出土した。

(22) 土坑 SK-113 (第 4 図)

調査区北東、土坑 SK-21 の北に位置する。平面図では SK-21 を掘り込むように表現しているが、断面観察用ベルトの間に位置していたため前後関係が不明である。東西に長く、規模は 1.8 × 0.6 × 0.05 m と浅い。壺口縁など少量の土器が出土した (16 図 35・36)。



写真 3 体験発掘

(23) 柱穴 PIT-5 (第 18 図①)

調査区南東部の中央、土坑 SK-16 の南西に位置する柱穴。平面は長楕円形で規模は 0.43 × 0.76 × 深さ 0.48 m。

(24) 柱穴 PIT-66/67 (第 18 図②)

調査区北西部の南側、溝 SD-1 と竪穴住居 SH-73 の間に位置する柱穴。平面はどちらも円形で、柱穴 PIT-66 は規模 0.45 × 0.4 × 深さ 0.44 m、柱穴 PIT-67 は直径 0.2 m × 深さ 0.08 m とごく浅い。

(25) 柱穴 PIT-87 (第 8 図③)

調査区北西、竪穴住居 SH-73 の上層から掘り込む柱穴。平面は楕円形で規模は 0.4 × 0.52 × 深さ 0.44 m。

(26) 柱穴 PIT-88 (第 18 図③)

調査区東部、土坑 SK-21 の下層で検出した柱穴。平面はほぼ円形で規模は 0.45 × 0.5 × 深さ 0.4 m、底部は平坦。縄文土器のごく小片が出土 (18 図 11・12)。

(27) 柱穴 PIT-102/103 (第 8 図④、図版 6-5)

SH-73 内部の南西、PIT-123 のすぐ南に位置する柱穴。柱穴 PIT-103 が新しい。規模は柱穴 PIT-102 が直径 0.35 × 深さ 0.25 m、柱穴 PIT-103 が 0.33 × 0.4 × 深さ 0.18 m。柱穴 PIT-102 から高杯 (18 図 15) が出土した。

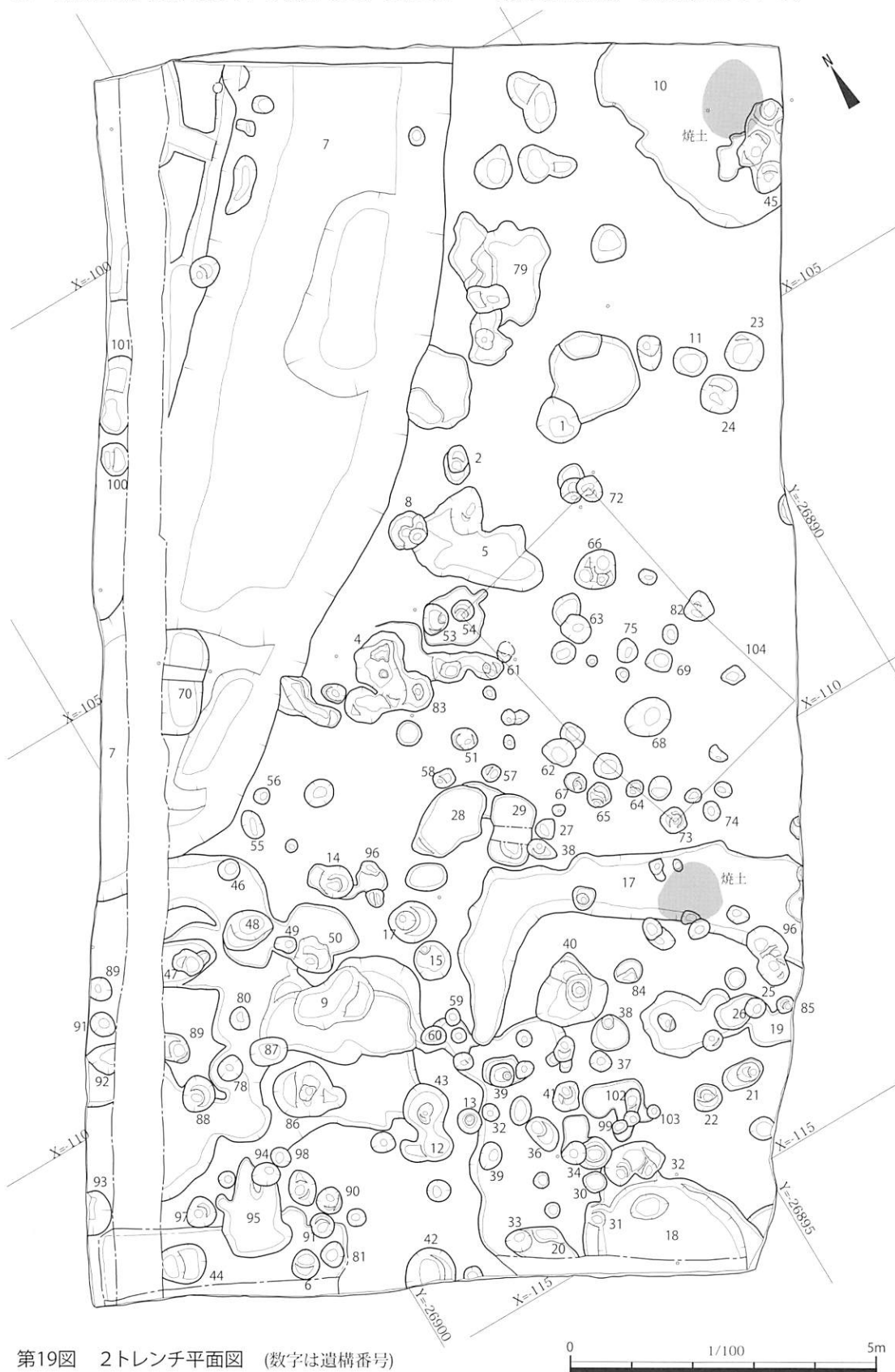


写真 4 埋め戻し後 (北から撮影)

② 2トレンチ (第19図、図版4)

調査区の西側、管理建物棟の建設予定地に設定した調査区である。調査区北東から南西にかけて斜めに大規模な溝 SD-7 があり、東隅に竪穴住居 SH-10・南隅に竪穴住居 SH-17 を検出した。住居はい

ずれも削平され浅い。南半では平面円形で直径 0.2 ～ 0.5 m 程度の柱穴や不整形の土坑が多く分布するが、掘立柱建物は 1 棟 (SB-104) を復元したのみ。調査区西壁近くを南北に通る配水管 (塩ビ製パイプ、現在は未使用) で破壊されている。





第20図 2トレンチ遺構番号



(1) 住居 SH-10 (第21図、図版10)

調査区東隅に位置する竪穴住居。大部分が調査区外へ続く。規模は南北3.15×東西2.3m以上、深さ0.08mとごく浅い。南半で不整形の土坑SK-45に上層から掘り込まれる。柱穴は検出しなかった。検出範囲のほぼ中央で埋土上層に焼土が乗る(図版10-3)。焼土の規模は0.8×1.1×厚さ0.12m、この上面で土製勾玉が出土した(21図1、図版16-1)。

(2) 住居 SH-17 (第22図、図版11)

調査区南東隅に位置する竪穴住居。東端は調査区外へ続く。北半の溝状に深い部分のみが残り、南半は削平されて検出できなかった。規模は南北5.95m以上、東西4.7m以上、深さ0.2m程度。内部で柱穴を多く検出したが、PIT-40などがこの住居に

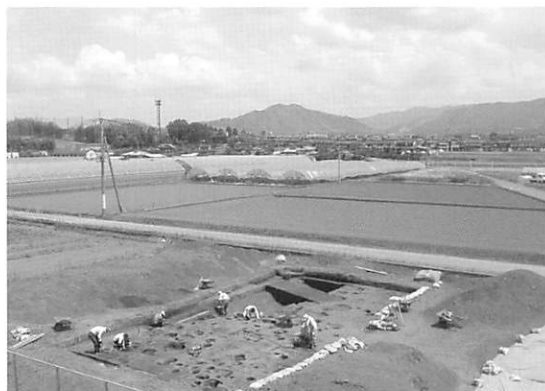
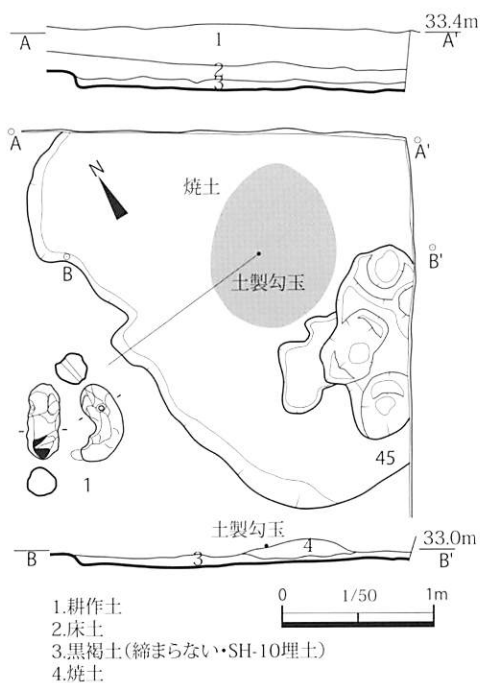
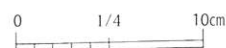
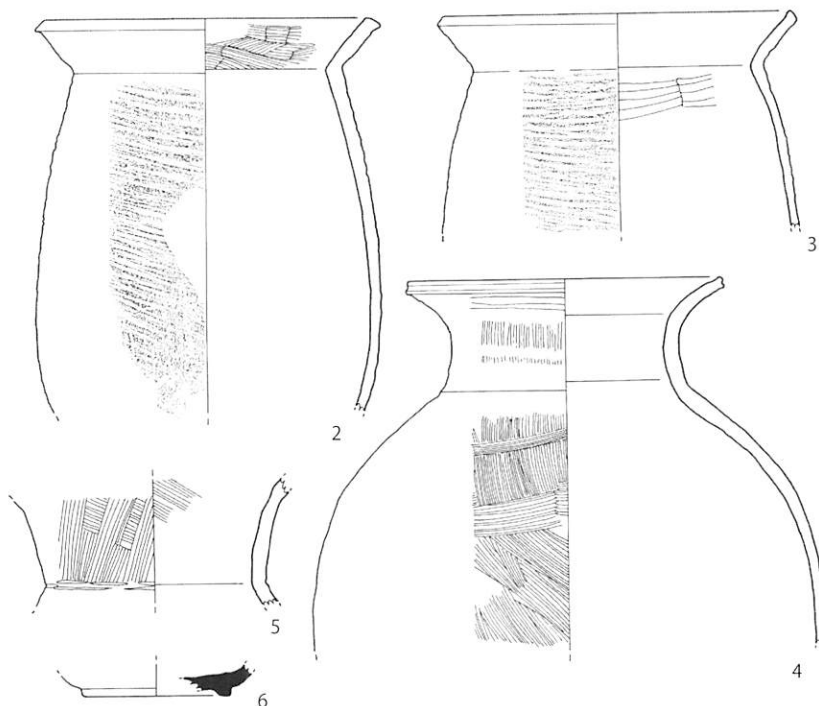
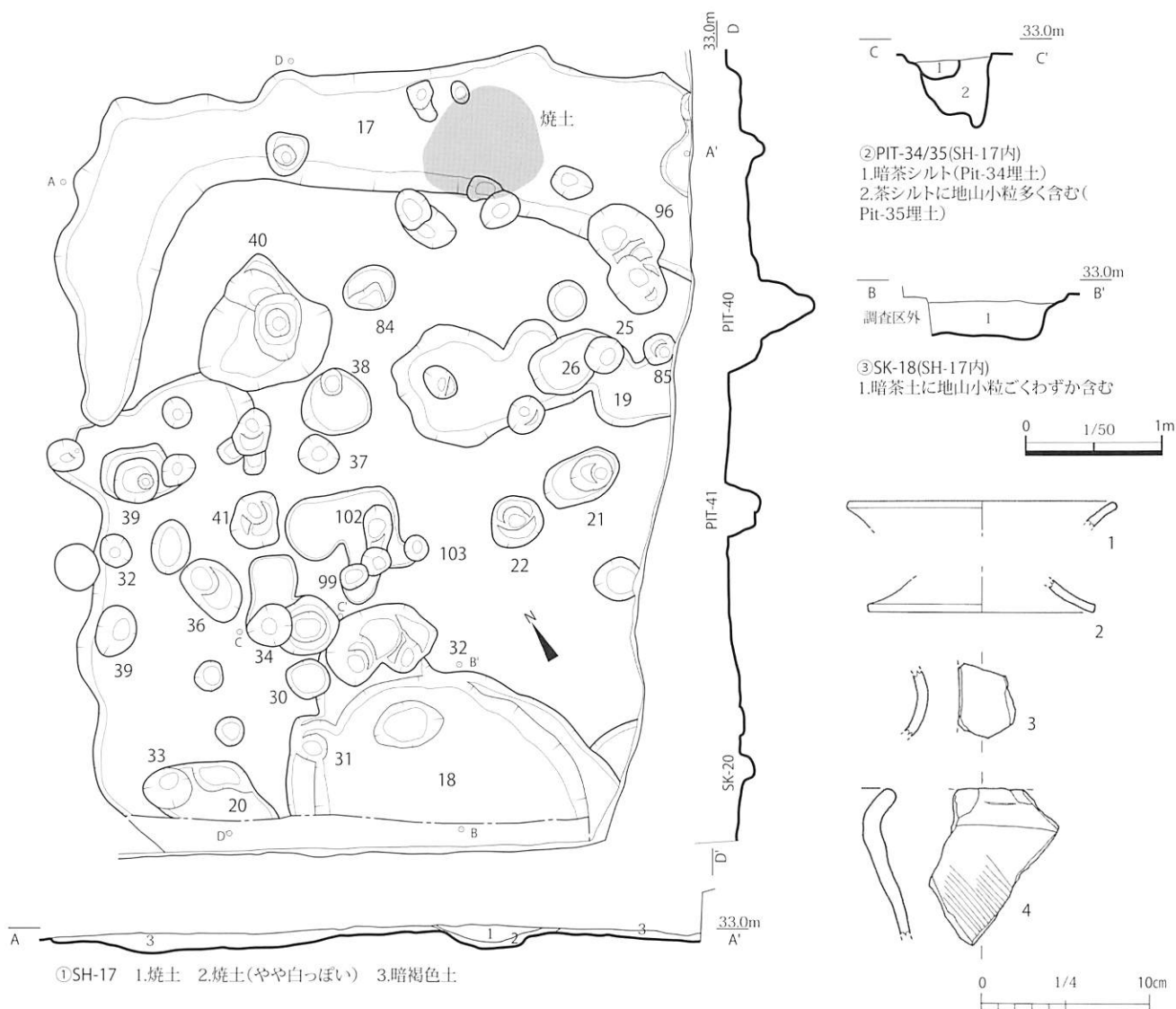


写真5 2トレンチ作業状況



第21図 2トレンチSH-10・出土遺物





第22図 2トレンチSH-17・出土遺物

伴うものか。北端溝部の中央付近で焼土（ $0.8 \times 0.9 \times$ 厚さ 0.14 m ）があり、その下位にやや白っぽい焼土がごく薄く（厚さ $0.04 \sim 0.08 \text{ m}$ ）堆積する（図版 11-3・4）。

遺物は北半の溝部分から少量出土した。高杯（22 図 1・2）、ジョッキ型土器の把手（22 図 3）、古代の土師器甕（22 図 4）などがあるが、いずれも小片である。

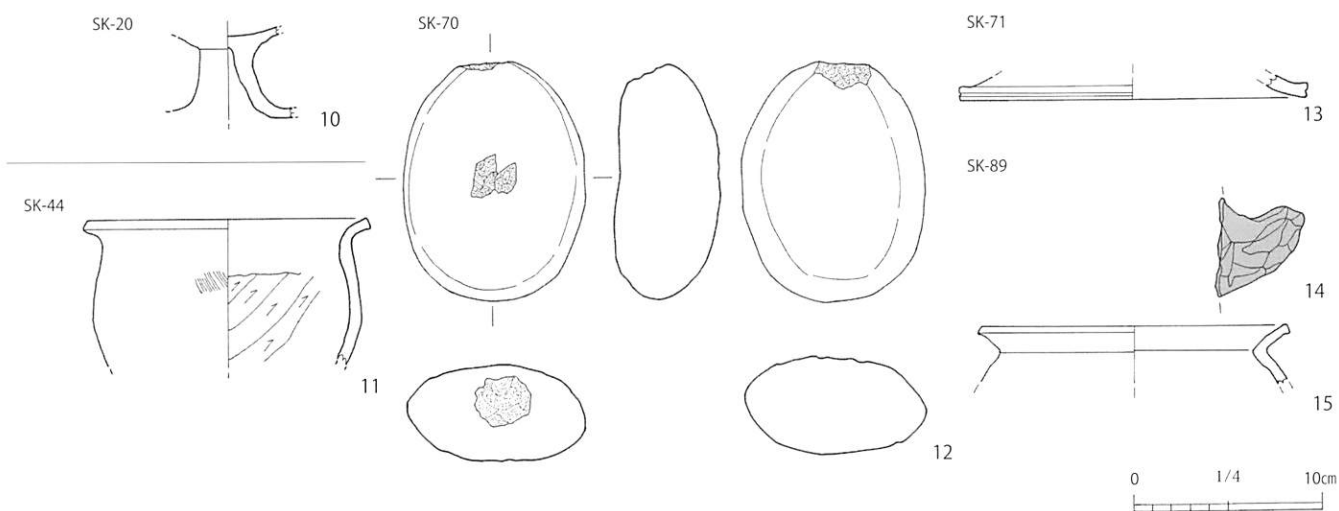
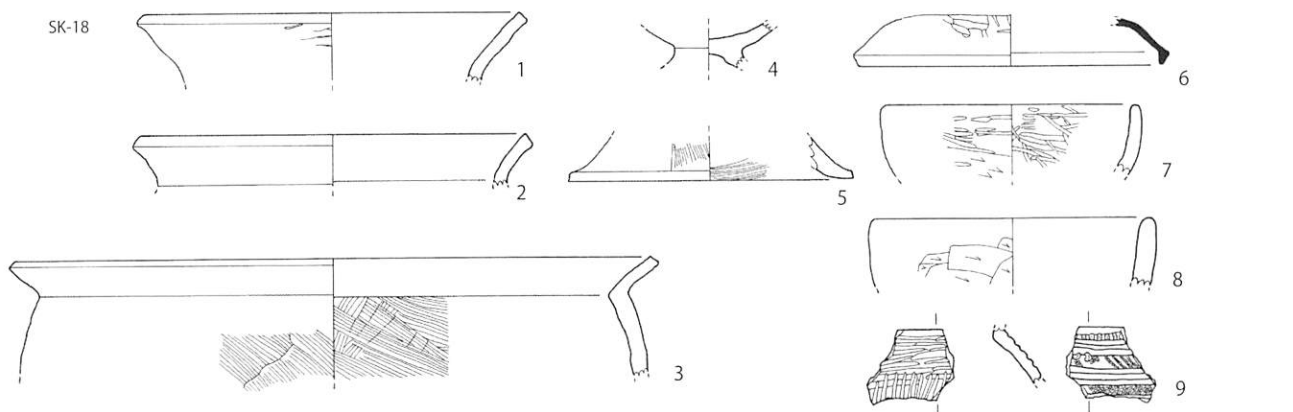
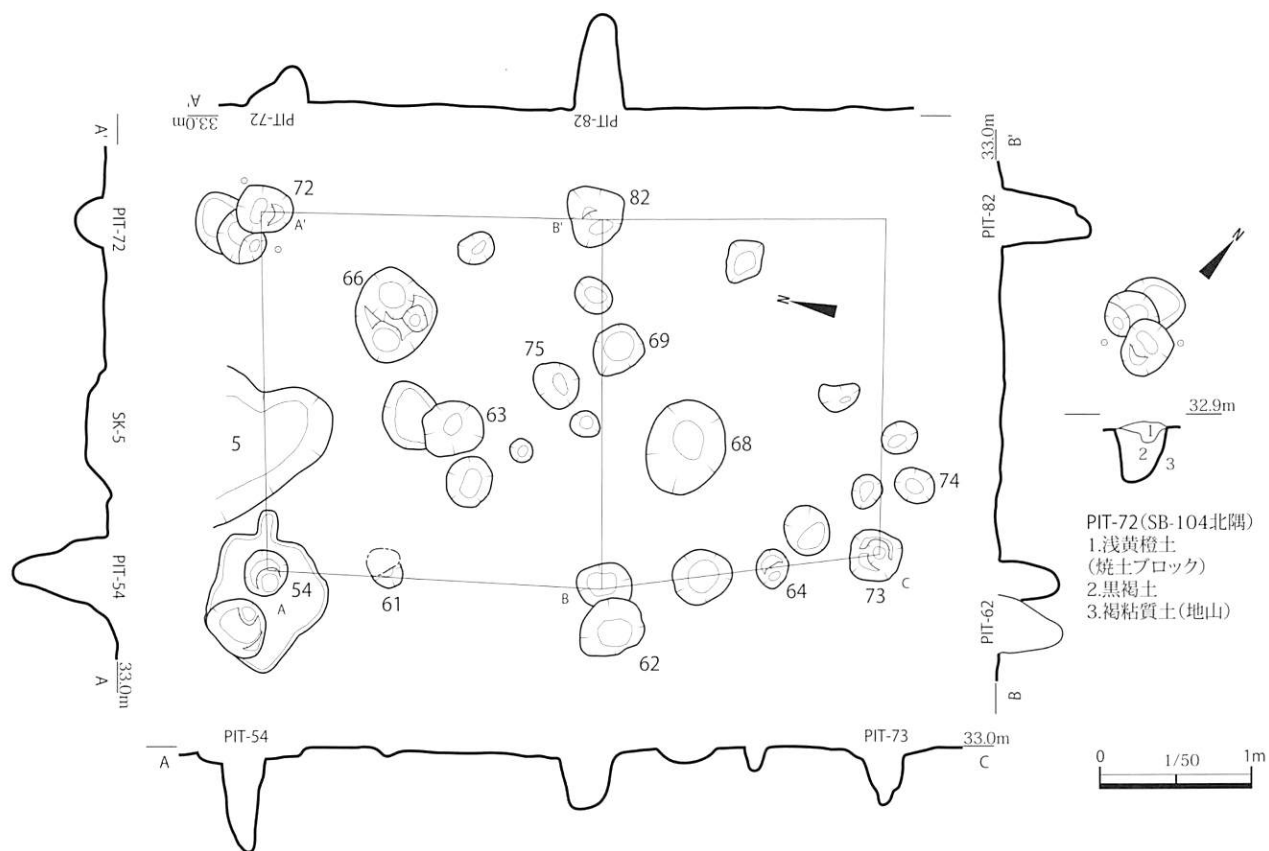
(3) 建物 SB-104（第 23 図）

調査区中央部の東半に位置する 1×2 間の掘立柱建物。南東隅の柱穴は検出できなかった。方向はほぼ方位に沿う。南北 $4.0 \times$ 東西 2.4 m 。時期を示す遺物はなく、PIT-73・PIT-82 からごく小片が出土したのみ。PIT-72（23 図、図版 13-8）は北東隅の柱穴。規模は $0.3 \times 0.4 \times$ 深さ 0.38 m 。焼土プロッ

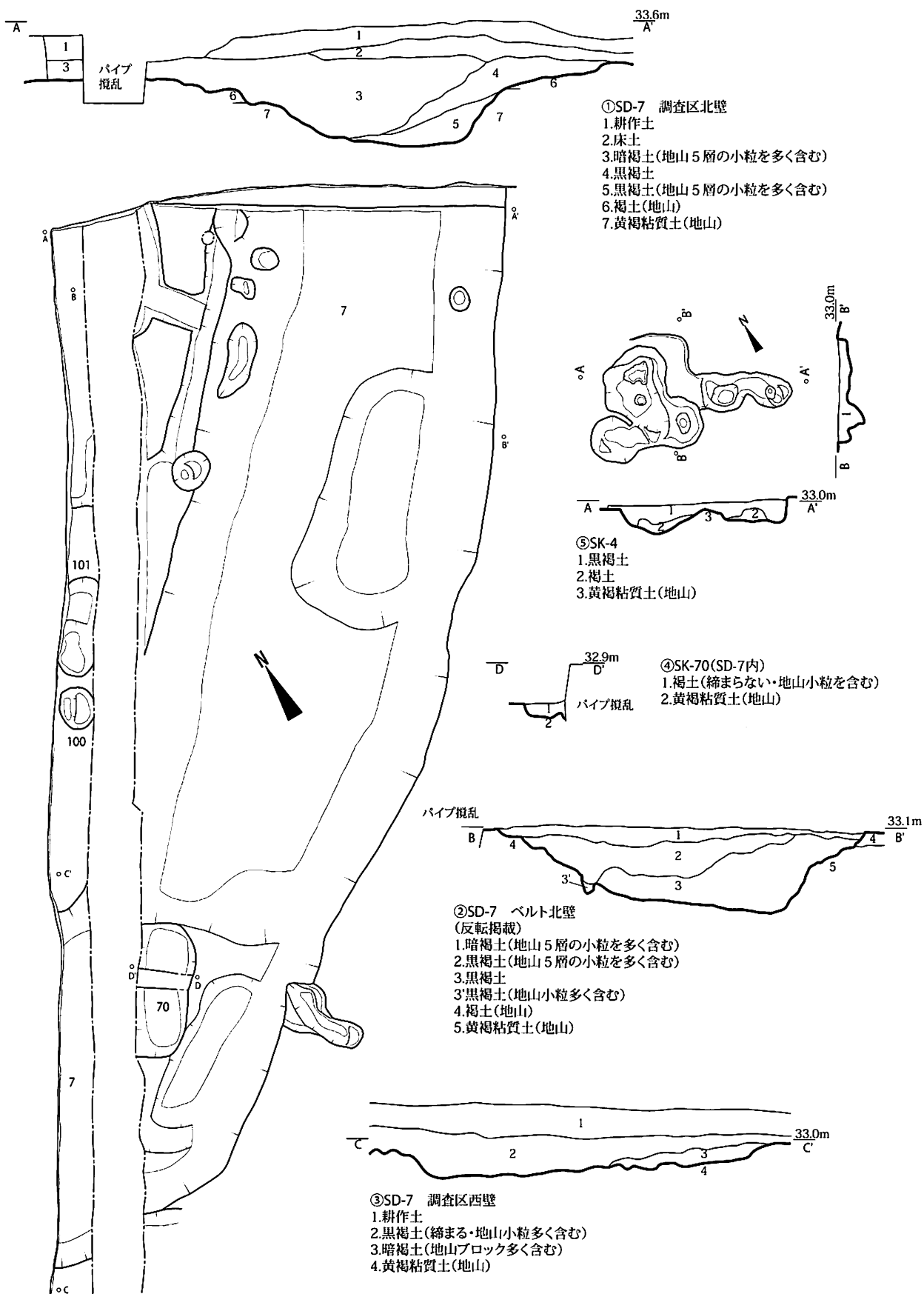
クを含む埋土（23 図・断面 1 層）があり、ここから縄文土器の小片が出土した（26 図 20）。柱穴規模から見て、中世以降の所属か。

(4) 溝 SD-7（第 24・25 図、図版 4・12・13）

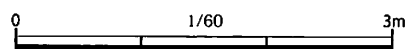
調査区北西部に位置する溝。長さ 12.5 m を検出した。調査区北端から南西に伸び、西壁付近でやや浅くなって方向を北西に変える。中央付近の幅 3.96 m 、深さ 0.96 m 。底面はほぼ平坦で、東から埋まっている。埋土は暗褐色から黒褐色を呈し、地山小粒の量などで分層した。各時期の出土遺物があり、埋没期間が長かったことを示す。甕は長胴で脚部をもつ（25 図 6～10）が、全体が復元できる個体はない。内面を削って薄くしたものもある（25 図 5、図版 19）。大型壺（25 図 14、図版 15-9）は底部を欠損するのみでほぼ完形、溝中央部の埋土中位か

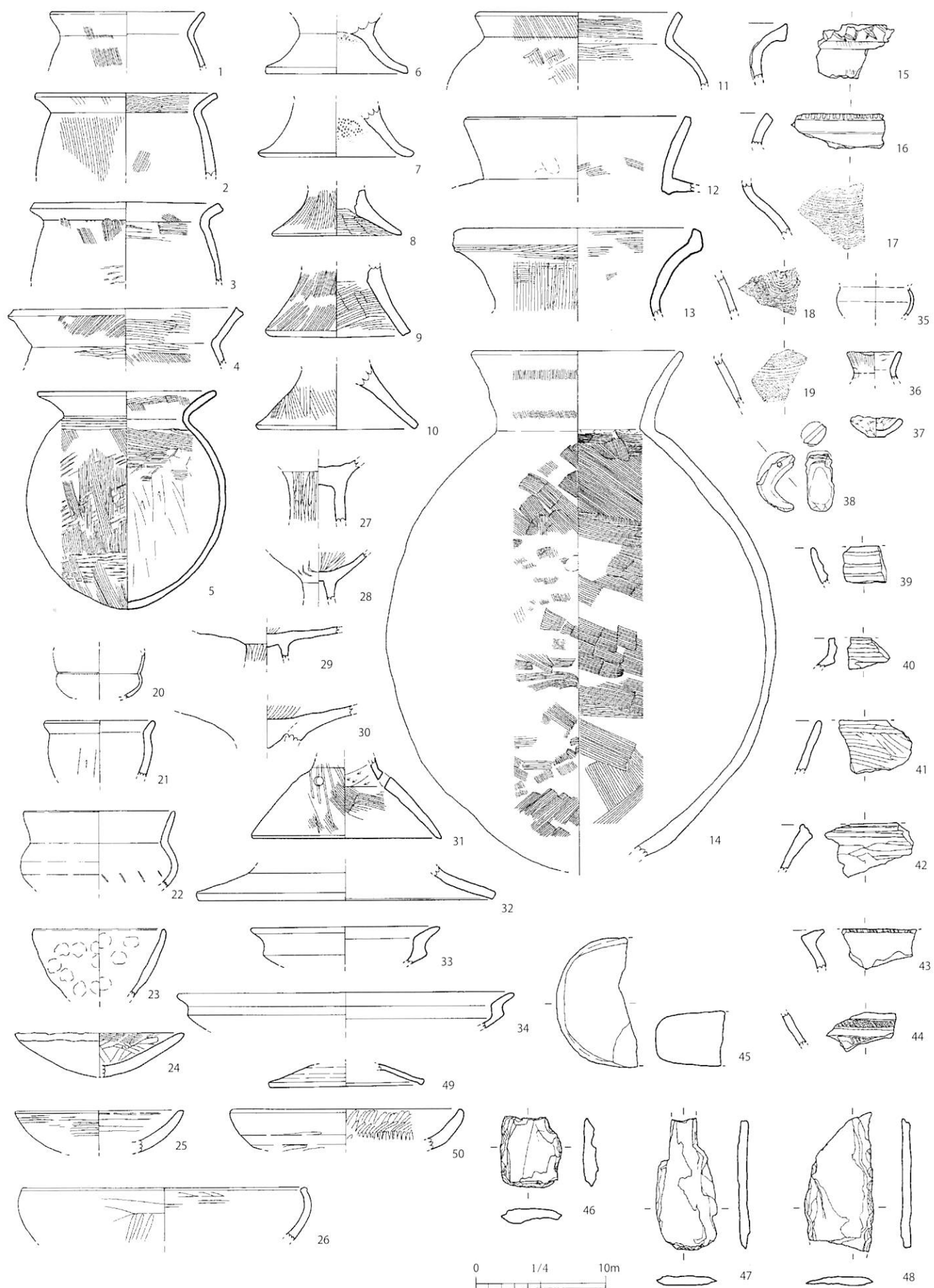


第23図 2トレンチSB-104・土拡出土遺物

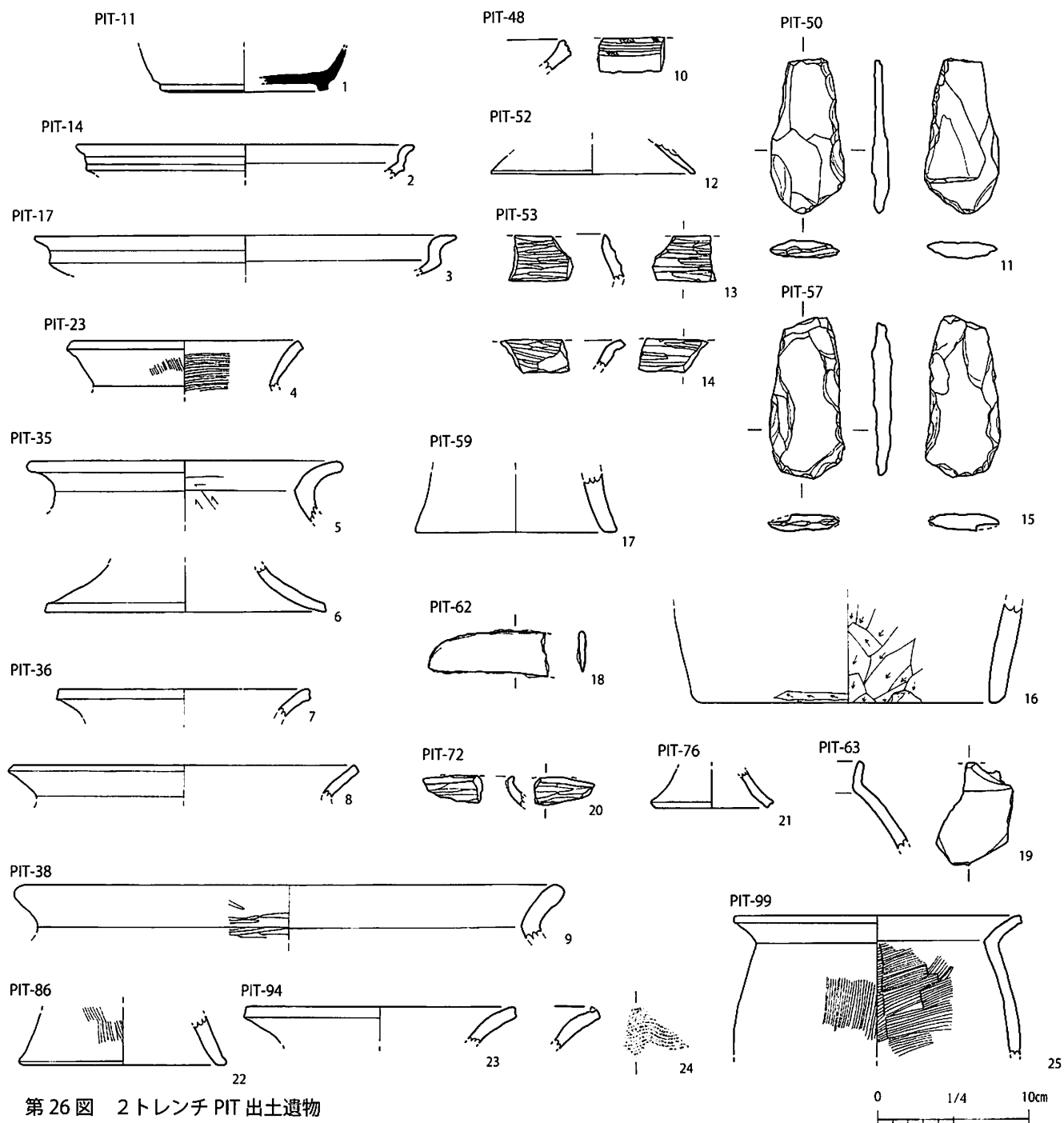


第24図 2トレンチSD-7





第25図 2トレンチ SD-7 出土遺物



第26図 2トレンチ PIT 出土遺物

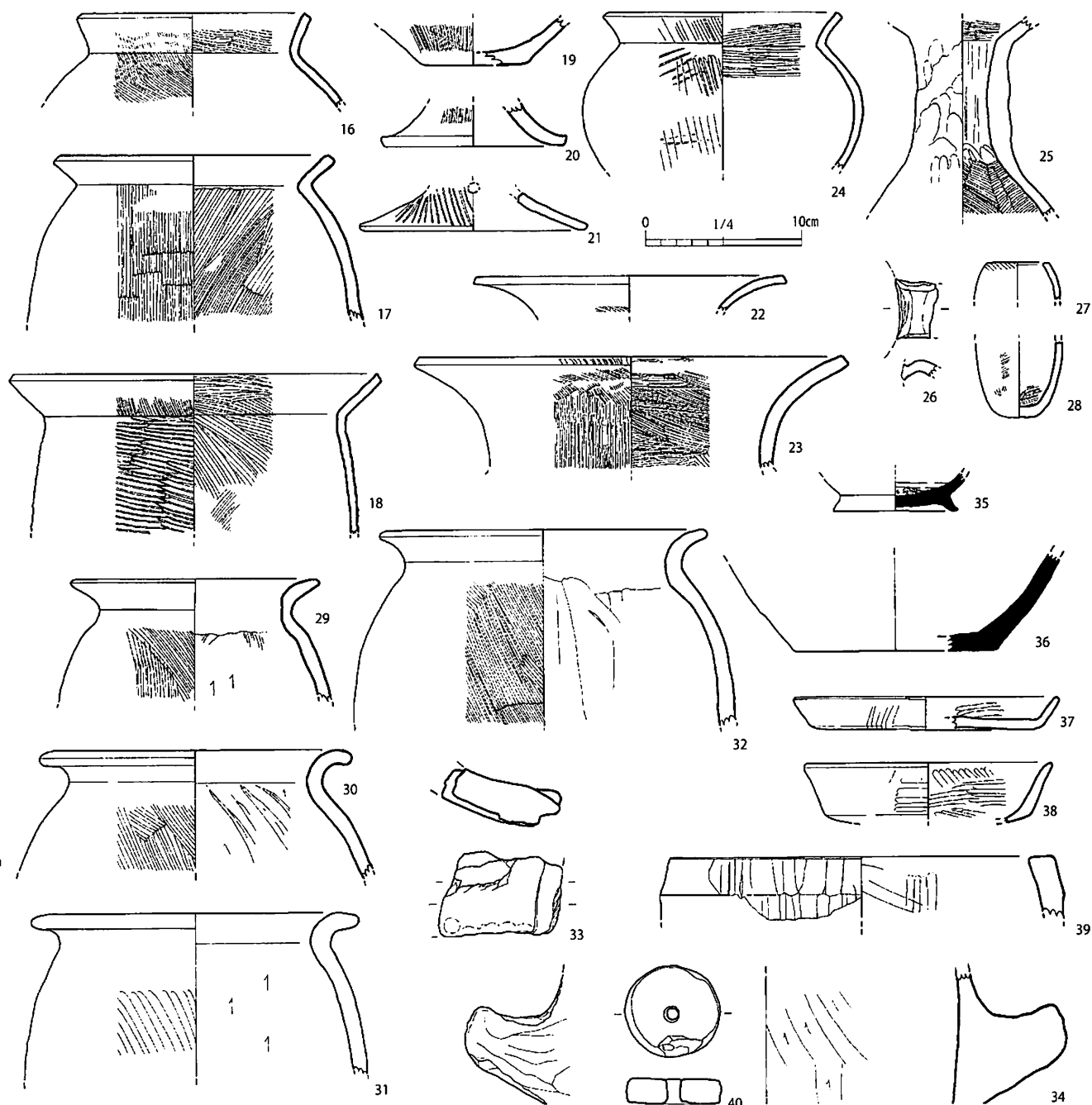
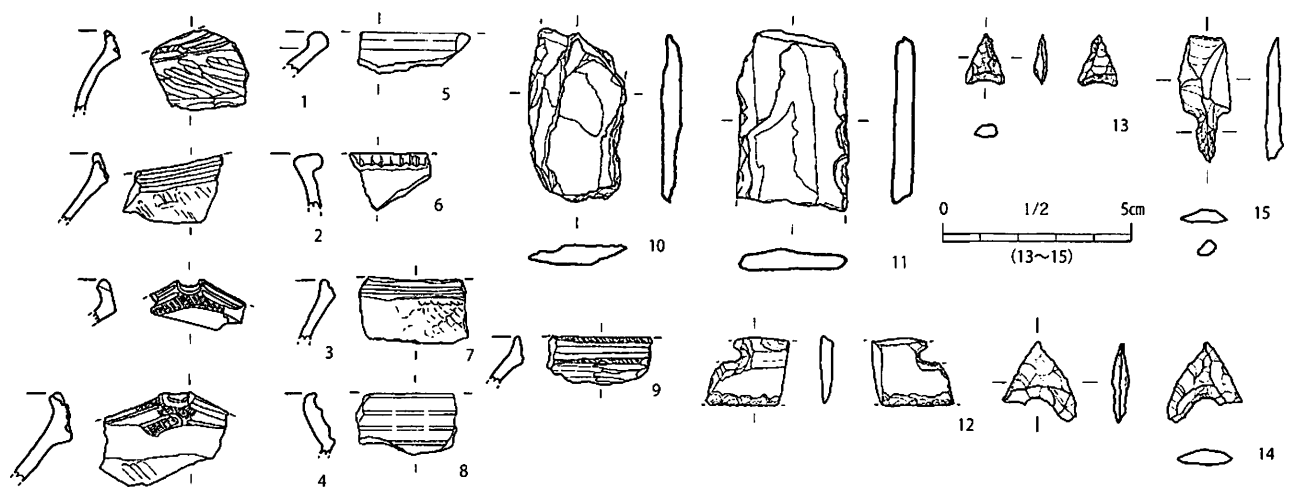
ら横に倒れた状態で出土した。鉢は小型で丸底のもの（25図20～22）と扁平なもの（25図24・25）、大型品（25図26）がある。高杯の杯部（25図34）は小片のため、復元径に難がある。土製勾玉（25図38・図版16-1）は一部が欠損するが、頭部に数本の線刻を施した丁字頭勾玉である。縄文時代の遺物には土器小片（25図39～44）、石器（磨石〔25図45〕石鍬〔25図46～48・図版16-5〕）がある。古代の遺物には須恵器の杯蓋、土師器の杯がある（25図49・50）。

(5) 土坑 SK-4（第24図⑤、図版13-3）

調査区中央の西側、溝SD-7の東に位置する土坑。平面は不整形で規模は1.3×1.3×深さ0.32m、複数の柱穴が同時に埋没したものか。遺物は土器小片のみ。

(6) 土坑 SK-18（第22図③、図版13-4）

調査区南隅に位置する土坑。南西部は調査区外へ続く。竪穴住居SH-17に伴う遺構か。規模は長さ1.22m以上、幅2.2m、深さ0.3m。底部は平坦。出土遺物（23図1～9）は弥生～古墳時代の土器



第27図 2トレンチ検出中出土遺物

を中心に、縄文・古代を含む。

(7) 土坑 SK-70 (第24図④、図版13-5・6)

調査区中央西側、溝SD-7の下層で検出した土坑。北西を排水パイプに掘り込まれる。平面は長楕円形で規模は1.45×0.6×深さ0.2m、底部は平坦。遺物はタタキ石(23図12)のみが出土。

(8) 柱穴 PIT-34/35 (第22図②、図版13-7)

調査区南半、竪穴住居SH-17内部に位置する柱穴。竪穴住居に伴う柱穴か。PIT-34がPIT-35を掘り込む。規模はPIT-35が0.32×0.59×深さ0.62m、PIT-34が0.29×0.4×深さ0.17m。PIT-35から高杯脚部(26図6)、古代の甕(26図5)が出土。

(9) 柱穴 PIT-62 (第19図)

建物SB-104西中央の柱穴を掘り込む。埋土から鉄鎌が出土(26図18、図版16-4)。

(10) その他の出土遺物

検出中に出土した遺物はトレンチごとに分けて掲載した(1トレンチ;第18図、2トレンチ;第27図)。鉄器(刀子破片、第18図29、図版16-4)は試掘調査1区で検出中に出土した。2トレンチの縄文土器(第27図1～12)は口縁部を掲載した。打製石器にはサヌカイト(第27図12・14)と黒曜石(第27図13・15)とがある。カップ形のミニチュア土器(第25図27・28)は同径に復元できたが接合せず、胎土も微妙に異なる別個体である。古代の移動式カマド(第27図33)は小片、下端焚き口付近の破片か。

第4節 まとめ

今回の調査によって、調査区全体から各時代の遺構・遺物が出土した。上層がかなり削平されていたため、残存状態が悪い遺構が多い。中心となる時期は弥生時代後期後半から古墳時代初頭にかけてで、住居(1トレンチSH-18・73、2トレンチSH-10、18)や溝(2トレンチSD-7)などがある。住居は時期や方位が微妙に異なっている。2トレンチの溝SD-7は埋土に水性堆積物が見られないことから、水路以外の用途のために掘削されたのだろう。1トレンチの土坑SK-21からもこの時代の遺物が

出土したが、二次的な埋没の可能性もある状況だった。このため、下層で検出した掘立柱建物SB-128の時期は明らかにし難い。

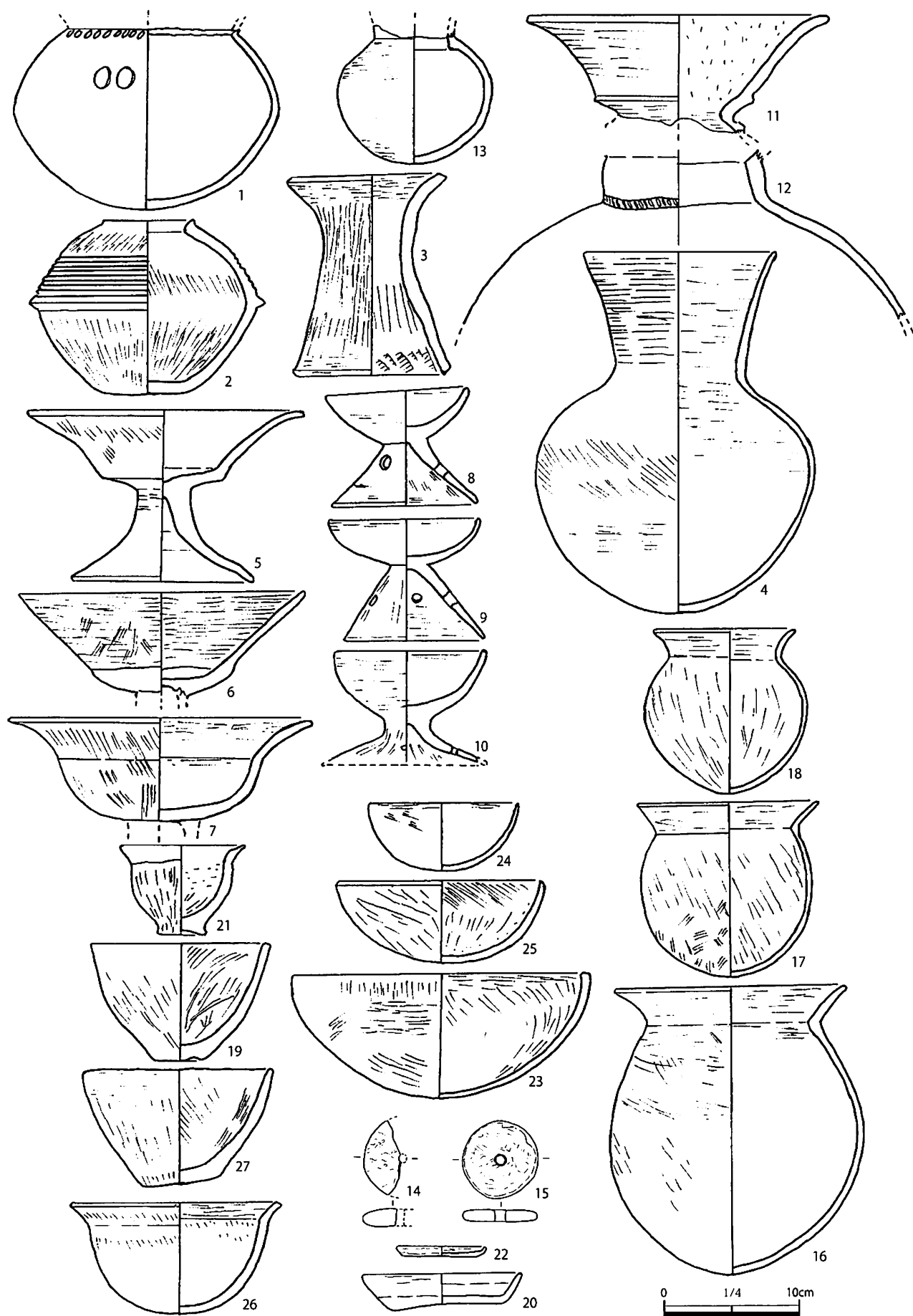
縄文時代の遺物も少量ながら調査地全体から出土した。後期から晩期にかけての磨消縄文を施した土器(鉢・深鉢)や石器(石斧・石錘・石鏃・石錐)、石核などがある。土器片は小片がほとんどで接合するものもないことから、遺構の原位置は周辺にあって開墾等で移動したものと考えられる。石斧や石錘(図版16-4)もあり、野山や河川で幸を求めた当時の生活について想起させられる。

古代から中世にかけての遺物も出土し、厚手で破損にくい土師器が目立ったほか、少量の須恵器や黒色土器、滑石製品があった。この時代の遺構には1トレンチ溝SD-1のほか、二棟の掘立柱建物があり、柱穴規模などから1トレンチSB-128は古代、2トレンチSB-104は中世の可能性がある。

今回の調査範囲は限定的であったが、このように多様な時代の遺構を検出し、各種の遺物が出土した。これらの遺構は調査地周辺にもさらに連続して分布していたことは明らかである。昭和43年の圃場整備事業に際しての採集資料などからは、かなり広範囲に及ぶ大規模な遺構群が埋蔵されていたようである(第1章注1)。当地区において断続的ながら長期間の人類活動が継続されてきたのは、周辺の集落遺跡にも共通する要因だが、河川に近接した高乾な台地上という環境にあったためと考えられる。

方保田遺跡の南東台地上に位置する方保田東原遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて発展した熊本県内最大級の拠点集落遺跡である。方保田東原遺跡ではこれまで60回以上の発掘調査によって、鉄製品や赤色顔料を生産し、流通の中核的役割を果たしたと評価されている(第1章注2)。

方保田遺跡と方保田東原遺跡は、菊池川の支流である方保田川が開析した段丘崖をはさみ、直線距離で100m程度の至近距離にある。方保田遺跡や隣接する白石古閑の上遺跡、白石遺跡は、存続時期や規模などから方保田東原遺跡の周辺に位置して生産された物資の供給を受けた「子村」と位置づけることができる。しかしこれらの遺跡においては調査事例の蓄積がある方保田東原遺跡とは異なり、詳細な内容を確認できる発掘調査の機会に乏しいのが現状である。今後に期すこととしたい。



第28図 方保田遺跡出土遺物(昭和43年)

隈 昭志「山鹿市方保田の石棺群と遺物包含層の調査」『菊池川流域の古代文化』熊日出版、2012年、340-341頁掲載を引用改変

写 真 图 版



1 南から



2 北西から

図版2 1トレンチ完掘状況



1 1トレンチ全景 南西から



2 SH-73 南から



1 SD-1 南東から



2 SK-107 南西から

図版4 2トレンチ完掘状況



1 全景 南から



2 SD-7 北東から



1 SH-18 東から



2 SH-18 北西から



3 SH-73 北西から

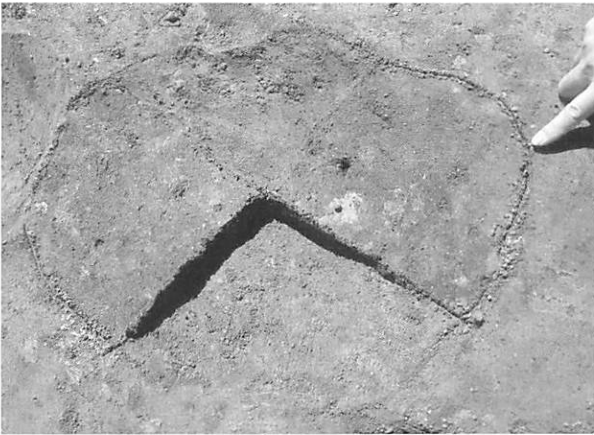
図版6 1トレンチSH-73・SK-107



1 SH-73ベッド状遺構 南西から



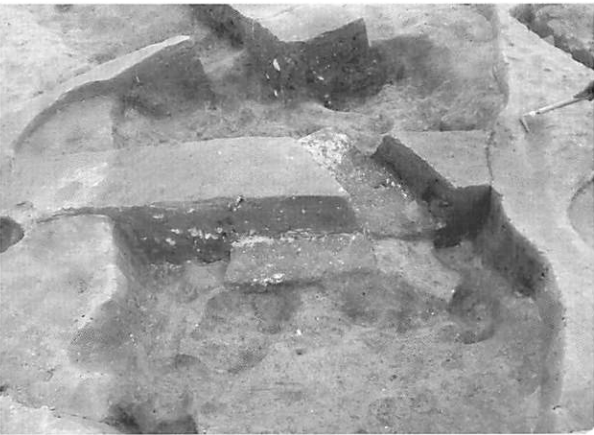
2 PIT-123 (SH-73内) 南東から



3 土坑SK-124 (SH-73内) 北西から



4 PIT-102/103切り合い (SH-73内) 南西から



5 SK-107 北西から



6 SK-107 南東から



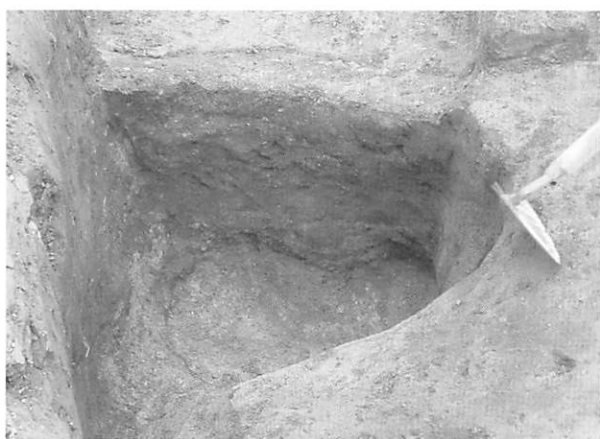
7 SK-107白砂層(ベンガラ混) 南東から



8 調査区西壁断面 北東から



1 柱穴配置状況 南東から



2 PIT-37断面 北から



3 PIT-37 北から



4 PIT-110 東から



5 PIT-112 南西から



1 北西から



2 北壁断面 南から



3 南壁断面 北から

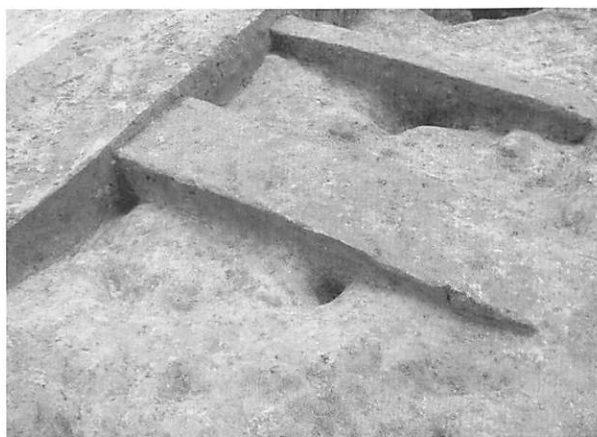


4 中央/南区間断面南壁 南から



5 SD-70断面 南西から

図版9 1トレンチ土抔



1 SK-16 南東から



2 SK-21土器出土状況 南から



3 SK-23 南東から



4 SK-23・SD-1断面 北西から



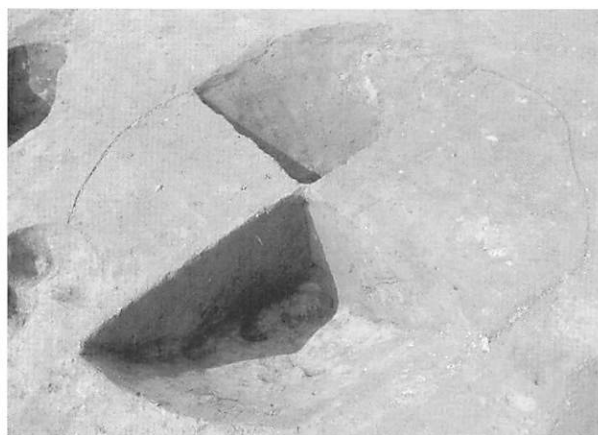
5 SK-61 南東から



6 SK-61完掘 南東



7 SK-65(焼土)南東から



8 SK-93 南から



1 西から



2 南西から



3 焼土断面 北西から



4 焼土上面の土製勾玉出土状況 南西から



1 北から



2 東から



3 焼土 西から



4 焼土 南東から



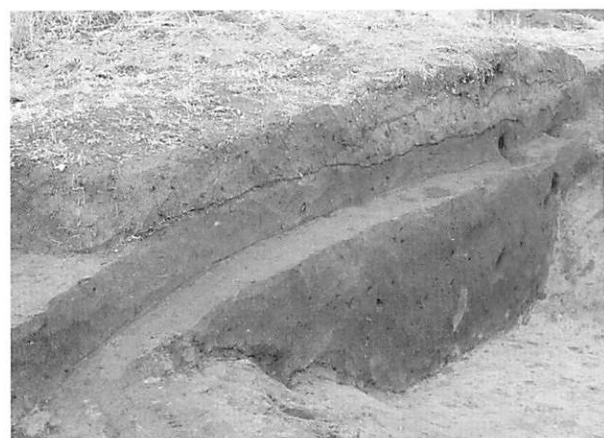
1 南から



2 南西から



3 断面北壁 北東から



4 調査区北壁 西から



5 調査区西壁 南東から



1 SD-7掘削状況 北東から



2 SD-7遺物出土状況 南西から



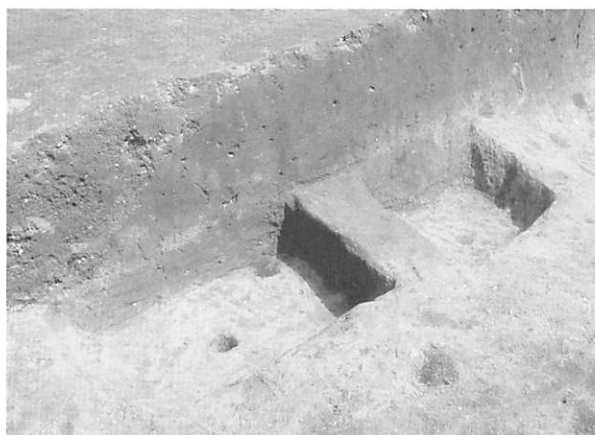
3 SK-4 西から



4 SK-18 東から



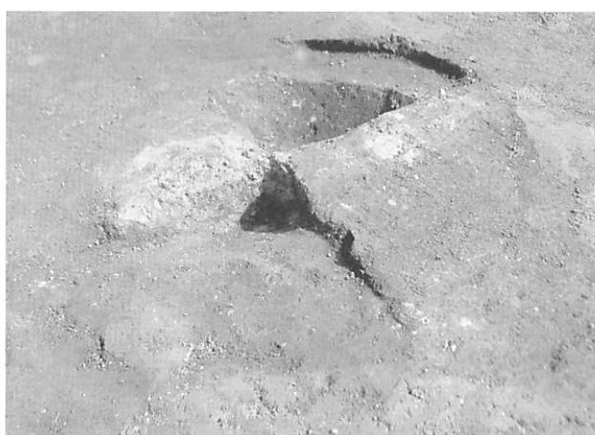
5 SK-70 南から



6 SK-70 南東から



7 PIT-34/35 南西から



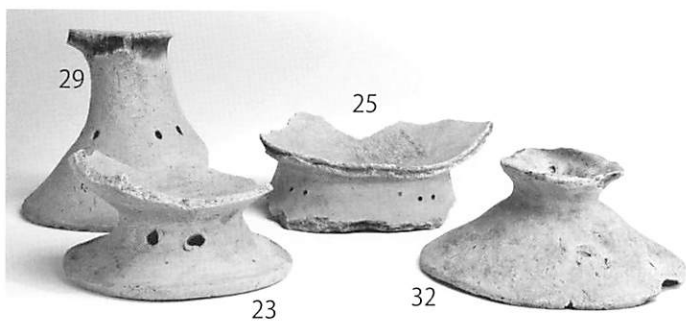
8 PIT-72 北東から

図版14 1 トレンチ出土遺物

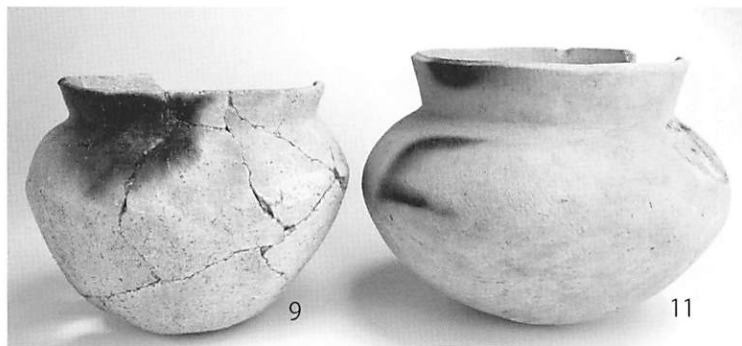


1 SH-18(第6図7)

2 SH-18(第6図)



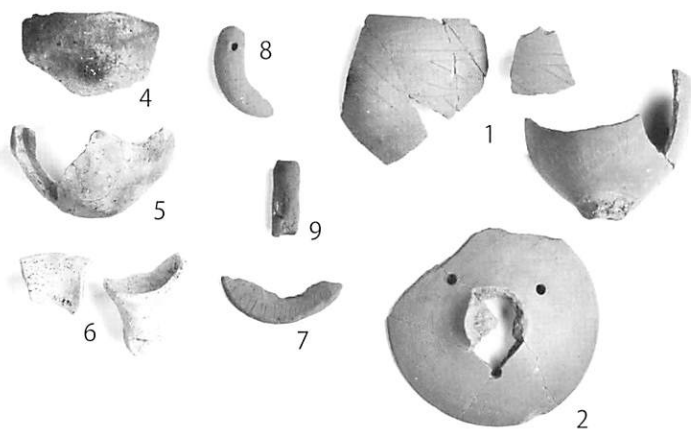
3 SH-18(第6図)



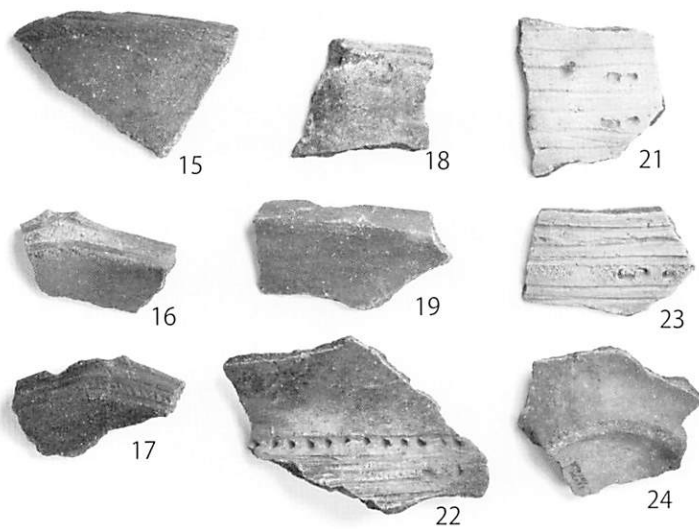
4 SH-73(第8図)



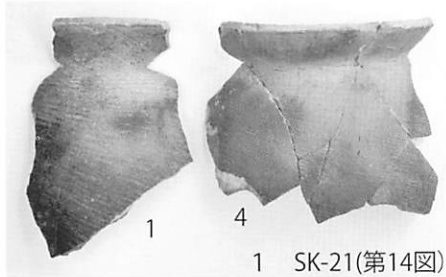
5 SH-73(第8図3)



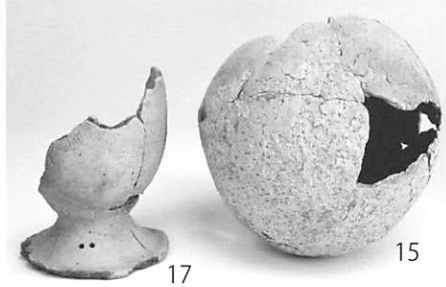
6 SH-73(第9図)



7 SH-73(第9図)



1 SK-21(第14図)



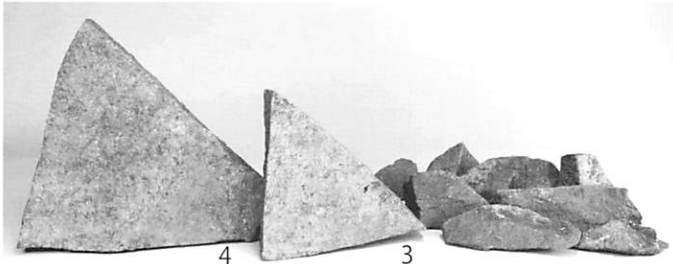
2 SK-21(第14図)



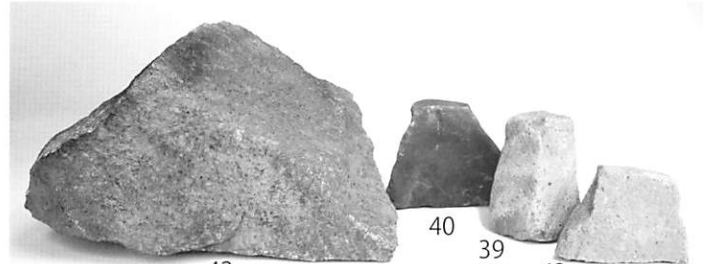
3 SK-21(第14図6)



4 SK-21(第14図7)



5 SK-107(第16図)

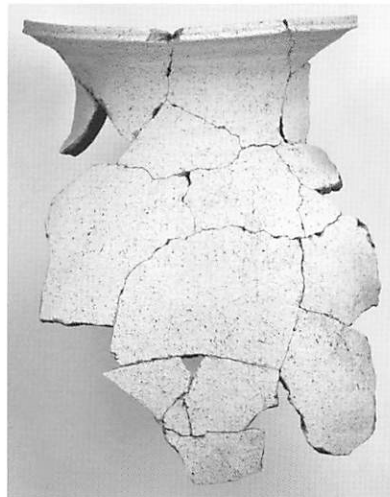


6 SD-1(第12図)

2トレンチ出土遺物(7~9)



7 SD-7(第23図5)

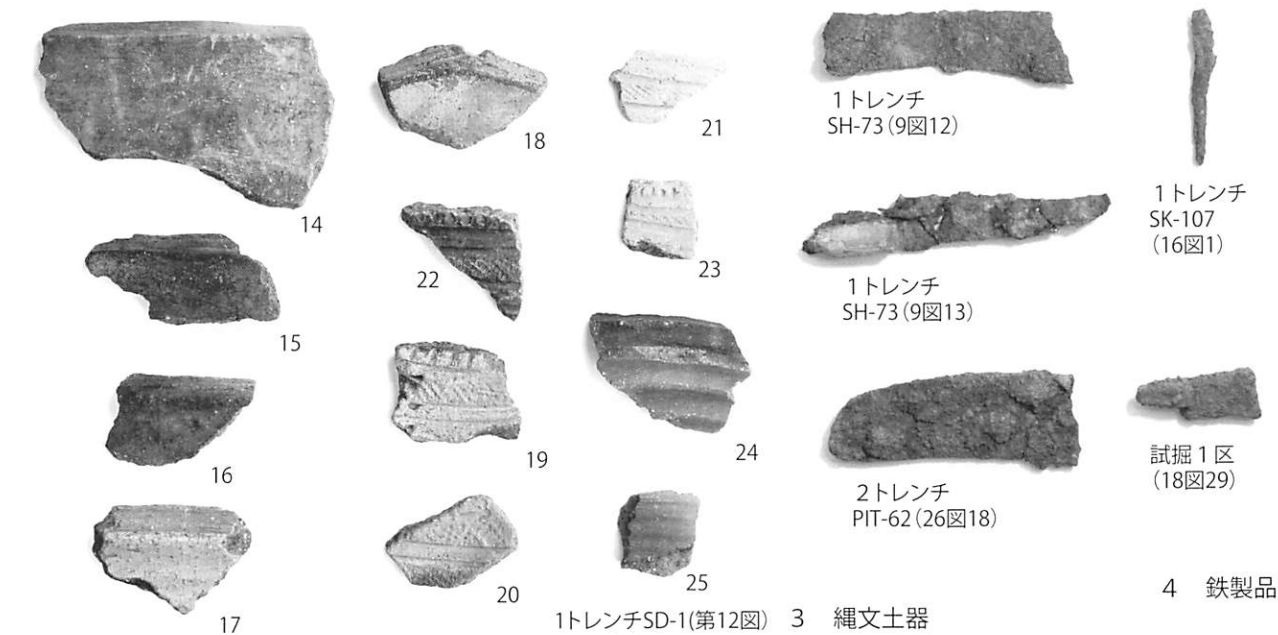
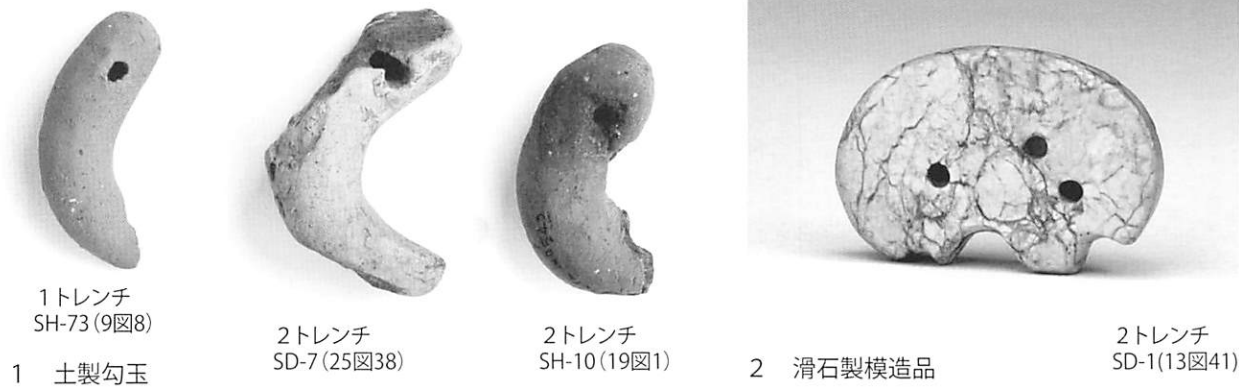


8 SH-10(第19図4)



9 SD-7(第23図14)

図版16 1・2トレンチ出土遺物



5 石斧・石錘

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|--------|--------------------|-------------------------------|------|---------|-----------------|----|---------------------------------|----|----|-------------------------|------------------|----|---|-------------|------|
| 1 トレンチ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 図 1 | SH-18 東半黒褐色土 | 270. 266 | 甕 | 口縁・胴部 | (13.8) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | I3-4 |
| 6 図 2 | SH-18 東半 黒褐色土 | 270 | 甕 | 口縁・胴部 | (14.2) | 不明 | (外) 灰黄褐色 (口縁部) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | I5-1 |
| 6 図 3 | SH-18 東半 | 266 | 甕 | 口縁・胴部 | (15.0) | 不明 | (外) 灰褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ | ナデ・ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面胴部) | T3-3 |
| 6 図 4 | SH-18 東半暗褐色土 | 266 | 甕 | 口縁・胴部 | (16.0) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | I3-3 |
| 6 図 5 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275. 202 | 甕 | 口縁・胴部 | 16.0 | 不明 | (外) にぶい褐色 (内) 明黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ・ハケ | ハケ・ナデ | 無 | 有 | 外面全体 | I1-2 |
| 6 図 6 | SH-18 ベルト以东 | 275 | 甕 | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ・タタキ後ナ デ・タタキ | ナデ | 無 | 有 | | T3-2 |
| 6 図 6 | SH-18 ベルト以东 | 275 | 甕 | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ・タタキ後ナ デ・タタキ | ナデ | 無 | 有 | | T3-2 |
| 6 図 7 | SH-18 黒褐色土 | 264 | 甕 | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ | ハケ | 無 | 有 | | I4-2 |
| 6 図 8 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275. 355 | 甕 | 口縁・胴部 | 17.4 | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 (内外同じ) | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ後ナデ・ タタキ | ハケ・ハケ | 無 | 無 | | I1-1 |
| 6 図 9 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 甕 | 口縁・胴部 | (15.6) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | T3-1 |
| 6 図 10 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 脚付台甕 | 脚部 | 口径不明 底径 11.0 | 不明 | (外) 浅黄褐色 (外面一部粗) (内) 灰黄 | 良 | 良好 | ナデ | 胴部 ナデ 型・ナデ | 無 | 無 | | T8-1 |
| 7 図 1 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 266 | 甕 | 口縁・胴部 | (14.8) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ヘラケズリ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | M1-3 |
| 7 図 2 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275. 202. 264. 270. 319 | 甕 | 口縁・胴部 | (17.8) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ後ナデ・タタ キ・ナデ後ハケ | ハケ | 無 | 有 | | I2-2 |
| 7 図 3 | SH-18 東半 | 266. 270 | 甕 | 口縁部 | (16.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 明黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ後ナデ・タタ キ | ナデ・磨減 | 無 | 無 | | T1-1 |
| 7 図 4 | SH-18 ベルト以东 | 275 | 甕 | 口縁 | (18.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色・粗灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | T1-4 |
| 7 図 5 | SH-18 ベルト以东 | 275 | 甕 | 口縁 | (20.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・刻み目・ハケ | ハケ・磨減により調整不 明 | 無 | 無 | | T1-3 |
| 7 図 6 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275 | 甕 | 口縁・胴部 | (10.0) | 不明 | (外) 淡黄褐色 (内) 淡黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ後ナデ・ハケ | 有 | 有 | 煤少 | I2-3 |
| 7 図 7 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275 | 甕 | 口縁・胴部 | 14.2 | 不明 | (外) 黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ | 有 | 無 | | I2-1 |
| 7 図 8 | SH-18 黒褐色土 | 264. 319. 202 | 甕 | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ | 無 | 有 | | I4-1 |
| 7 図 9 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275 | 甕 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ケズリ後ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | M1-2 |
| 7 図 10 | SH-18 西半 黒褐色土 | 272 | 甕 | 胴部 (破片) | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ハケ | ナデ | 無 | 無 | 外面に一部ベンガラ付着 | M1-1 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|--------|----------------------|-----------------|------|-------|--------------------------|------|------------------------|----|----|--------------------------------|--------------------------|----|---|-------------------------------------|------|
| 7 図 11 | SH-18 ベルト東半 | 273 | 壺 | 口縁・胴部 | (7.6) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ・ ハケ後ナデ | ナデ・ハケ | 無 | 有 | 口縁部に刻み目 | T1-2 |
| 7 図 12 | SH-18 東半 | 266、270、 271 | 鉢 | 口縁・胴部 | 12.1 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 不良 | 不良 | 不明 | 不明 | 無 | 無 | 内外とも磨耗により調整不明 | M4-1 |
| 7 図 13 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 壺 | 口縁・胴部 | 11、底径 不明 頸部 径 12.0 | 不明 | (外) 灰黄緑 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ナデ・ハケ | 無 | 無 | 内面、粉痕らしき跡がある。 | T9-2 |
| 7 図 14 | SH-18 ベルト以西 | 270、275 | 壺 | 口縁・胴部 | (14.4) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ナデ | ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | T2-1 |
| 7 図 15 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275 | 鉢 | 口縁・底部 | (17.6) | 10.1 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ヘラケズリ | ハケ | 無 | 無 | 黒斑 (外面) | M3-2 |
| 7 図 16 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 270 | 鉢 | 口縁・胴部 | (16.1) | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内外) 煤 (外面全体) | M2-1 |
| 7 図 17 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 266 | 鉢 | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ナデ | 有 | 無 | | M2-2 |
| 7 図 18 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 鉢 | 口縁・胴部 | (19.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ・ ヘラケズリ | ナデ | 無 | 無 | | T9-1 |
| 7 図 19 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 266、202 | 鉢 | 口縁・胴部 | (20.0) | 5.9 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | 有 | 有 | 煤 (外面全体) 黒斑 (内面一部) | M3-1 |
| 7 図 20 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275、278 | 鉢 | 口縁・胴部 | (21.0) | 8.8 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M2-3 |
| 7 図 21 | SH-18 ベルト以西北側黒褐色土 | 267 | 鉢 | 口縁・胴部 | (24.0) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・突帯・ タタキ | ナデ? 磨滅 | 有 | 有 | | I3-2 |
| 7 図 22 | SH-18 東半黒褐色土 | 270、202 | 鉢 | 口縁・胴部 | (26.4) | 不明 | (外) 黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・突帯・ ハケ後ナデ・タタキ | ナデ・ハケ | 無 | 無 | | I3-1 |
| 7 図 23 | SH-18 ベルト以东黒褐色土 | 270 | 高杯 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ ハケ | ヘラ調整後ナデ・ハケ | 無 | 無 | | I5-2 |
| 7 図 24 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 脚台付鉢 | 胴部 | 口径不明 底径 (14.0) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ | 胴部 ナデ 胴部 ナ デ・ハケ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | T8-2 |
| 7 図 25 | SH-18 東半黒褐色土 | 270 | 脚台付壺 | 胴部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ハケ・ハケ後ナデ・ナデ・ 穿孔・ナデ | 胴部 ナデ 胴部 ナ デ・穿孔・ナデ | 無 | 無 | 胴部に穿孔、二孔一組四方向 | M4-2 |
| 7 図 26 | SH-18 ベルト以西北側 | 267 | 脚台付鉢 | 胴部 | 口径不明 底径 (17.0) | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | T2-2 |
| 7 図 27 | SH-18 | 200、203 | 高杯 | 杯部 | (23.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | T8-4 |
| 7 図 28 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 高杯 | 杯部 | 不明 | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ナデ | 無 | 無 | | T9-3 |
| 7 図 29 | SH-18 ベルト上層 | 202 | 高杯 | 脚部 | 口径不明 底径 13.0 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・穿孔・ナデ | 無 | 無 | 穿孔、二孔一組三方向。 | T8-3 |
| 7 図 30 | SH-18 東半黒褐色土 | 204、270 | 高杯 | 脚部 | 口径不明 底径 (14.3) | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・ハケ後ナデ・ 穿孔・ハケ 調整不明(磨耗) | ナデ・穿孔・ハケ後ナデ 穿孔・ハケ | 有 | 無 | 黒斑外面一部。 穴は2つしか残っていないが四方向 のはず。 | M4-3 |
| 7 図 31 | SH-18 ベルト以东暗褐色土 | 275 | 台付鉢 | 底部・胴部 | 口径不明、 底径 10.4 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ナデ | 無 | 無 | 個部に穿孔 (二孔一組三方向) 6 個はかろうじて開いている。 | I5-3 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|--------|--------------------|---------------------|----------|---------|----------------------|------|------------------------------|----|----|----------------------------|-----------------|----|---|---|-------|
| 7 図 32 | SH-18 ベルト以东 | 275 | 器台 | 脚部 | 12.4 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ (一部ハケ痕が残る) | 脚部 ナデ ナデ・ハケ | 無 | 無 | 粗痕あり。砂型無し。底部少し歪む。 | T3-4 |
| 7 図 33 | SH-18 西半暗褐色土 | 265 | 甕 | 口縁・底部 | (9.3) | 8.0 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | 未調整 | ハケ | 無 | 無 | 外面は未調整。上下1cm位の所に粘土の繋ぎ目あり。 | M3-3 |
| 7 図 35 | SH-18 西半暗褐色土 | 269 | 深鉢? (細文) | 脚部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ後四点・沈線・ミガキ・沈線・磨消細文後四点 | ミガキ | 無 | 無 | | M4-4 |
| 9 図 1 | SH-73 ベルトNE区 | 315、303、 312 | 甕 | 口縁・脚部 | 15.6 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・タタキ・タタキ後ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (内器面)、煤 (外面)。 外面上半のみタタキ目が残る、下半はハケ目及び磨滅。 | 17-1 |
| 9 図 2 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 甕 | 口縁・脚部 | (15.6) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ | ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (内面)、煤 (外面)。 | 17-2 |
| 9 図 3 | SH-73 S区一括 暗褐色土 | 302 | 甕 | 口縁・脚部 | (16.4) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ後ナデ・ナデ | ハケ | 有 | 有 | 煤 (外面)。 | 19 |
| 9 図 4 | SH-73 S区一括 暗褐色土 | 302 | 甕 | 口縁・脚部 | 17.8 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ (タタキの跡がごく一部残る) | ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (外面)、煤 (外面)。 | 18-2 |
| 9 図 5 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 甕 | 口縁・脚部 | (18.0) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (外面)、煤 (外面)。 | 17-3 |
| 9 図 6 | SH-73 S区一括 暗褐色土 | 301 | 甕 | 口縁・脚部 | (18.2) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ | ナデ・ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | 18-4 |
| 9 図 7 | SH-73 S区一括 暗褐色土 | 302 | 甕 | 脚部 | 11.1復元、 底後 (10.4) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (脚内器面)。 脚内面砂型無し、ハケ有。 | 18-3 |
| 9 図 8 | SH-73 S区 暗褐色土 | 301 | 小型丸底甕 | 口縁・脚部 | (10.8) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ハケ・ナデ | ハケ・ナデ | 無 | 無 | 頸部多少歪む | 110-5 |
| 9 図 9 | SH-73 S区 | 314 | 甕 | ほぼ完形 | 11.6 | 12.0 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ・磨滅の為不明 | ハケ後ナデ・ハケ・ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | T4-3 |
| 9 図 10 | SH-73 ベルトNE区 | 315、314、 297 | 甕 (短頸甕?) | 口縁・脚部 | 11.8 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ハケ・ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (外面)、煤 (外面)。口縁から脚部に歪みあり。頸部に工具 (爪?) の痕跡あり。 | 18-1 |
| 9 図 11 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 甕 | 口縁・脚部 | (19.0) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ハケ・ナデ | 無 | 無 | | T4-2 |
| 9 図 12 | SH-73 N区 黒褐色土 | 306 | 甕 | 肩部 (破片) | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | 櫛歯直線文・ハケ後櫛歯波状文 | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面)。 | 110-6 |
| 9 図 13 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 香型器台 | 上部・脚部 | 不明 | 不明 | (外) 口縁・褐灰 (内) (上面) にぶい黄 | 良 | 良好 | (上面) ハケ (脚部) タタキ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面)。 上面に穴1。破損の為殆ど不明。 | 111-1 |
| 9 図 14 | SH-73 東区 | 298 | 器台 | 口縁・脚部 | (12.6) | 不明 | (外) 浅黄・黄 (内) 灰黄 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ヘラ調整 | 無 | 無 | 口縁近くに約2cm 間隔で指頭痕 | T5-1 |
| 9 図 15 | SH-73 東半 | 296 | 高坏 | 坏部 | (19.6) | 不明 | (外) 灰黄褐・にぶい黄 (内) 灰黄褐・にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | T6-2 |
| 9 図 16 | SH-73 南半 | 297 | 高坏 | 坏部 | (20.0) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) 黄 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | 口縁部に指頭痕 | T6-3 |
| 9 図 17 | SH-73 ベルトNE区 | 315、296、 303、312 | 甕 | 口縁・脚部 | 21.0 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ・ナデ・ハケ | ナデ・ハケ・ナデ・ハケ | 有 | 無 | 黒斑、外面と口縁に少。内器面に剥離あり。脆い。頸部に刻み目あり。 | 16 |
| 9 図 18 | SH-73 E区 | 303 | 甕 | 口縁部 | (24.0) | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ後細文・ナデ・ハケ・ナデ・細文・刻口 | ハケ・一部剥離・ナデ | 無 | 無 | | T4-1 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|-------|------------------------|-------------------------|-----------------------|--------|-------------------|------|-------------------------------|----|----|---|----------------------------|----|---|---|-------|
| 9図19 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 鉢 | 口縁・底部 | (12.8) | 3.6 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | I10-4 |
| 9図20 | SH-73 東半 暗褐色土 | 296 | 鉢 | 口縁・腹部 | (14.4) | 不明 | (外) 褐色 (内) 褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ハケ後ナデ・ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面)。 | I10-3 |
| 9図21 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 鉢 | ほぼ完形 | 17.6 | 9.5 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面)。 | I10-1 |
| 9図22 | SH-73 ベルトNE区 | 315, 303, 296 | 鉢 | 口縁・底部 | (18.6) | 9.9 | (外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ナデ | ナデ・ハケ・ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内面)、煤 (外面)。 | I10-2 |
| 10図1 | SH-73 ベルトNE区 | 296, 315 | 高杯 | 口縁・腹部 | (30.0) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | 杯部 ハケ後ナデ・ヘラ ミガキ 胴部 ヘラ調整 | 無 | 無 | | T6-1 |
| 10図2 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 高杯 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐色 (内) 黒褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ミガキ | 無 | 無 | | T7-4 |
| 10図3 | SH-73 暗褐色土 東区 | 283, 298, 341, 342, 352 | ガラス型上器 | 口縁・腹部 | (5.5) | 不明 | (外) にぶい黄褐色・明褐色 (内) 明褐色 | 良 | 良好 | ミガキ | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | 外面は全体を丁寧に磨いた後縁刻。 トから2cm くらいの高さまでヘラ ミガキ。胴部は欠損。 | M7-2 |
| 10図4 | SH-73 暗褐色土S区一括 | 298, 302, 303 | ガラス型上器 | 腹部 | 口径不明、 底径 (8.5) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | 穿孔 (一孔 三方向) 接点はないが 10図3 と同一個体か | M7-1 |
| 10図5 | SH-73 暗褐色土 | 352 | 長頸甕 | 頸部・腹部 | 頸部径 (7.8) | 不明 | (外) 褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ミガキ・沈線・磨削波状文・ ミガキ | ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | M7-3 |
| 10図6 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | ミニチュア 土器 (鉢) | 口縁・腹部 | (5.2) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 褐色 | 良 | 良好 | 指押さえ・ハケ | ハケ・ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内外面全体)。 全体的に歪み、厚みも異なる | I11-2 |
| 10図7 | SH-73 東区 暗褐色土 | 296, 298 | ミニチュア 土器 (鉢) | 完形 | 5.8 | 3.5 | (外) にぶい褐色 (内) にぶい褐色 | 良 | 良好 | 指押さえ | 指押さえ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面)。口縁部減少なく形 状は不確か。全体的に歪む。 | I11-3 |
| 10図8 | SH-73 東半 暗褐色土 | 296 | ミニチュア 土器 (高杯) | 口縁・腹部 | (5.8) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・指調整 | ナデ・ヘラ調整 | 無 | 無 | 高杯もしくは甕と思われる「口縁部」の 口径と傾きから高杯と推測。 | I11-4 |
| 10図9 | SH-73 S区 | 314 | ミニチュア 土器 (高杯 脚) | 脚 (底部) | (5.6) | 不明 | (外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ後放射線状に刻み | 無 | 無 | 全体的に歪む。 | I11-5 |
| 10図12 | PT122 黒褐色土 (SH-73内) | 169 | 鉢 | 口縁部・腹部 | (11.8) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ナデ | ナデ | 無 | 無 | | I31-5 |
| 10図13 | PT123 | 171 | 壺 | ほぼ完形 | 12.6 | 13.4 | (外) 黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ナデ後ハケ・ハケ後 ナデ | ナデ後ハケ・ナデ・ナデ 後ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I31-4 |
| 10図17 | SH-73 S区 | 304 | 深鉢 (細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐色 (内) 黒褐色 | 良 | 良好 | ミガキ後沈線 (2本)・磨 削細文・ミガキ | ミガキ | 無 | 無 | | T7-1 |
| 10図18 | SH-73 ベルトNE区 | 315 | 浅鉢? (細 文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色・灰黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | 沈線文・磨削細文 (一部)・ 沈線文・磨削細文 (一部)・ ミガキ | ミガキ | 無 | 無 | | T7-2 |
| 10図19 | SH-73 E区 | 303 | 浅鉢? (細 文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐色 (内) 褐色 | 良 | 良好 | 磨削細文間に沈線文 (3本) ・ミガキ | ミガキ | 無 | 無 | | T7-3 |
| 10図20 | SH-73 S区 暗褐色土 | 301 | 浅鉢 (細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ミガキ後ナデ・沈線 (2本) ・ミガキ | ミガキ | 無 | 有 | 煤 (外面)。 | M6-1 |
| 10図21 | SH-73 暗褐色土 南区 | 299 | 深鉢 (細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ケズリ後ナデ・ミガキ | ナデ | 無 | 無 | | M5-4 |
| 10図22 | SH-73 | 308 | 深鉢 (細文) | 腹部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | 沈線 (1)・磨削細文・沈線 (2)・磨削細文・沈線 (1) ・ミガキ | ミガキ | 無 | 無 | | M5-5 |

| 図番号 | 逆掃名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は複元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 備 考 | 実測番号 |
|-------|----------------------|-------|--------------|-------|-------------------|-----|------------------------|----|----|---|----------------------|----|--|-------|
| 10図23 | SH-73 S区 | 314 | 深鉢(細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ミガキ後沈線(3)・凹点・ ミガキ後沈線(2)・凹点・ ミガキ後沈線(2) | ミガキ後ナデ | 無 | 黒斑(内面) 沈線7本、凹点は格 甲状に2つが1対。間隔は上下で1.3 cm | M5-1 |
| 10図24 | SH-73 暗褐色土・南区 | 299 | 深鉢(細文) | 頸部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) 灰黄褐 | 良 | 良好 | ミガキ・凹点・沈線(4本) | ナデ・ミガキ | 無 | 頸部に凹点(縦長の格甲) 5mm間 隔で横に並ぶ。その1cm程下にも 2つあり。 | M5-3 |
| 10図25 | SH-73 暗褐色土・E区 | 303 | 深鉢(細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | 沈線(3本)・磨消細文(間 に凹点)・沈線(2本) | ミガキ | 無 | 沈線5本。凹点は格甲状が横に3 つつなっている。 | M5-2 |
| 10図26 | SH-73 東区・暗褐色土 | 298 | 深鉢?(細 文) | 底部 | (8.8) | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ケズリ後ナデ・ナデ | ハケ後ナデ | 有 | 黒斑 | M6-2 |
| 10図28 | SK-100 暗褐色土 | 251 | 甕 | 口縁部 | (18.3) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ナデ後ヘラミガキ・ ナデ | ナデ後ヘラミガキ | 無 | | M14-1 |
| 10図29 | SK-100 暗褐色土・南北ST | 250 | 高坏 | 坏部 | (18.8) | 不明 | (外) 黄灰 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ナデ後ヘラミガキ | 無 | | M14-5 |
| 10図30 | SK-100 暗褐色土 | 251 | 高坏 | 脚部 | 不明 | 不明 | (外) 黒 (内) 黒 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・穿孔・ナデ | ナデ・穿孔・ナデ | 有 | 2.6cm間隔に穿孔、二孔一組三方向 | M14-2 |
| 10図31 | SK-100 暗褐色土 | 251 | 甕 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 粗灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 黒斑(外面) | M14-3 |
| 10図32 | SK-100 暗褐色土 | 252 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 粗灰 | 良 | 良好 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 黒斑(外面・口縁部) | M14-4 |
| 11図1 | PT137 暗褐色土 | 219 | 甕 | 脚部 | 口径不明、 底径(13.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | 胴部 指押さえ? 脚部 砂形・ハケ | 有 | 黒斑(内外) | I21-1 |
| 11図2 | PT110 暗褐色土(混じり) | 157 | 甕 | | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ナデ後ハケ | 胴部 ナデ 脚部ヘラ 調整後ナデ | 有 | 黒斑(内外) 煤(加ね面底部) | I30-6 |
| 11図3 | PT110 暗褐色土(混じり) | 157 | 甕 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 明黄褐 (内) 灰褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ | ナデ・ナデ後ハケ | 有 | 黒斑(外面) | I30-7 |
| 11図4 | PT110 暗褐色土(混じり) | 157 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | 磨消細文・沈線(2本)・磨 消細文・ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 黒斑(内外) | I30-8 |
| 12図1 | SK-16 暗褐色土 | 189 | 台付鉢 | 脚部 | (15.4) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ後ナデ | 無 | 穿孔一つ、部分的に確認できる。 | I13-5 |
| 13図1 | SD-01 C-S間ベルト | 21 | 皿(土師器) | 口縁・底部 | (8.0) | 1.4 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | 内面 ナデ 底部 ヘラ キリ | 有 | 黒斑(内面) | I23-7 |
| 13図2 | SD-01 C-S間ベルト | 9 | 須恵鉢 | 口縁・胴部 | (12.3) | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | 回転ナデ | 回転ナデ | 無 | | M16-3 |
| 13図3 | SD-01 N区 | 2 | 須恵坏 | 底部 | 口径不明、 底径(10.0) | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | 回転ナデ | ナデ | 無 | | M16-2 |
| 13図4 | SD-01 C区 | 13 | 黒色土器 (焼?) | 口縁・胴部 | (13.3) | 不明 | (外) 黒 (内) オリーブ黒 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラミガキ | ナデ | 無 | | M16-4 |
| 13図5 | SD-01 N区 | 2 | 瓦器碗 | 口縁・胴部 | (15.8) | 不明 | (外) 黄灰 (内) 灰黄 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラミガキ・ケズリ 後ナデ | ナデ後ヘラミガキ | 無 | 両面黒色 | M16-1 |
| 13図6 | SD-01 C-Sベルト 細除中 | 20 | 瓦器碗 | 底部・胴部 | 口径不明、 底径(7.2) | 不明 | (外) 灰オリーブ (内) 黒 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・ナデ 底部ナ デ | ヘラミガキ | 無 | 両面黒色 | M16-7 |
| 13図7 | SD-01 南側ST 暗褐色粘質土 | 42 | 碗 | 底部・胴部 | 口径不明、 底径(9.0) | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 不良 | 不良 | ナデ | 摩滅により調整不明 | 無 | 土師質 | M16-8 |
| 13図8 | SD-01 C区 暗褐色土 | 11 | 滑石製白鍋 | 口縁部 | (22.0) | 不明 | (外) 灰黄 (内) 浅黄褐 | | | ケズリ | ケズリ | 無 | 煤(外面)。把手は1つ確認できる。 内面調整は縦 重量 135.7 g | I24-5 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備考 | 実測番号 |
|-------|---------------------|-------|----------------|-------|--------------|----|------------------------|----|----|--|-----------------|----|---|--|-------|
| 13図10 | SD-01 C区 暗褐色土 | 11 | 滑石製石鍋 (口縁部) | | 不明 | 不明 | (外) 赤灰 (内) 赤灰 | | | ケズリ | ケズリ | 無 | 有 | 口径器高は不明。把手は確認できない。重量 78.3 g | I24-6 |
| 13図11 | SD-01 C区 底近く | 17 | 滑石製石鍋 (底部) | | 不明 | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | | | ケズリ | ケズリ | 無 | 有 | 口径器高は不明。上部(内面)、外側 1cm くらいの所に凹みあり。1 周している。重量 37.3 g | I24-7 |
| 13図12 | SD-01 C区 暗褐色土 | 10 | 片磁碗 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰白 (内) 灰白 | 良 | 良好 | | | 無 | 無 | | I24-3 |
| 13図13 | SD-01 C区暗褐色土(下半) | 16 | 片白磁 合子蓋 | 口縁・上部 | (7.2) | 不明 | (外) 明緑灰・灰白・明緑 灰(内) | 良 | 良好 | 露胎 | 露胎 | 無 | 無 | | I24-4 |
| 13図14 | SD-01 暗褐色土 南壁 | 43 | 浅鉢(縄文) | 口縁部 | (28.6) | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(4外) | I27-5 |
| 13図15 | SD-01 暗褐色土 北壁 | 58 | 深鉢(縄文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黄灰 (内) オリーブ黒 | 良 | 良好 | 縄文・沈線(2本)・ヘラミ ガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | M18-1 |
| 13図16 | SD-01 C-S間ベルト | 21 | 深鉢(縄文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄緑 (内) 灰黄緑 | 良 | 良好 | 磨消縄文後押線文(2本)・ ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(4外) | I27-1 |
| 13図17 | SD-01 S区 | 29 | 深鉢(縄文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | 磨消縄文(所減していい る)後押線文2本・ヘラミ ガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | I27-4 |
| 13図18 | SD-01 S区 | 26 | 深鉢(縄文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | 刻み目(刺突文)1つ・押 線文(2)・磨消縄文?(所 減してはつきりしな い) | ヘラ調整・ミガキ | 無 | 無 | | I27-3 |
| 13図19 | SD-01 C区 暗褐色土 | 10 | 深鉢(縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 不良 | 凹点・沈線・磨消縄文・ナ デ後沈線(2本) | ナデ | 無 | 無 | | M18-3 |
| 13図9 | SD-01 S区 | 26 | 滑石製石鍋 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒 (内) 灰 | | | ケズリ | ケズリ | 有 | 無 | 口径器高は不明。外面に煤付着。重量 92.5 g | M19-1 |
| 13図20 | SD-01 N区 | 6 | (縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | 磨消縄文・沈線文(2本)・ 磨消縄文・沈線文(1本) | ミガキ後ナデ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | T12-4 |
| 13図21 | SD-01 C区 暗褐色土 | 10 | 深鉢(縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | 凹点・沈線(2本)・細文・ 沈線(2本) | ヘラミガキ | 無 | 無 | | M18-2 |
| 13図22 | SD-01 N区 | 4 | (縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 黄灰 | 良 | 良好 | 沈線文・ナデ・沈線文・磨 消縄文・沈線文・ナデ | ナデ | 無 | 無 | | T12-1 |
| 13図23 | SD-01 N区 | 4 | (縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 黄灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | ナデ後沈線文(3本) | ナデ | 無 | 無 | | T12-2 |
| 13図24 | SD-01 N区 | 4 | 深鉢?(縄 文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ミガキ後凹線文(3本) | ナデ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | T12-3 |
| 13図25 | SD-01 C-S間ベルト | 23 | 深鉢(縄文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | 刻み目(刺突文)・押線文・ 磨消縄文・押線文 | ナデ、もしくはミガキ | 無 | 無 | | I27-2 |
| 13図29 | SD-01 C-S間ベルト | 21 | 鉢 | 口縁部 | (21.4) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | I23-1 |
| 13図30 | SD-01 S区 | 26 | 鉢 | 口縁・胴部 | (20.2) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ・ タタキ | ハケ・ナデ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | I23-6 |
| 13図31 | SD-01 C-S間ベルト | 23 | 高坏 | 口縁部 | (23.4) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | I23-5 |

| 図番号 | 通称名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備考 | 火割番号 |
|-------|-----------------------|--------------------|-------------|--------|-----------------|--------|------------------------|----|----|----------------------------|--------------------------|----|---|---|-------|
| 13図32 | SD-01 S区 上層 | 31, 355 | 高坏 | 11縁・胴部 | 24.4 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (内面) | 124-1 |
| 13図33 | SD-01 C-S間ベルト | 23 | 鉢 | 11縁・胴部 | (19.8) | 不明 | (外) 緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 123-4 |
| 13図34 | SD-01 北ST黒褐色粘質土 | 38 | 鉢 | 11縁・底部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 124-2 |
| 13図35 | SD-01 C-S間ベルト | 23 | 壺 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 明黄緑 (内) 明黄緑 | 良 | 良好 | 細描文 | ハケ | 無 | 無 | 外面に赤色顔料 (ベンガラ) | 123-3 |
| 13図36 | SD-01 N区 暗褐色土 | 7 | ミニチュア 土器 | 11縁・底部 | (6.0) | 3.8 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ (後ヘラミガキ?) | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (内外) | 123-2 |
| 15図1 | SK-21 | 215, 279, 354 | 甕 | 11縁・胴部 | 17.2 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ後ナデ・一部 ハケ・タタキ・ハケ | ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M10-1 |
| 15図2 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 11縁・胴部 | (19.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ | ナデ・ハケ・ハケ後ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M12-1 |
| 15図3 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 11縁・底部 | (18.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・タタキ・ハケ・ ナデ | ハケ・ハケ後ナデ・ハケ ・ナデ後ハケ・ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内外)。煤 (外)。11縁と底部 にずれがあり全体に歪んでいる。 | 117 |
| 15図4 | SK-21 | 354 | 甕 | 11縁・底部 | (20.4) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ 後?) タタキ | ハケ後ナデ・ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (外) 煤 (外)。 | 118-2 |
| 15図5 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 11縁・底部 | 16.5 | (30.5) | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 不良 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ・ 剝離のため調整不明 | ハケ・ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面)。胴部と底部の接点なし、 胴面上で復元。 | M11-1 |
| 15図6 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 底部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | タタキ後ハケ・ハケ | ハケ・摩滅 | 有 | 有 | 黒斑 (内外)。煤 (外面全体) | T10-1 |
| 15図7 | SK-21 | 217, 354 | 甕 | 底部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 黒・にぶい赤褐 (内) 緑 | 良 | 良好 | タタキ・ハケ後ナデ・ハケ・ ナデ | ナデ・ハケ・ナデ | 無 | 無 | 外面、上部より (2/3) 位まで黒く、 下 (1/3) は赤い。 | M9-1 |
| 15図8 | SK-21 北底部(北側) 黒褐色土 | 283 | 甕 | 胴部 | 口径不明、 底径 8.0 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ・ヨコナデ | ナデ。 胴部内面、砂型 ・ナデ | 無 | 無 | | M10-2 |
| 15図9 | SK-21 | 215 | 甕 | 底部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M12-2 |
| 15図10 | SK-21 | 354, 355 | 甕 | 底部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラ調整・ナデ後ハ ケ | ナデ後ハケ・ナデ・ヘラ 調整 | 無 | 無 | 底部のみで胴部の径が不確。 | 116-3 |
| 15図11 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 底部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | タタキ・ハケ後ナデ・ナデ | ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面) | 118-1 |
| 15図12 | SK-21 | 280, 342, 354, 355 | 壺 | 11縁・胴部 | (19.4) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 黄灰褐 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ハケ・タタキ | ハケ後ナデ・ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (内外)。11縁少し歪みあり。 | 115-2 |
| 15図13 | SK-21 | 279, 280, 354 | 壺 | 11縁・頸部 | 18.0 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・刻目・ハケ | ナデ・ハケ・摩滅のため 調整不明 | 無 | 無 | 黒斑 (外面)。全体的に摩滅する。 | 115-1 |
| 15図14 | SK-21 北部(北側) | 283 | 壺 | 11縁・頸部 | (19.4) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・摩滅 | 無 | 無 | 黒斑 (外面)。11縁部外面の調整は あまり銘施でない。 | 116-1 |
| 15図15 | SK-21 | 215, 354 | 甕 | 底部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 不良 | ナデ・ハケ・摩滅 | ナデ 確認不可 (ほぼ摩 滅) | 有 | 無 | 黒斑 (外面)?。全体的に摩滅する。 | 116-2 |
| 15図16 | SK-21 南西 暗茶色土 | 214 | 鉢 | 11縁・底部 | (9.5) | 5.6 | (外) にぶい黄緑 (内) 緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ・ハケ | ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | M13-2 |
| 16図1 | SK-21 | 354 | 鉢 | 11縁・胴部 | (15.5) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ 後ナデ | ナデ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | M13-1 |
| 16図2 | SK-21 北部(北側) 黒褐色土 | 283 | 小型鉢 | 11縁・底部 | (13.2) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 明黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ・ナデ・ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (外) 煤 (外)。 | 118-3 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 () は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備考 | 実測番号 |
|---------|-----------------------|---------|---------------|-------|---------------------|------|-----------------------------|----|----|---------------------------|-------------------------------------|----|---|---|-------|
| 16 図 3 | SK-21 北東部(北側) 黒褐色土 | 270、283 | 高坏 | 坏部 | (24.0) | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ハケ後ナデ・ハケ・ナデ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | 119-1 |
| 16 図 4 | SK-21 | 215 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径(13.2) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・穿孔・ハケ・ ナデ | 坏部内面ナデ。脚部内面 ナデ・穿孔・ナデ・ハケ | 有 | 無 | 黒斑(内面)。穿孔・二孔・斜四方向。 5つは貫通、3つ未貫通。孔の高さは多少ずれている。 | 119-2 |
| 16 図 5 | SK-21 | 215 | 脚付鉢 (コップ形) | 口縁・底部 | 口径(7.8)、 底径(9.0) | 11.1 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 不良 | ハケ後ナデ・ナデ・穿孔・ ナデ | 脚部 ハケ後ナデ・剥離 のため不明 脚部 ナ デ・ヨコナデ | 有 | 無 | 黒斑(胴部外面) 4～5cm 間隔で ヘラ書き(ハの字)が3つ、その間 に穿孔(二孔一組、三方向) | M13-3 |
| 16 図 8 | SK-21 暗褐色土 | 212 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | 沈線(2本)・ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M13-4 |
| 16 図 9 | SK-03 暗褐色土 | 180 | 縄文 | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | 内外とも剥離している | 113-2 |
| 16 図 11 | SK-04 暗茶土 粘質土 | 183 | 深鉢(細文) | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい褐 (内) 橙 | 良 | 良好 | ナデ後貼付突帯 | ナデ | 無 | 有 | 内面にも貼付文の剥離痕あり。 | 113-3 |
| 16 図 12 | SK-12 暗褐色土 | 187 | 深鉢(細文) | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 黒褐色 | 良 | 良好 | 磨消縄文・押線文(2本)・ ヘラミガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | 113-4 |
| 16 図 13 | SK-19 暗褐色土 | 206 | 深鉢(細文) | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | 押線文2本(2個1対の刺 突)・ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(外)口縁(内)全体 | 114-2 |
| 16 図 14 | SK-19 暗褐色土 | 210 | 深鉢(細文) | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) 褐灰 (内) 灰黄褐色 | 良 | 良好 | 押線文2本・刺突(2個1対) ・ヘラミガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | 114-3 |
| 16 図 15 | SK-19 暗褐色土 | 210 | 深鉢(細文) | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 黄灰 | 良 | 良好 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(内面全体) | 114-4 |
| 16 図 16 | SK-18～19 ヘル上部 | 211 | 縄文 | 脚部 | 不明 | 不明 | (外) 黄灰褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・刻目・押線文(2 本)・磨消縄文 | ヘラミガキ・ナデ | 有 | 無 | 黒斑(内外面) | 114-5 |
| 16 図 17 | SK-19 暗茶色土 | 206 | 脚台付甕 | 脚部 | 口径不明、 底径(11.2) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ・砂型 | 無 | 無 | | 114-1 |
| 16 図 18 | SK-39 暗褐色土 | 221 | 小甕 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ | 無 | 無 | | 121-3 |
| 16 図 19 | SK-39 暗褐色土 | 221 | 甕 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | 沈線・磨消波状文・ハケ | ハケ | 有 | 無 | 煤(外面) | 121-4 |
| 16 図 20 | SK-39 暗褐色土 | 220 | 甕 | 口縁部 | (22.8) | 不明 | (外) 黒褐色 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ? | 無 | 無 | | 121-2 |
| 16 図 21 | SK-61 暗褐色土 | 228 | 甕 | 口縁部 | (13.8) | 不明 | (外) 橙 (内) 明黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ナデ・ハケ・ナデ | 無 | 無 | | 121-6 |
| 16 図 22 | SK-61 暗褐色土 | 228 | 蓋(土師器) | 口縁部 | (16.8) | 不明 | (外) 橙 (内) 橙 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 121-5 |
| 16 図 23 | SK-65 埴土 | 236 | 高坏 | 坏部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 122-7 |
| 16 図 24 | SK-65 埴土 | 236 | 甕 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | ハケ後磨消波状文 | ハケ | 無 | 無 | | 122-6 |
| 16 図 25 | SK-62 暗褐色土 | 231 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐色 (内) 浅黄褐色 | 良 | 良好 | 押線文(2本)・磨消縄文・ ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(内外) | 122-3 |
| 16 図 26 | SK-62 暗褐色土 | 231 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色 | 良 | 良好 | 押線文2本(押点文1つ) ・ヘラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(内面) | 122-4 |
| 16 図 27 | SK-62 中央 白粘土 | 235 | 甕(古代) | 底部・胴部 | (17.8) | 不明 | (外) にぶい黄褐色 (内) 浅黄褐色 にぶい黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ヘラ調整後ナデ | 有 | 有 | 黒斑(内外)。煤(外面) | 122-1 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口徑 () は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|--------------------|----------|---------------------|-------|------------------|-------|------------------------|----|----|--|--------------------|----|-----------------|-------|
| 16 図 28 | SK-62 暗褐色土 | 231 | 蓋(須恵器) | 口縁部 | (11.6) | 不明 | (外) 褐灰 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ナデ | 不明 | 無 | 内器面全体に浅黄褐色の自然釉 | 122-5 |
| 16 図 29 | SK-62 暗褐色土 | 231, 235 | 鉢(土師器) | 口縁・底部 | (17.0) | 17.0 | (外) 浅黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ハケ後ミガキ(ナデ?) | ハケ後ナデ・ナデ | 有 | 黒斑(内外) | 122-2 |
| 16 図 30 | SD-82 暗褐色土 | 56 | 鉢 | 口縁部 | (15.3) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ハケ | ナデ | 有 | 黒斑(内外) | 128-2 |
| 16 図 31 | SD-82 暗褐色土 | 56 | 鉢 | 口縁 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ナデ | ハケ | 有 | 黒斑(外面) | 128-5 |
| 16 図 32 | SD-82 暗褐色土 | 56 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ゆるやかな押線文・ヘラミ ガキ | ヘラミガキ | 無 | | 128-4 |
| 16 図 33 | SD-82 暗褐色土 | 56 | 深鉢(細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐 (内) 黒褐 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・刻目2つ・ヘ ラミガキ | ヘラミガキ | 有 | 黒斑(内外) | 128-3 |
| 16 図 40 | SK-113 暗褐色土 | 262 | 壺 | 口縁部 | (24.2) | 不明 | (外) 褐 (内) 褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ハケ | 有 | 黒斑(外面) | M8-1 |
| 16 図 41 | SK-113 暗褐色土 | 262 | 高坏 | 口縁部 | (21.9) | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | | M8-2 |
| 17 図 1 | SK-107 | 256 | 鉢(ミニ二 チャア十 器) | 口縁・底部 | (5.0) | (1.8) | (外) 褐 (内) 褐 | 良 | 良好 | 指押さえ | 指押さえ | 無 | | T11-1 |
| 17 図 5 | SK-107 | 256 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) 灰黄褐 | 良 | 良好 | ミガキ・押点文・ミガキ(磨 消細文(一部ミガキ) 間に 沈線2本・ミガキ | ヘラミガキ | 有 | | T11-4 |
| 17 図 6 | SK-107 ベルト | 260 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ミガキ | 無 | | T11-3 |
| 17 図 7 | SK-107 暗褐色土北テラス | 261 | 深鉢(細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 明黄褐 (内) 明黄褐 | 良 | 良好 | 磨消細文・間に沈線(3本) ・刺突文? | ヘラミガキ後ナデ | 無 | | T11-2 |
| 18 図 1 | PIT06 暗褐色土 | 61 | 壺 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | | 129-1 |
| 18 図 2 | PIT15 暗褐色土 | 71 | 鉢 | 頸部・胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ後ナデ | ハケ・ハケ後ナデ | 有 | 黒斑(外面) | 129-2 |
| 18 図 3 | PIT38 暗褐色土 | 89 | 壺 | 口縁部 | (12.8) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ハケ | 無 | | 129-3 |
| 18 図 4 | PIT41 黒褐色土 | 93 | 壺 | 口縁部 | (22.2) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 暗灰 | 良 | 良好 | ナデ(間に沈線2本)・ハ ケ後ナデ・ハケ | ナデ・ナデ後ハケ | 有 | 黒斑(外面) | 129-4 |
| 18 図 5 | PIT42 暗褐色土 | 94 | 鉢 | 口縁部 | (21.4) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ハケ後ナデ | 有 | 黒斑(外面) | 129-6 |
| 18 図 6 | PIT42 暗褐色土 | 94 | 高坏 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ヘラ調整・ヘラ調整後ナ デ | 無 | | 129-5 |
| 18 図 7 | PIT42 暗褐色土 | 95 | 壺(須恵器) | 底部・胴部 | 口縁不明、 底径(7.0) | 不明 | (外) 灰 (内) 黄灰 | 良 | 良好 | ナデ | 胴部 ケズリ後ナデ 脚部 ナデ | 無 | | 129-7 |
| 18 図 8 | PIT44 暗褐色土 | 97 | 高坏? | 坏部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ハケ後ナデ | 有 | 黒斑(外面) | T13-1 |
| 18 図 9 | PIT77 暗茶色土 | 118 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐 (内) 黒褐 | 良 | 良好 | 沈線文(2本)・磨消細文・ ミガキ | ミガキ | 無 | 磨消細文の部分に刺突文(2つ) | T13-2 |
| 18 図 10 | PIT81 暗茶色土(小) | 122 | 中皿以降? | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 褐灰・黒褐 | 良 | 良好 | ナデ | ミガキ | 無 | | T13-3 |

| 図番号 | 通称名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 () は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備考 | 実測番号 |
|---------|--------------------------------|---------|---------------|--------|---------------|-----|-------------------------------------|----|----|---|-----------------------|----|---|-----------------------------------|-------|
| 18 図 11 | PT88 | 136 | 細文 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 暗赤褐 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ミガキ・沈線・磨消細文・ 沈線・ミガキ・沈線・磨消 細文 | ナデ | 無 | 無 | | T13-4 |
| 18 図 12 | PT88 | 136 | 細文 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | 刻目・沈線 (2 本) | 摩滅により不明 | 無 | 無 | 全体的に摩滅しており不明瞭。 | T13-5 |
| 18 図 13 | PT89 暗褐色上 | 137 | 蓋(須臾器) | 蓋み | 不明 | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | I30-1 |
| 18 図 14 | PT95 暗褐色上 | 144 | 鉢 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | タタキ | ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (外面) 煤 (外面) | I30-2 |
| 18 図 15 | PT102 (SH-73 内) | 148 | 壺 | 口縁部 | (21.4) | 不明 | (外) 褐灰 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ヘラミガキ? | ナデ後ミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I30-3 |
| 18 図 16 | PT108 暗褐色上 | 155 | 鉢 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ハケ | ハケ後ナデ | 無 | 無 | | I30-5 |
| 18 図 17 | PT108 黒褐色上 (SK-21 内) | 154 | 鉢 | 口縁部 | (22.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ・ナデ後ハケ | ナデ後ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I30-4 |
| 18 図 18 | PT117 黒褐色上 | 164 | 甕 (古代) | 口縁部 | (19.0) | 不明 | (外) 褐 (内) 褐 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ケズリ | 無 | 無 | | I31-1 |
| 18 図 19 | PT111 黒褐色上 | 159 | 細文 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ミガキ (一部磨消細文) | ナデ | 無 | 無 | | T13-6 |
| 18 図 20 | PT111 黒褐色上 | 159 | 壺 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ・ハケ | 無 | 無 | | T13-7 |
| 18 図 21 | PT120 茶色上 混じり (SH-73 内) | 167 | 深鉢 (細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・磨消細文・ ナデ後ミガキ | ミガキ | | | | I31-2 |
| 18 図 22 | PT120 茶色上 混じり (SH-73 内) | 167 | 深鉢 (細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・刺突文・ヘ ラミガキ | ヘラ調整 | 有 | 無 | 黒斑 (内面) | I31-3 |
| 18 図 24 | 1 トレンチ南平 (SD-1 東側) 検出中・黒褐色上 | 37 | 深鉢 (細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・刻目・ヘラミ ガキ間に押線文 (3 本) | ヘラミガキ | 無 | 無 | | I32-6 |
| 18 図 25 | 1 トレンチ南平 (SD-1 東側) 検出中・黒褐色上 | 37 | 深鉢 (細文) | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・刻目・ヘラミ ガキ間に押線文 (3 本)・ ヘラミガキ・刺突文 (2 つ 1 組で 2 つ) | ヘラミガキ | 有 | 無 | | I32-5 |
| 18 図 26 | 1 トレンチ検出中 | 342 | 壺 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・細描波状文・ ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | 無 | 無 | | T14-1 |
| 18 図 27 | 1 トレンチ検出中 | 342 | 壺 | 口縁部・胴部 | (17.6) | 不明 | (外) 明黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・線ハケ後細い ハケ・ハケ・タタキ | ナデ後ハケ・ハケ・(摩 滅多)・ハケ | 無 | 無 | 内外共に赤色顔料 (ベンガラ?) 付 着。上部に二重細描文。 | I32-1 |
| 18 図 28 | 1 トレンチ検出中 | 343 | 高坏 | 胴部 | (14.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐・灰黄褐 (内) にぶい黄褐・灰黄褐 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・ナデ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | T14-3 |
| 18 図 30 | 1 トレンチ検出中 | 342・355 | 壺 | 底部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良好 | ハケ・ナデ | 摩滅の為調整不明 | 無 | 無 | 内面に赤色顔料 (ベンガラ?) 付着 全体的に雑な作り。 | I32-2 |
| 18 図 31 | 1 トレンチ検出中 | 344 | 手づくね鉢 (古代) | 口縁部・胴部 | (6.2) | 不明 | (外) 褐 (内) 褐 | 良 | 良好 | 指調整後ナデ後ハケ | ヘラ調整後ナデ | 無 | 無 | | I32-4 |
| 18 図 32 | 1 トレンチ検出中 | 343 | 蓋(須臾器) | 口縁部 | (16.0) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) オリーブ灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | I32-3 |
| 18 図 33 | 1 トレンチ検出中 | 343 | 土師皿 | 口縁・底部 | (11.4) | 1.7 | (外) 褐灰・にぶい黄褐 (内) 黒褐・褐灰・にぶい 黄褐 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | 底が歪む。 | T14-2 |

| 図番号 | 選稱名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備考 | 支調番号 |
|---------|-----------------------|---------------------|------------|-------|-------------------------|----|------------------------|----|----|---------------------------------|-----------------------|----|---|-----------------------------|-------|
| 2 トレンチ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 図 02 | SH-10 暗茶色土 | 482・522・ 534 | 甕 | 口縁・胴部 | (17.0) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・タタキ・ナデ | ハケ・ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面全体) | M20-1 |
| 21 図 03 | SH-10 暗茶色土 | 482 | 甕 | 口縁・胴部 | (17.8) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ナデ・ヨコナデ後ミガキ・ タタキ | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M20-2 |
| 21 図 04 | SH-10 暗茶色土 | 482・521・ 522・534 | 甕 | 口縁・胴部 | (16.6) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 不良 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ナデ・磨滅により調整不 明 | 無 | 無 | | M21-1 |
| 21 図 05 | SH-10 暗茶色土 | 482 | 甕 | 頸部 | 口径不明、 頸部直径 (11.7) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 不良 | ハケ・ナデ | ハケ・剥離により調整不 明 | 無 | 無 | | M20-3 |
| 21 図 06 | SH-10 暗茶色土 | 483 | 坏 (須恵器) | 底部 | 口径不明、 底径 (7.9) | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M21-2 |
| 22 図 01 | SH-17 暗褐色土 (白土混じり) | 511 | 甕 | 口縁部 | (15.7) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良好 | ケズリ後ナデ・ナデ | ナデ | 無 | 無 | 小片 | M22-3 |
| 22 図 02 | SH-17 サブトレ堤土暗茶色土 | 508 | 高坏? | 脚部 | 口径不明、 底径 (13.3) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 不良 | 磨滅により不明・ナデ | ナデ | 無 | 無 | 小片 | M22-1 |
| 22 図 03 | SH-17 暗褐色土 (白土混じり) | 511 | ジョキ型土 器 | 把手 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M22-5 |
| 22 図 04 | SH-17 暗褐色土粘土小粒含む | 486 | 甕 (古代) | 口縁・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 浅黄緑・粗 | 良 | 良好 | ヨコナデ・ハケ目後ナデ | ヨコナデ・ケズリ後ナデ ・ヘラケズリ | 無 | 無 | | M22-2 |
| 23 図 01 | SK-18 暗褐色粘質土 | 487 | 甕 | 口縁部 | (19.9) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ヨコナデ | ヨコナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) 外面に粘土の継ぎ 目あり。 | M24-3 |
| 23 図 02 | SK-18 暗褐色粘質土 | 488 | 甕 | 口縁部 | (20.5) | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) にぶい黄褐 | 良 | 良好 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M23-2 |
| 23 図 03 | SK-18 暗褐色粘質土 | 489 | 鉢 | 口縁・胴部 | (33.6) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ヨコナデ・ハケ後ナデ | ヨコナデ・ハケ | 無 | 無 | | M23-1 |
| 23 図 04 | SK-18 暗褐色粘質土 | 487 | 高坏 | 坏・脚部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ (坏部、脚部) | 無 | 無 | | M24-1 |
| 23 図 05 | SK-18 暗褐色粘質土 | 487 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径 (15.2) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ハケ後ナデ | 無 | 無 | | M24-2 |
| 23 図 06 | SK-18 暗褐色粘質土 | 487 | 蓋 (須恵器) | 口縁部 | (15.9) | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良好 | ヘラケズリ?後ナデ・ヨコ ナデ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M24-5 |
| 23 図 07 | SK-18 暗褐色粘質土 | 487 | 鉢 (古代) | 口縁・胴部 | (13.5) | 不明 | (外) 粗 (内) 粗 | 良 | 良好 | ナデ・ヘラケズリ後ナデ・ 後ヘラミガキ・ケズリ | ナデ後ヘラミガキ | 無 | 無 | | M24-4 |
| 23 図 08 | SK-18 暗褐色粘質土 | 488 | 鉢 (古代) | 口縁部 | (14.7) | 不明 | (外) にぶい粗 (内) にぶい粗 | 良 | 良好 | ヨコナデ・ヘラケズリ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M23-3 |
| 23 図 09 | SK-18 暗褐色粘質土 | 488 | 細文 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 黄緑 (内) オリーブ褐 | 良 | 良好 | 沈線 (2本)・押点文・磨消 細文・沈線 (2本)・細文 | ヘラミガキ (横方向後縦 方向) | 無 | 無 | | M23-4 |
| 23 図 10 | SK-20 付近検出中 褐色土 | 529 | 高坏 | 坏・脚部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ | 坏部 ナデ 脚部 未調 整・ナデ | 無 | 無 | | M25-1 |
| 23 図 11 | SK-44 暗褐色土 | 493 | 甕 | 口縁・胴部 | (14.8) | 不明 | (外) にぶい粗 (内) にぶい黄緑 | 良 | 不良 | ナデ・ハケ目後ナデ・ナデ | ナデ・ケズリ後ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | M25-2 |
| 23 図 13 | SK-71 暗褐色土 | 498 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径 (18.2) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 浅黄緑 | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M28-4 |

| 図番号 | 通称名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|-------------------|---------|-------|-------|--------------------|------|--------------------|----|----|------------------------------------|---------------------------|----|---|----------------------------------|-------|
| 23 図 14 | SK-89 黒褐色土 | 499 | 甗 | 把手 | 不明 | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ケズリ後ナデ | ヘラケズリ | 無 | 無 | 外面全体に赤色顔料 (ベンガラ) | M28-1 |
| 23 図 15 | SK-89 黒褐色土 | 499 | 甗 | 口縁部 | (16.1) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 不良 | 摩滅により調整不明 | ナデ | 無 | 無 | | M28-2 |
| 25 図 01 | SD-07 上・中層 | 372 | 甗 | 口縁・胴部 | (11.7) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ナデ | 無 | 無 | | 138-5 |
| 25 図 02 | SD-07 北サブトレレンチ | 361 | 甗 | 口縁・胴部 | (13.8) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ハケ・ナデ・ハケ | 無 | 有 | 煤 (外面) | 137-2 |
| 25 図 03 | SD-07 北サブトレレンチ | 361 | 甗 | 口縁・胴部 | (14.0) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ後ナデ | ナデ・ハケ | 無 | 無 | | 137-1 |
| 25 図 04 | SD-07 上・中層 | 373 | 甗 | 口縁 | (17.0) | 不明 | (外) 浅黄 (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 138-8 |
| 25 図 05 | SD-07 上・中層 | 355 | 甗 | 口縁・底部 | 13.6 | 16.6 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ 後ハケ・ハケ | ナデ後ハケ・ハケ後ナデ ・ナデ | 無 | 有 | 黒斑 (外面) 外面の胴部上面に上段痕 | 136-1 |
| 25 図 06 | SD-07 | 370 | 甗 | 脚部 | 口径不明、 底径 (11.0) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ | 砂型・ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 138-2 |
| 25 図 07 | SD-07 | 370 | 甗 | 脚部 | 口径不明、 底径 (12.0) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ | 砂型・ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) | 138-1 |
| 25 図 08 | SD-07 北サブトレレンチ | 361 | 甗 | 脚部 | (10.0) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良好 | ハケ・ナデ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 137-3 |
| 25 図 09 | SD-07 上層 | 364・365 | 甗 | 脚部 | 11.2 | 不明 | (外) 黄 (内) 明黄 | 良 | 良好 | ハケ・ナデ | ナデ・ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 137-5 |
| 25 図 10 | SD-07 | 362 | 甗 | 脚部 | 12.5 | 不明 | (外) 明黄 (内) 明黄 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ハケ・ナデ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) | 137-4 |
| 25 図 11 | SD-07 | 370 | 甗 | 口縁・胴部 | (15.3) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・タタキ後ハケ | ナデ・ハケ・ナデ | 無 | 無 | | 138-3 |
| 25 図 12 | SD-07 上・中層 | 372 | 甗 | 口縁・頸部 | (16.0) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ナデ・指押さえ | ナデ・ハケ・剥離により 調整不明・ハケ・ナデ | 無 | 無 | | 136-3 |
| 25 図 13 | SD-07 上・中層 | 372 | 甗 | 口縁・頸部 | (17.8) | 不明 | (外) にぶい (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ・ハケ後ヘラ調 整 | ハケ後ナデ・ハケ・摩滅 により調整不明 | 無 | 無 | | 136-2 |
| 25 図 14 | SD-07 中層 | 371 | 甗 | 口縁・底部 | 15.8 | 不明 | (外) 黄 (内) 明黄 | 良 | 良 | ハケ後ナデ・指押さえ・ナ デ・ハケ・摩滅により調整 不明 | ナデ・ハケ・指調整 | 有 | 有 | 黒斑 (外面) 煤 (外面) ほぼ完形 (底 部のみ欠損) | T15-1 |
| 25 図 15 | SD-07 | 362 | 甗 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい (内) 超灰 | 良 | 良 | 斜格字文・ハケ後ナデ | ナデ・剥離 | 無 | 無 | | T16-2 |
| 25 図 16 | SD-07 | 370 | 甗 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 黄 (内) 黄 | 良 | 良 | 知目目・ナデ | ナデ | 無 | 有 | 煤 (外面) | T16-6 |
| 25 図 17 | SD-07 上・中層 | 372 | 甗 | 肩部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄 (内) にぶい | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ | ナデ後縞模紋 | 無 | 無 | | 136-4 |
| 25 図 18 | SD-07 | 368 | 甗 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良 | 縞模波状文・ハケ | ナデ | 無 | 無 | | T16-4 |
| 25 図 19 | SD-07 | 368 | 甗 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良 | 縞模直線文・縞模波状文 | ヘラケズリ | 無 | 無 | | T16-5 |
| 25 図 20 | SD-07 | 362 | 小型丸底甗 | 胴部 | 口径不明、 内径 (6.0) | 不明 | (外) にぶい (内) にぶい | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | 頸部に列点 | T16-1 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|-------------------|-------|-----------------|-------|--------------------|-----|------------------------|----|----|------------------------|-------------------------|----|---|--|-------|
| 25 図 21 | SD-07 上層 | 364 | 小型鉢 | 口縁・胴部 | (4.0) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ナデ | ケズリ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | T18-2 |
| 25 図 22 | SD-07 | 363 | 小型丸底甕 | 口縁・胴部 | (11.4) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良 | ヨコナデ | ヨコナデ・ハケ後ナデ | 無 | 無 | | T16-3 |
| 25 図 23 | SD-07 上・中層 | 373 | 鉢 | 口縁・胴部 | (10.0) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | 指調整 | 指調整 | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | T17-4 |
| 25 図 24 | SD-07 | 370 | 鉢 | 口縁・底部 | (12.6) | 3.5 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ナデ | ナデ・ハケ・ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) 外面はほとんど調整して いない (軽くなでである程度) | T17-2 |
| 25 図 25 | SD-07 上・中層 | 372 | 鉢 | 口縁・底部 | (12.8) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ナデ・ハケ後ナデ・ナデ | ナデ・ハケ・ナデ | 無 | 無 | | T17-3 |
| 25 図 26 | SD-07 | 368 | 鉢 | 口縁・胴部 | (10.9) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ケズリ後ナデ・ミガキ後ナ デ | ケズリ後ナデ・ハケ後ナ デ | 無 | 無 | | T17-1 |
| 25 図 27 | SD-07 | 370 | 高坏 | 坏・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ヘラミガキ | 坏部 剥離により調整不 明 胴部 未調整 | 無 | 無 | | M26-5 |
| 25 図 28 | SD-07 | 370 | 高坏 | 坏・胴部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良好 | ナデ | 坏部 ヘラミガキ 胴部 未調整 | 無 | 無 | | M26-4 |
| 25 図 29 | SD-07 黒褐色粘質土 | 363 | 高坏 | 坏・胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ・ヘラミガキ | 坏部 ヘラミガキ 胴部 未調整 | 無 | 無 | | M26-2 |
| 25 図 30 | SD-07 | 370 | 高坏 | 坏部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良好 | ナデ | 坏部 ヘラミガキ 胴部 未調整 | 無 | 無 | | M26-6 |
| 25 図 31 | SD-07 | 370 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径 (14.3) | 不明 | (外) 浅黄・黄灰 (内) 浅黄・黄灰 | 良 | 良好 | ナデ・穿孔・ハケ後ナデ、 後ヘラミガキ | ナデ・穿孔・ハケ後ナデ、 後ヘラミガキ | 無 | 無 | | M26-3 |
| 25 図 32 | SD-07 上・中層 | 372 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径 (22.6) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M27-1 |
| 25 図 33 | SD-07 上・中層 | 372 | 高坏 | 坏部 | (14.5) | 不明 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良好 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M27-2 |
| 25 図 34 | SD-07 北サブトレレンチ | 361 | 高坏 | 坏部 | (25.8) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M26-1 |
| 25 図 35 | SD-07 上層 | 365 | ミニチュア 土器 | 胴部 | 口径不明、 内径 (5.4) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | T18-3 |
| 25 図 36 | SD-07 | 370 | ミニチュア 土器 (紐) | 口縁部 | (3.6) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良 | ハケ・ナデ・指押さえ | ナデ後指調整 | 無 | 無 | I 縁部が少々歪む | T18-5 |
| 25 図 37 | SD-07 | 368 | ミニチュア 土器 (鉢) | 口縁・底部 | (36.0) | 1.5 | (外) 浅黄 (内) 浅黄 | 良 | 良 | 指調整 | 指調整 | 無 | 無 | I 縁部が少々歪む | T18-4 |
| 25 図 39 | SD-07 上・中層 | 372 | 細文 | I 縁部 | 不明 | 不明 | (外) 橙 (内) 橙 | 良 | 良好 | 押線文 | ナデ | 無 | 無 | | I39-4 |
| 25 図 40 | SD-07 上・中層 | 372 | 細文 | I 縁部 | 不明 | 不明 | (外) 橙 (内) にぶい赤褐 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・ヘラミガ キ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I39-3 |
| 25 図 41 | SD-07 上・中層 | 372 | 細文 | I 縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 明黄褐 | 良 | 良好 | ヘラ調整 | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (内面) | I39-2 |
| 25 図 42 | SD-07 上層 | 364 | 細文 | I 縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・ヘラミガ キ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (内面) | I39-1 |
| 25 図 43 | SD-07 | 370 | 甕 | I 縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良好 | 刻目・ナデ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I38-4 |

| 図番号 | 通称名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 () は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|---------------|-------|-------------|--------|-------------------|----|--------------------------|----|----|---|-----------------------|----|---|---------|-------|
| 25 図 44 | SD-07 上・中層 | 372 | 細文 | 胴部? | 不明 | 不明 | (外) 橙 (内) 橙 | 良 | 良好 | ヘラミガキ・押線文・磨消 細文・押線文・ヘラミガキ・ 押線文・磨消細文 | ヘラケズリ | 無 | 無 | | 139-6 |
| 25 図 49 | SD-07 上層 | 374 | 坏蓋(須恵 器) | 1 鉢部 | (12.0) | 不明 | (外) 灰白 (内) 灰白 | 良 | 不良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 139-8 |
| 25 図 50 | SD-07 ベルト | 375 | 坏(古代) | 1 鉢・胴部 | (17.4) | 不明 | (外) にぶい、橙 (内) にぶい、橙 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラケズリ | ナデ後ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑(内外面) | 139-7 |
| 26 図 01 | PTT11 | 389 | 坏(須恵器) | 底部・胴部 | (11.1) | 不明 | (外) 灰 (内) 灰 | 良 | 良 | 回転ヨコナデ・ナデ・回転 ヨコナデ | 回転ヨコナデ | 無 | 無 | | M29-1 |
| 26 図 02 | PTT14 | 392 | 甗 | 1 鉢部 | (22.3) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 不良 | 摩滅により調整不明 | 摩滅により調整不明 | 無 | 無 | | M29-2 |
| 26 図 03 | PTT17 | 399 | 高坏 | 坏部 | (27.8) | 不明 | (外) 灰黄 (内) 灰黄 | 良 | 良 | ヨコナデ | ケズリ後?ナデ | 有 | 無 | 黒斑(外面) | M29-3 |
| 26 図 04 | PTT23 | 403 | 甗 | 1 鉢部 | (14.8) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ハケ後ナデ | ハケ | 無 | 無 | | M29-4 |
| 26 図 05 | PTT35 | 415 | 甗(古代) | 1 鉢部 | (20.5) | 不明 | (外) 黒褐 (内) にぶい、褐 | 良 | 良 | ナデ | ナデ・ヘラケズリ後ナデ ・ヘラケズリ | 無 | 無 | | M29-5 |
| 26 図 06 | PTT35 | 414 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径(18.6) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M29-6 |
| 26 図 07 | PTT36 | 416 | 甗 | 1 鉢部 | (16.5) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 有 | 煤(外面) | M30-1 |
| 26 図 08 | PTT36 | 416 | 甗 | 1 鉢部 | (22.5) | 不明 | (外) 黒褐 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 有 | 煤(外面) | M30-2 |
| 26 図 09 | PTT38 | 418 | 甗 | 1 鉢部 | (35.0) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 不良 | ナデ・ミガキ(所滅してい る為はっきりしない) | ヨコナデ | 無 | 無 | | M30-3 |
| 26 図 10 | PTT48 | 427 | 浅鉢?(細 文) | 1 鉢部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 不良 | 磨消細文・沈線・磨消細文・ 沈線・摩滅により調整不明 | ケズリ後ナデ・ナデ | 無 | 無 | | M30-5 |
| 26 図 12 | PTT52 | 433 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径(13.5) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M31-1 |
| 26 図 13 | PTT53 | 434 | 深鉢?(細 文) | 1 鉢部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい、橙 (内) にぶい、黄褐 | 良 | 良 | ヘラミガキ・押線文・ヘラ ミガキ・押線文・ヘラミガ キ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | M31-2 |
| 26 図 14 | PTT53 | 434 | 浅鉢?(細 文) | 1 鉢部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい、橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | M31-3 |
| 26 図 16 | PTT57 | 435 | 甗 | 底部・胴部 | 口径不明、 底径(19.6) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) 黒褐 | 良 | 良 | ナデ・ヘラケズリ後ナデ | ヘラケズリ | 無 | 無 | | M31-4 |
| 26 図 17 | PTT59 | 436 | 器台 | 底部・胴部 | 口径不明、 底径(13.2) | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M31-6 |
| 26 図 19 | PTT63 | 441 | 甗 | 1 鉢部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい、黄橙 (内) にぶい、黄橙 | 良 | 不良 | ナデ・摩滅により調整不明 | 摩滅により調整不明 | 有 | 無 | 黒斑(外面) | M32-2 |
| 26 図 20 | PTT72 | 448 | 細文 | 1 鉢部 | 不明 | 不明 | (外) 黒褐 (内) 暗灰黄 | 良 | 良 | ヘラミガキ | 刺離・ヘラミガキ | 無 | 無 | | M32-3 |
| 26 図 21 | PTT76 | 453 | 台付鉢 | 脚部 | (7.4) | 不明 | (外) 浅黄橙・灰 (内) 浅黄橙・灰 | 良 | 良 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | M32-4 |

| 図番号 | 選棉名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎上 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|----------|---------|--------|-------|--------------------|----|--------------------------|----|----|--------------------------------|-----------------|----|---|------------------|-------|
| 26 図 22 | PT86 | 463 | 器台 | 底部 | 口径不明、 底径 (13.4) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良 | ハケ後ナデ | ヨコナデ・ナデ | 無 | 無 | | M32-5 |
| 26 図 23 | PT94 | 469 | 壺 | 口縁部 | (17.6) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良 | ヨコナデ | ヨコナデ | 無 | 無 | | M33-2 |
| 26 図 24 | PT94 | 469 | 壺 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 不良 | 作減により調整不明・磨削 痕状文 | ハケ後ナデ | 無 | 無 | | M33-1 |
| 26 図 25 | PT99 | 474 | 甕 | 口縁・胴部 | (18.8) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良 | ナデ・ヨコナデ・ハケ後ナ デ・ケズリ後ナデ | ヨコナデ・ハケ | 無 | 無 | | M33-3 |
| 27 図 01 | 検出中 | 537 | 細文 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・ヘラミガ キ | ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) 刺突文 I | I44-5 |
| 27 図 02 | 検出中 | 355 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 褐灰 (内) 褐灰 | 良 | 良好 | 押線文 (3 本)・ナデ後ミ ガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | I35-2 |
| 27 図 03 | 南西検出中 | 518 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 灰黄褐 (内) 灰黄褐 | 良 | 良 | ミガキ後消縄文・ナデ | ミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | T19-1 |
| 27 図 04 | 検出中 | 355 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 磨消縄文の間に押線文 (2 本)・ナデ | ヘラミガキ | 無 | 有 | 煤 (外面) | I35-1 |
| 27 図 05 | 検出中 | 534 | 浅鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) 褐灰 (内) 褐灰 | 良 | 良 | ミガキ | ミガキ | 無 | 無 | | T19-3 |
| 27 図 06 | 検出中 | 537 | 細文 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 刻目・ナデ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I44-6 |
| 27 図 07 | 検出中 | 355 | 細文 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 押線文 (2 本)・ナデ後ミ ガキ | ヘラミガキ | 無 | 無 | | I35-3 |
| 27 図 08 | 検出中 | 534 | 深鉢(細文) | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄褐 (内) 浅黄褐 | 良 | 良 | ミガキ (間に押線文 3 本) | ナデ | 無 | 無 | | T19-4 |
| 27 図 09 | 検出中 | 355 | 細文 | 口縁部 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | 磨消縄文・押線文 (2 本)・ 磨消縄文・ナデ後ミガキ | ヘラミガキ | 無 | 有 | 黒斑 (内外面) | I35-4 |
| 27 図 16 | 検出中 | 534 | 甕 | 口縁・胴部 | (14.2) | 不明 | (外) 黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ナデ・ハケ・ナデ | 無 | 無 | | I42-5 |
| 27 図 17 | 検出中 | 355、534 | 甕 | 口縁・胴部 | (17.0) | 不明 | (外) 浅黄橙・橙 (内) にぶい黄橙・橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (内面) 煤 (内外面) | I41-3 |
| 27 図 18 | 検出中 | 355 | 甕 | 口縁・胴部 | (23.4) | 不明 | (外) にぶい黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ | ハケ | 有 | 有 | 黒斑 (内外面) 煤 (外面) | I34-1 |
| 27 図 19 | 南西付近検出中 | 519 | 甕 | 底部 | 口径不明、 底径 (6.7) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ハケ・ナデ | ハケ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | I42-3 |
| 27 図 20 | 南西検出サブトレ | 515 | 甕 | 脚部 | 口径不明、 底径 (12.0) | 不明 | (外) 橙 (内) 橙 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ・ナデ | ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内面) 煤 (内外面) | I42-2 |
| 27 図 21 | 検出中 | 534 | 高坏 | 脚部 | 口径不明、 底径 (14.6) | 不明 | (外) 橙 (内) 橙 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラミガキ・ナデ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) 穿孔 1 つあり | I43-3 |
| 27 図 22 | 検出中 | 536 | 壺 | 口縁部 | (19.6) | 不明 | (外) 明黄褐 (内) 浅黄橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) | I41-2 |
| 27 図 23 | 検出中 | 355 | 壺 | 口縁・頸部 | (27.0) | 不明 | (外) 明黄褐 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良好 | 刻目・ハケ | ハケ後ナデ・ハケ | 無 | 無 | 外面赤色顔料 (ペンガラ?) | I33-1 |
| 27 図 24 | 検出中 | 523 | 壺 | 口縁・胴部 | (14.7) | 不明 | (外) 浅黄橙 (内) にぶい黄橙 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ後ナデ・タタキ 後ヘラミガキ | ナデ・ハケ・ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (外面) 煤 (外面) | I41-1 |

| 図番号 | 遺構名 | 取上げ番号 | 器種 | 部位 | 口径 ()は復元 | 器高 | 色調 | 胎土 | 焼成 | 外面調整 上部からの記入 | 内面調整 上部からの記入 | 黒斑 | 煤 | 備 考 | 実測番号 |
|---------|-----|-------|---------------|---------|--------------------|-----|------------------------|----|----|-----------------|-----------------|----|---|--------------------------------|-------|
| 27 図 25 | 検出中 | 355 | 器台 | 胴部 | 不明 | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | 指圧痕 | ハケ・ヘラ調整・ハケ | 無 | 無 | 外面は粗いが、内面は丁寧に調整 | 134-2 |
| 27 図 26 | 検出中 | 535 | ジョッキ型土器 | 把手 | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) 粗 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ | 無 | 無 | | 143-5 |
| 27 図 27 | 検出中 | 550 | ミニチュア土器 | 口縁 | (3.8) | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 134-4 |
| 27 図 28 | 検出中 | 550 | ミニチュア土器 | 胴部・底部 | 口径不明、 底径 2.3 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ・ハケ | 有 | 無 | | 134-5 |
| 27 図 29 | 検出中 | 515 | 甕 (古代) | 口縁・胴部 | (15.0) | 不明 | (外) 浅黄緑 (内) 粗 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ケズリ | 無 | 無 | | 142-1 |
| 27 図 30 | 検出中 | 534 | 甕 (古代) | 口縁・胴部 | (18.0) | 不明 | (外) 粗 (内) 粗 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ケズリ | 無 | 無 | | 141-4 |
| 27 図 31 | 検出中 | 355 | 甕 (古代) | 口縁・胴部 | (18.4) | 不明 | (外) 粗 (内) にぶい黄緑・粗 | 良 | 良好 | ナデ・ヘラ調整後ナデ | ナデ・ケズリ | 有 | 無 | 黒斑 (外面) | 133-2 |
| 27 図 32 | 検出中 | 517 | 甕 (古代) | 口縁・胴部 | (20.0) | 不明 | (外) 粗 (内) 粗 | 良 | 良好 | ナデ・ハケ | ナデ・ケズリ | 無 | 無 | | 142-4 |
| 27 図 33 | 検出中 | 534 | 甕 | | 不明 | 不明 | (外) にぶい黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ケズリ後ナデ | ナデ | 有 | 有 | 黒斑 (内外面) 煤 (外面) | 143-4 |
| 27 図 34 | 検出中 | 516 | 甕 | 胴部 (把手) | 不明 | 不明 | (外) 粗 (内) にぶい粗 | 良 | 良好 | ヘラケズリ後ナデ | ヘラケズリ | 有 | 有 | 黒斑 (外面) 煤 (外面) | 143-1 |
| 27 図 35 | 検出中 | 355 | 土師器環 (須臾器) | 底部 | 口径不明、 底径 (8.0) | 不明 | (外) 暗灰黄 (内) 暗灰黄 | 良 | 良好 | 回転ナデ | 胴部、脚部共に回転ナデ | 無 | 無 | 脚部内側に自然軸 | 135-6 |
| 27 図 36 | 検出中 | 355 | 甕 (須臾器) | 底部 | 口径不明、 底径 (13.0) | 不明 | (外) 灰オリーブ (内) 灰 | 良 | 良好 | ナデ | ナデ | 無 | 無 | | 135-5 |
| 27 図 37 | 検出中 | 517 | 皿 (古代) | 口縁・底部 | (16.6) | 2.1 | (外) 灰黄緑 (内) にぶい黄緑 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラミガキ | ナデ後ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) | 143-2 |
| 27 図 38 | 検出中 | 355 | 甕 (須臾器) | 口縁・底部 | (15.6) | 3.8 | (外) 粗 (内) 粗 | 良 | 良好 | ナデ後ヘラミガキ | ナデ後ヘラミガキ | 有 | 無 | 黒斑 (内外面) | 135-7 |
| 27 図 39 | 検出中 | 550 | 滑石製石鍋 | 口縁部 | (22.0) | 不明 | (外) 暗灰 (内) 粗灰 | | | ケズリ | ケズリ | 有 | 無 | 把手は確認できない。内器縁に黒斑。 重量 78.3 g | 134-3 |

| 図版 番号 | 遺構名 | 取上 番号 | 器種・部位 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備 考 | 実測 番号 |
|---------------------|-------------------|----------|---------------|-------|------|------|--------|-----------------------------|----------|
| 1 トレンチ石器 (単位は cm、g) | | | | | | | | | |
| 10 図 16 | SH-73 E 区 | 298 | 砥石? | 4.3 | 2.0 | 1.6 | 23.0 | 使用痕なし | I12-2 |
| 10 図 27 | SH-73 S 区 | 314 | 石錘 | 6.6 | 6.6 | 1.6 | 65.5 | | I12-1 |
| 12 図 02 | SD-20 暗茶土 | 45 | 剥片石器 | 6.0 | 2.0 | 1.1 | 8.0 | 黒曜石 | I28-6 |
| 13 図 26 | SD-01 N-C 間ベルト | 9 | 石核 | 4.9 | 3.8 | 1.7 | 33.0 | サヌカイト | T12-5 |
| 13 図 27 | SD-01 C 区 | 12 | 黒曜石 | 2.2 | 2.8 | 1.7 | 9.5 | | I25-5 |
| 13 図 28 | SD-01 暗褐色土 北壁 | 58 | 黒曜石 | 2.3 | 2.5 | 1.0 | 5.2 | | T12-6 |
| 13 図 37 | SD-02 北 ST | 40 | 石斧 (太型 蛤刃) | 不明 | 不明 | 不明 | 107.8 | | I25-3 |
| 13 図 38 | SD-01 C 区 暗褐色土 | 11 | 磨製石斧 | 4.5 | 3.5 | 1.7 | 42.7 | | I25-4 |
| 13 図 39 | SD-01 C 区 暗褐色土 | 10 | 砥石 | 7.9 | 5.5 | 5.5 | 301.8 | 四面に使用痕 | I25-1 |
| 13 図 40 | SD-01 北 ST | 40 | 砥石 | 11.2 | 9.3 | 3.5 | 296.5 | 四面に使用痕 | I25-2 |
| 13 図 41 | SD-01 N-C 間ベルト | 9 | 滑石製模造 品 | 3.0 | 1.9 | 0.7 | 4.2 | 子持勾玉。穴のうち1つは未貫通で1.5mm程窪んだ状態 | M17-5 |
| 13 図 42 | SD-01 C 区 底近く | 17 | 凝灰岩 | 21.1 | 18.1 | 16.8 | 5.7 | 二面にベンガラ付着 | I26-1 |
| 13 図 43 | SD-01 S 区 | 27 | 凝灰岩 | 6.2 | 8.2 | 3.5 | 240.0 | 三面にベンガラ付着 石棺材か | M17-4 |
| 16 図 06 | SK-21 | 354 | 磨石 (クド 石か) | 129.5 | 8.9 | 5.1 | 867.8 | 被熱による変色か | I20-2 |
| 16 図 07 | SK-21 | 354 | くぼみ石 | 7.6 | 6.4 | 4.4 | 273.0 | 一部黒変 | I20-1 |
| 16 図 10 | SK-03 暗褐色土 | 178 | 打製石斧 | 9.6 | 5.5 | 1.3 | 95.3 | | I13-1 |
| 16 図 34 | SD-82 暗褐色土 | 56 | 石鏃 | 2.0 | 1.5 | 0.4 | 1.0 | サヌカイト | I28-7 |
| 17 図 03 | SK-107 埋土中 | 256 | 石棺材か | 14.7 | 15.7 | 3.8 | 1080.0 | 一部ベンガラ付着 | m1-2 |
| 17 図 04 | SK-107 埋土中 | 256 | 石棺材か | 28.8 | 20.5 | 0.5 | 3400.0 | | m1-1 |
| 17 図 08 | SK-107 暗褐色土 | 257 | 石錘 | 8.8 | 7.3 | 1.8 | 0.2 | 砂岩? | T11-5 |
| 18 図 23 | SK-16 暗褐色土 南東 | 194 | 石錐 | 3.9 | 2.7 | 0.7 | 5.2 | 安山岩 | I13-6 |
| 7 図 34 | SK-18 黒褐色土 | 198 | 砥石 | 5.4 | 3.3 | 1.2 | 26.8 | | T9-4 |
| 1 トレンチ鉄器 | | | | | | | | | |
| 10 図 14 | SH-73 | 308 | 釘状鉄器 | 4.9 | 0.3 | 0.5 | 2.5 | 頭部欠損 | M6-4 |
| 10 図 15 | SH-73 暗褐色土 | 295 | 刀子 | 7.7 | 2.3 | 0.3 | 8.5 | | M6-3 |
| 17 図 02 | SK-107 | 258 | 刀子 | 9.9 | 6.6 | 1.8 | 16.0 | 柄に木質残存 | M15-1 |
| 18 図 29 | 試掘1区 検出中 | | 刀子 | 3.7 | 1.6 | 0.5 | 5.2 | 柄に木質残存 | T1- m |

| 図版 番号 | 遺構名 | 取上 番号 | 器種・部位 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備 考 | 実測 番号 |
|----------|-----|----------|-------|----|---|----|----|-----|----------|
|----------|-----|----------|-------|----|---|----|----|-----|----------|

1 トレンチ土製品

| | | | | | | | | | |
|---------|----------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|------------|-------|
| 10 図 10 | SH-73 S 区一括 | 302 | 土製勾玉 | 3.9 | 1.1 | 1.2 | 6.0 | 裏面は全体的に割れる | I11-6 |
| 10 図 11 | SH-73 N 区 | 300 | 土製品 | 不明 | 1.1 | 1.1 | 4.2 | 棒状の破片 | I11-7 |

2 トレンチ石器

| | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|-----|-------|------|-----|-----|-------|-------------|-------|
| 27 図 13 | 検出中 | 548 | 石族 | 1.4 | 1.0 | 0.4 | 0.2 | | I33-4 |
| 27 図 14 | 検出中 | 548 | 石族 | 2.1 | 1.9 | 0.4 | 1.0 | | I33-5 |
| 27 図 39 | 検出中 | 550 | 滑石製石鍋 | | | | 78.3 | 復元口径 (22.0) | I34-3 |
| 25 図 45 | SD-07 上 - 中層 | 373 | 磨石 | 9.9 | 5.2 | 4.3 | 380.3 | | I40-1 |
| 25 図 48 | SD-07 上層 | 364 | 打製石斧 | 10.7 | 5.2 | 0.8 | 66.5 | 緑色片岩の未製品 | I40-2 |
| 25 図 47 | SD-07 | 370 | 打製石斧 | 10.2 | 4.6 | 0.9 | 56.5 | | I40-3 |
| 25 図 46 | SD-07 | 370 | 打製石斧 | 5.3 | 4.6 | 1.2 | 48.2 | | I40-4 |
| 27 図 10 | ラベル無し | 541 | 打製石斧 | 9.2 | 5.2 | 1.1 | 68.2 | | I44-1 |
| 27 図 11 | 検出中 | 543 | 打製石斧 | 9.5 | 5.7 | 1.3 | 115.5 | | I44-2 |
| 27 図 12 | 検出中 | 543 | | 4.4 | 3.6 | 0.8 | 14.5 | | I44-3 |
| 27 図 15 | 検出中 | 540 | 石錐 | 3.4 | 1.4 | 0.5 | 1.7 | | I44-4 |
| 23 図 12 | SK-70 | 496 | 敲き石 | 12.8 | 9.6 | 5.5 | 854.0 | | M28-3 |
| 26 図 11 | PIT50 | 431 | 打製石斧 | 10.1 | 4.9 | 1.1 | 65.0 | 緑色片岩 | M30-4 |
| 26 図 15 | PIT57 | 435 | 打製石斧 | 10.5 | 4.8 | 1.4 | 82.5 | 緑色片岩 | M31-5 |

2 トレンチ鉄器

| | | | | | | | | | |
|---------|-------|-----|---|-----|-----|-----|------|--|-------|
| 26 図 18 | PIT62 | 439 | 鎌 | 8.0 | 2.6 | 0.6 | 31.7 | | M32-1 |
|---------|-------|-----|---|-----|-----|-----|------|--|-------|

2 トレンチ土製品

| | | | | | | | | | |
|---------|-------|-----|------|-----|-----|-----|------|----|-------|
| 27 図 40 | 検出中 | 355 | 紡錘車 | 5.9 | 6.1 | 1.8 | 69.5 | 完形 | I33-3 |
| 21 図 01 | SH-10 | 542 | 土製勾玉 | 4.0 | 1.6 | 1.6 | 10.5 | | M21-3 |
| 25 図 38 | SD-07 | 362 | 土製勾玉 | 4.4 | 2.0 | 1.4 | 15.0 | | T18-1 |

報告書抄録

| | |
|--------|---|
| ふりがな | かとうだ いせき |
| 書名 | 方保田遺跡 |
| 副書名 | 水道事業による方保田配水池整備事業に伴う 方保田遺跡発掘調査（第 1 次調査）報告書 |
| シリーズ名 | 山鹿市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第 15 集 |
| 編著者名 | 宮崎 歩 |
| 編集機関 | 山鹿市教育委員会 |
| 所在地 | 〒 861-0501 熊本県山鹿市山鹿 156-3（文化課） 電話 0968-43-1691 |
| 発行年月日 | 2014 年 3 月 31 日 |

| 所収遺跡 | 所在地 | コード | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|--------------|---------------------------------|---------------|-----------------|--------------------|--------------------------|--------------------|---------------|
| 方保田 （1 次） | 熊本県山鹿市 方保田字木下 2389・2390-1 | 43208 -167 | 33° 0′ 6″ | 130° 42′ 36″ | 2012/5/21 ～ 2012/8/17 | 350 m ² | 水道事業 配水池整備 |

| 所収遺跡 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 |
|-----------|----|-----------------|--------------------------|---|
| 方保田 第 1 次 | 集落 | 弥生後期後半～ 古墳初頭 | 住居 5 土坑 埋葬主体部 溝 | 土器（弥生土器、古式土師器、須恵器、 土師器）332.6 kg 鉄製品、石製品 |

| 要約 |
|--|
| <p>水道事業に伴う発掘調査。周辺は昭和 43 年圃場整備の際に削平・遺物採取。調査区全体で弥生後期から古墳初頭を中心とする遺構・遺物（土器、鉄器）が出土。このほか縄文後晩期（磨消縄文土器、石鍬、石鏃、石錘、石錐）、古代～中世遺物（土師器、須恵器、青白磁、黒色土器）も少量出土。</p> <p>1 トレンチ（配水タンク予定地）200 m²。弥生後期後半～古墳初頭の竪穴住居 3、埋葬施設主体部、廃棄土拵。掘立柱建物の一部（古代か）、中世の溝。</p> <p>2 トレンチ（機械棟予定地）150 m²。弥生後期の竪穴住居 2、溝 1。掘立柱建物 1（中世か）。</p> <p>方保田遺跡は菊池川中流域の弥生時代拠点集落である方保田東原遺跡と近接し、周辺の小規模な同時期集落遺跡とともに有機的関連を想定できるが、調査事例に乏しく具体的内容は不明である。</p> |

山鹿市文化財調査書報告第 15 集
方保田遺跡

発行 山鹿市教育委員会
平成 26 年 3 月 31 日
編集 山鹿市教育委員会文化課
〒 861-0501 山鹿市山鹿 156-3
印刷 株式会社トライ

| | | |
|----|----|--|
| 仕様 | 印刷 | オフセット |
| | 規格 | A 4 版 |
| | 組版 | 電子組版 本文横組み 2 段 (23 字 44 行)、13 級明朝体 |
| | 製版 | カラー図版 200 線 4 色 モノクロ図版 200 線 1 色 |
| | 製本 | 無線綴じ |
| | 用紙 | 表紙 アートポスト 220 kg 見返し 色上質 特厚口 本文・図版 マットコート 90kg |

この報告書は、一冊あたり 1,365 円で印刷した (人件費等の間接経費は除く)。25 山文 23 号 409.5000/300

文化財調査報告の電子書籍の末尾に挿入する奥付

この電子書籍は、『山鹿市文化財調査報告第 15 集 方保田遺跡』を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

なお、平成 17 年(2005)に山鹿市、鹿北町、菊鹿町、鹿本町、鹿央町が合併し山鹿市となりました。調査記録及び出土遺物は、山鹿市教育委員会が保管しています。

書名：山鹿市文化財調査報告第 14 集 馬見塚古墳群辻古墳

発行：山鹿市教育委員会

〒861-0592 熊本県山鹿市山鹿 987 番 3

電話：0968-43-1651

URL：<https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：2025 年 7 月 9 日